京城日報

朝刊

朝夕刊合せて十頁

定價 一ヶ月[illegible] 三ヶ月[illegible] 六ヶ月[illegible] 一ヶ年[illegible] 前金▲郵稅[illegible]

廣告料金 五號活字一行二圓五十錢▲二號活字詰同時[illegible]▲四號七字詰同[illegible]

發行兼編輯人 泥谷良次郎
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話光(長)局[illegible]番 振替京城三〇〇〇番

表 [illegible]

京城日報

人氣沈衰を憂ふ

今回の如き非常の大災害に際しては、動もすれば人心沮喪して、人氣の沈衰に趨き易い傾向を有つものである。故に内地に於ても、政府は特に此點に留意し、災後の注意を拂ひ、經濟復興事業に努力すると同時に、破格なる金融機關の援助、保險會社の救援、其他種々なる臨機の處置を講じて、人心の沈滯を防ぎ、復興の英氣を鼓舞することを力めて居る」之れは、二十五日、聯合共進會評議員會の席上、有吉政務總監が、一部者の反對意見を排して、共進會を豫定の通り開催することに決定したる理由を說明せし、演述の一節であるが、但人は深く此點に注意するの必要がある。

無論少しく世態を了解する者は此際人心の沮喪、人氣の沈衰を來たしては、夫は國家の一大憂患であることを心配いて居るであらう然も唯心配いて居ると云ふだけでは何等、世に効を爲すものではない、或は又進むで人心を振作しようといふ心懸けある者にして、斯る非常時に於ける社會心理を理解しない爲めに、身を處し、事を行ふ方法なり、手段なりを誤るに於ては、夫が一人一個の過誤として濟まされぬ程の影響を、社會に及ぼすことにもなるのであるから、此點も亦十分考慮せねばならぬ。

聞く處に依れば、京城の紳士中には、震災起つて、食膳の節約を勵行して居る向があるといふことである。之れは誠に結構なことである。罹災同胞の艱苦を思遣れば、三度の食事も快よく咽喉を通らぬやうの感じがするのは、何人も同様であらう、況や皇室に於かせられても最も極度の節約を、仰せ出された顧宮の祝宴の如きは、玄米の續飯に少許の織造を副食物として、飢を凌いで居る狀態である、と傳聞しては、朝鮮に於て、安閑として其日を過ごしつゝある人々が、安んじて平常と同様の食膳に向ふ心持ちになり得ないのは、夫は當然のことであるし、一方國民は擧つて消費を節約し、天災の復興に協力せねばならぬことであつて、其爲めには、食膳の贅澤を戒むるは消費節約の主たる事項の一であるのであるが、併し食膳を節約するなどゝいふことが、一種の誇りであるかのやうに宣傳さるゝやうのことは、斷じて宜しくない、さなきだに不景氣の爲に、現に自ら消費節約は行はれつゝあつて、同時に人氣の沈衰も可なり目立つて來て居る折柄、大震災の爲に、更に甚しい打撃を受け、一般の生活が、如何に成り行くべきかを憂慮しつゝある際に、相當地位身分ある人々が、食膳までも節約するといふことを、宣傳さるゝに至らば、其れは節約の奬勵よりは、反つて人氣の沈衰に對して利目が多いであらう、若し或は「贅澤も氣が引けるであらうか、食膳の節約も饑じい」など、見られることにでもなつては、節約の趣旨とはならず其代りに世人の自衛心を刺戟して人氣の沈衰作用には役立つといふ結果になるかも知れない。人を見て法を說く、といふ諺があるが法を說くには、時と處とを見る必要もある。朝鮮の人心が、震災被害地方と同様であると考へてはならぬ、即ち食膳の節約沙汰は、震災地及其附近に於ては、大ひにして救濟と復興に鼓舞さるゝかといふので人心を萎縮せしむるの弊があるであらうが、朝鮮に於ては經濟生活の將來を懸念しつゝある際へ、一種の悲觀材料を與へらるゝやうな訳のもであつて、人心は沈衰の代りに沮喪を來すの虞れがある此る吾人の意見に就しては、反對の見解を持する人もあるであらうが、吾人は何も非仁人的の宣傳を戒むれば即ち足るのである。日本國民は皇室の御節約の趣を拜承したゞけで、覺悟は既に定めて居るのである。

其筋に於ては術に容易ならしむる事も尠少の急務であるから、克く人心の趨向を察知し健全なる國民をして其將來を憂へしむる事の無きを深したいと庶幾して熄まない。

陸軍震災措置（陸軍省公表）

（第十三號）（九月十六日）

一、本年三重縣下に擧行せらるべき特別大演習及群馬縣下に擧行せらるべき師團對抗演習は取止めとなれり是今回の震災に方り陸軍は全力を擧げて警備及び救濟に從事するの主旨に由るものとす

二、陸軍士官學校生徒隊は從來戒嚴司令官の隸下に在りて各宮邸大公使館等の警備に任じありしが十四日戒嚴司令官の隸下を脫し原所屬に復歸せしめたり

三、戒嚴司令官は兵力に依る直接警備は震災直後の混亂狀態に對する臨機の處置にして永續すべきものにあらざるを以て秩序の恢復民心の鎭靜に從ひ警備の實行を逐次地方機關に移さんとし現在に於ける警戒部隊の分散配置を緊縮するに決し小區に兵力を集結し主として巡察に依り警備を持續するの方針を取れり

四、戒嚴司令官は東京北部及東京南部警備部隊間の境界を左の如く改めたり

總武鐵道線―本所錦町―兩國橋―淺草區―神田區―麴町區―牛込區―大久保町―大久保停車場同停車場以西の甲武（中央）青梅兩鐵道線

前記線上及各區は東京北部警備に屬す

五、戒嚴司令官は警備に關する事項を管掌することに改められたる結果陸軍省內に設けられたる技術部に於て交通部隊の使用を區署することゝし工兵部隊の主力十大隊（近衞、第一大隊の一部及第二、第三、第五、第七、第八、第九、第十、第十三大隊）は戒嚴司令官の直轄として上述の要求に應ずることゝなれり

六、十五日に於ける給水量は本所深川、下谷、淺草、芝其他の區に對し合計約千三百八十石なり

七、陸軍震災救護委員技術部に於ては橫濱方面に於ける技術作業を容易ならしむる爲十五日同地に支部を設置せり

八、陸軍所管衛生機關に於て十五日收容せる患者四千二百名にして累計六萬四千六百名なり

九、輸送力增加の爲自動貨車二十七輛より成る臨時自動車班を新に編成し陸軍震災救護委員の區處を受けしむ

十、十五日實施せる糧食の配給量は米二萬二千俵、副食物若干にして府市の要求を充足せり

蒲田附近數千の避難民飢餓に瀕せるの報に接し十六日早朝より軍用パン及野菜の集團輸送をなし以て其の急に應ぜり

十一、十六日迄に上京し來れる在鄕軍人の累計六千七百五十名にして諸般の救護事業に從事す

震災に關する情況

一、東京火災燒失面積（陸地測量部調）單位方里

區分	全面積	燒失面積	燒失步合
麴町區	0、三三〇	0、一二四	0、三三
神田區	0、一九五	0、一八七	0、九四
日本橋區	0、一九三	0、一九三	1、00
京橋區	0、二九七	0、二五三	0、八六
芝區	0、六〇八	0、一四五	0、二四
赤坂區	0、二七四	0、〇一九八	0、〇七
麻布區	0、二五五	0、〇〇一	0、〇〇
四谷區	0、一七九	0、〇〇九	0、〇三
牛込區	0、三七九	0、〇〇〇三	0、〇〇
小石川區	0、四二一	0、〇一七三	0、〇四
本郷區	0、三二〇	0、〇五八三	0、一八
下谷區	0、三二七	0、一九六	0、四八
淺草區	0、三二七	0、二九一	0、九六
本所區	0、五九四	0、五六四	0、九五
深川區	0、五〇六	0、四三七	0、八五
計	五、一四八	二、二四七	0、四四

備考 本面積中に隅田川、新宿、御苑を含まず

郡部燒失面積左の如し

區分	燒失面積（方里）
荏原郡	0、〇〇一二
豐多摩郡	0、〇〇〇六
北豐多摩郡	0、〇〇三九
南葛飾郡	0、〇〇五一三
計	0、〇〇八七〇
東京市及郡部燒失面積合計	二、二三四五

二、攝政宮災害地御巡閲 攝政宮殿下には十五日午前六時赤坂離宮御出門、神田、本郷、日本橋方面の災害地を親しく御巡視遊ばされたる後、戒嚴司令部に御立寄り、福田司令官より戒嚴司令部各部活動の狀態を御視察の上、八時半頃還啓遊ばされたり

三、皇后宮御使 三條事務官は、皇后陛下御慰問の思召を奉じ十三日三宅坂第一衛戍病院に、十四日一ヶ谷臨時病院、士官學校內東京第一衛戍病院分院に收療しある罹災傷病者を見舞はれたり

帝都再興の任

貴族院議員 目賀田種太郎

帝都の復興策は政府當局に於ても克く聖旨を體して間然なきを期すべく、既に之が經綸設施の官制さへ公表されたのであるから、此際朝野官民が協力一致して此局面を打開し帝都再興の大任に就く事は方に緊要な事である。政府は帝都の復興に關する審議會を設置して內閣の諮詢機關たらしめた事は機宜に適した仕方であつて、其委員の顏觸れも皆一頭地を拔いた政治家のみであるから必ずや好結果は刮目するに價するであらう。曩に一致內閣を意圖した山本首相は之れに敗れたかの感あつたが、這回の審議會に於て夫れをなし遂げた事は山本首相の大いに滿足とする處であらう。此機關の完備と共に帝都として世界に誇るの內外觀を具備せしむるの任に衝るは勿論であるが、同時に罹災民多數が衣食住に安定を得て各々新生活の圓內に向つて進むの方圖を與へ、

空前の災厄に面して【四】

京畿道知事 時實秋穗

も少くなかつた爲に事業上一時の打撃を受けることも已むを得ませぬので、之等の缺陷は災害を受けぬ他の地方の人々で代つて活動をし生產をする覺悟がなくてはなるまいと思ひます。近頃の言葉を假て、國民總動員の積りで、各自其分擔の上に何割かの增步を稼ぎ出す覺悟がなくてはならぬことゝ思ひます。

佛蘭西が從來世界の債權國であつたことは前にも述べました。事實露西亞のあらゆる施設の如き大部分佛蘭西の資本によつたものであります。佛蘭西の首都巴里と云へば世界一番華美な都會で、其處丈け見ると何處に何うして佛蘭西の其大きな富が生產せられるかと疑はれるさうでありますが其源は皆地方にあるのであります。巴里は華奢な都ではありますが、地方は勤儉な府である。其結果佛蘭西の富は巴里の驕奢な消費に拘らず、漸次增加して行つたのであります。例へ東京附近一部が一時生產方面に於て衰頽を來すも、其他の地方に於て國民總掛りで努力するならば、其不足を補ふことは左迄困難ではなからうと思ひます。生活の改善消費の節約と云ふことは數年前から特に八釜しく云はれて居ることで、大に必要なことでありますが、今日の場合最も適切であると思ひます。

一體斯樣な聲が近年特に喧しくなつた原因は社會の進步につれて、一般に奢侈的消費が多くなつたことに氣付いた爲であることは勿論、之等の消費は全然生產には關係の無い無益の消費でありまして、之れが節約が出來れば夫れ丈け生產的方面が盛んになり、又富が集積せられる勘定であり、同時に一方多くの人が苦しむで居る物價の騰貴の如きも自然調節せられることになるのであります。

種の話

▲新燃料の發明 最近米國で新燃料が發明された。此れを分析すると鋸屑が全體の半分を占め、殘りは白堊と或る秘密の化學藥品の幾品數種との混合より成り立つて居るが、此新燃料は壓材のやうに堅く且つ朽ない特種があり、尚木物の木炭よりも強熱を發するさうである。

◆初めて寫眞に取つた珍しい鳥 米國にワーブラーと稱する鳥がある。此鳥は世界に於ける稀有の鳥であつて、此鳥の巢はある博物學者が今迄にタッタ一個見附けた丈けであると云はれてゐる。處が最近米國のミシガン州で始めて寫眞に映つたとの事で、該寫眞は世界各方面より複寫を申込まれてゐると。

震災義捐金（京城府扱）（第廿三回）

二十圓 貫鐵洞 朴基陽 ▲五圓同權泰鍒▲五圓同鍾路宮眞館▲五圓同朴基鉉▲五圓同朴基鵬▲四圓同安壽鎬▲三圓同白井淳▲二圓同俊▲金非詰二圓同金晋桓▲二圓同趙俊二圓同洛陽館▲二圓同朴基龍▲一圓同安時馨▲一圓同趙鍾國▲一圓同郭潤鉉▲一圓同佐々木清▲一圓同朝鮮旅館▲一圓同金相翼▲一圓同金寬錫▲一圓同金貞烈▲一圓同李榮柱▲一圓同金禹鐸▲一圓同石井宗吾▲一圓同山地嘉吉▲一圓同李允烈▲一圓同西村ツル▲一圓同田中キヨ▲一圓同尹邦鉉▲一圓同裴泰仁▲一圓同閔丙義▲一圓同李守敬▲一圓同朴明壽▲一圓同趙東熙▲一圓同趙兌允▲一圓同金烈爲▲一圓同明泰淳▲一圓同韓璘澤▲一圓同久保▲一圓同西村鶴▲一圓同吉清水峯▲一圓同李中煥▲一圓同金思烈▲一圓同金鍾鶴▲一圓同朴仁植▲一圓同永盛合▲一圓同趙春三▲一圓同金基元▲一圓同朝鮮寫眞館▲一圓同金駿員▲一圓同清水▲三圓積善洞金倫求▲三圓同裴養浩▲三圓同河內傳次郎▲二圓同李觀俊▲二圓同李哲煥▲二圓同前鍾爵▲二圓同堤熊次郎▲二圓同加藤鎌松▲二圓同後藤富造▲二圓同山崎忠司▲二圓同弓場績▲二圓同八木吉蔵▲二圓同李種甲▲二圓同李鵬周▲二圓同姿熙文▲一圓五十錢同金在鶴▲一圓五十錢同山口金藏▲一圓同朴基嬅▲一圓同李鍾泰▲一圓同李敬秀▲一圓同玄良弼▲一圓同崔基恩▲一圓同朴雨植▲一圓金允敬▲一圓申翼享▲一圓尹熙晟▲一圓崔宗煥▲一圓李賢淳▲一圓同閔泳得▲一圓朱德淳▲一圓金昌洙▲一圓同洪鍾塡▲一圓同趙漢用▲一圓同梶原清之▲一圓同宮原藤三郎▲一圓須士ミチ▲一圓同田中彤治▲一圓蘇生武雄▲一圓坂ソテ▲一圓李原東弘▲一圓新貝鍊太▲一圓李懷九▲一圓朱寅植▲一圓同金弼錫▲一圓同申淳永▲一圓同文光玉▲一圓同林俊燮▲一圓同李聖世▲一圓同金洼煥▲一圓同徐德基▲一圓同朴之赫▲一圓同都築洞崔萬植▲一圓同尹完善▲一圓同元厚根▲一圓同文晋教▲一圓同朱寅植▲一圓同宋鍾五▲一圓同張鳳基▲一圓同李圓善▲一圓同申彬▲一圓同衣畑精一▲一圓同山平德四郎▲一圓同佐久間良次▲一圓同申應熙▲一圓同朴永門▲一圓同鄭丙朝

三十圓 鍾路五丁目 酒井賴數

三十圓 同 高橋久治

▲十圓同共榮商會▲十圓同赤間埼風▲十圓同津村ヨネ▲五圓同李康▲五圓同豐田實藏▲五圓同李舜燮▲二圓五十錢金晉鎬▲二圓同金潤燮▲二圓賀永▲一圓同金鐵動▲一圓同鄭圭煥▲一圓同李世範▲一圓同李鍾燦▲一圓同崔凡▲一圓同徐丙均▲一圓同李乘億▲一圓同清水寅作▲一圓同崔明守▲一圓同柳元鎬▲一圓同文壽永▲一圓同金孝錫▲一圓同金遠澤▲一圓同丁熙台▲一圓同卓慶元▲一圓同千世龍▲一圓同鞠東岩▲一圓同姜昌根▲一圓同李德賢▲一圓同李源基▲一圓同徐基沅

五十圓 黄金町五丁目 池松熊八

五十圓 同 安藤喜津馬

四十圓 同 河牛仲藤

三十圓 同 藤田幸二郎

三十圓 同 岩淵精次郎

三十圓 同 山口喜作

三十圓 同 上田源松

三十圓 同 長田新藏

三十圓 同 井上二

三十圓 同 朴潤根

▲十圓同前國宗▲十圓同山本宰郎▲十圓同太田格馬▲五圓同山口善太郎吉▲五圓同宇佐見梅吉▲五圓同祐宗留繁太郎▲五圓同中島鹿治郎▲五圓同松岡田政光▲五圓同寺田安雄▲五圓同朴忠雄▲五圓同福富貞二▲五圓同山田勇之助▲五圓同道藤一正▲五圓同東佐四郎▲五圓同猪川一▲五圓同木內清二▲三圓同山崎義胤▲三圓同松崎文彦▲三圓同加城左一▲三圓同錦井タカ▲三圓同栗田伊代吉▲三圓同西尚久夫▲三圓同幸野紹吉▲三圓同江島元一▲三圓同牧山標郎▲三圓同淺垣明治郎▲三圓同吉井澄明▲二圓同長谷實▲二圓同濱田實▲二圓同吉城喜一▲二圓同服部竹三郎▲二圓同阿部安平▲二圓同吉岡秀一▲二圓同柴原治平▲二圓同椎宗健▲一圓五十錢宮崎末吉▲一圓五十錢岸川文八▲一圓同早川郡房▲一圓同岡野爾太郎▲一圓同後藤政生▲一圓同鬼塚高造▲一圓同宙都市計藏▲一圓同大塚八郎▲一圓同林貞雄▲一圓同竹中初太郎▲一圓同渡邊三次▲一圓同佐藤政次▲一圓同平野佐吉▲一圓同本田啓一▲一圓同富田秀太郎▲一圓同緒方辰藏▲一圓同金鶴鎔▲一圓同柴田安吉▲一圓同山下爲樂▲一圓同金在根▲一圓同遠藤正高▲一圓同石崎チマ

二十圓 南山町二丁目 佐藤昭忠

▲二圓櫻井町一丁目新田元ゆ▲二圓同城近金作▲一圓同近藤松太郎

二十圓 北米倉町 白賢化

▲二圓同宋禹榮▲二圓同金益鎬▲二圓同趙命元▲一圓同李仁淑▲一圓同李佑三▲一圓同金鶴元▲一圓同金弘桂

二十圓 黄金町四丁目 小野熊三

▲十圓同高橋邦周▲十圓同山田實之助▲三圓同渡邊ヤエ▲一圓同懇川一雄▲一圓同蓮尾トヘ▲一圓同田中大助▲五圓通洞閔景植▲二圓同金基珠▲一圓同任基鎬

百圓 京城自動車運轉手協會一同

五十圓 朝日組京城支店

三十圓 東大門警察署內 高橋義信

二十五圓 太平通二丁目 新昌洋行何澤民

二十五圓 東豆川驛員一同

二十圓 麻浦洞 金楷德

十八圓 京城毛物同業組合員一同

▲十圓橋南洞大石又吉▲十圓同朝日組京城支店櫓崎伊勢吉▲七圓新町白扇樓內藝妓一同▲五圓大和町一丁目久保與吉▲三圓新町萩原チヨ▲三圓同永樂町二丁目中島德▲二圓栗太院李鴻淳▲二圓崇二洞盧寬澳▲一圓苑南洞金明均▲一圓武橋町李明淑▲一圓昌信公立普通學校小使河清源▲一圓齋洞公立普通學校小使李來伯▲一圓並木町鄭殷順▲一圓同松田カツ▲一圓長谷川町中川ツル▲五十錢永樂町瀧川喜一

二百二十五圓五十錢 龍山彌生町 觀音講信者

內譯 ▲芝崎シカ▲三代キヌ▲牛島スミ▲米澤キク▲松島マツ▲國武俊吉▲三代信義▲田中キヨ▲青柳シゲ▲黒澤ツヤ▲岡田テイ▲德光金太郎▲宇治川和市▲北田茂▲福井ユキ▲平川タカ▲藤井セン▲樂眞寺ナミ▲島淳▲岡田卯三郎▲古賀大四郎

五十六圓 木村藥房內店員一同

內譯 ▲二十圓木村三郎▲十五圓中野卯一良▲五圓原忠夫▲五圓木下藤吉▲五圓野坂正勝▲三圓同富高正義▲二圓富高輝夫▲二圓李圭琫▲一圓金鳳植

▲八圓龍山公立尋常小學校兒童一同▲五圓同練兵町高山省清▲五圓十八錢啓星學校職員兒童一同▲五圓岡崎町峯原祐吉

五十圓 麻浦洞 金鎭愛

內譯 三十六圓古市町二見旅館奉公人一同▲五圓金昌洙▲三圓永岩筆子▲三圓下川たみ▲三圓北村とめ▲三圓藤岡きみ▲三圓李花▲三圓趙漆蓉▲三圓松村雪子▲三圓朴泰山▲二圓永岩郎吉▲一圓李性女▲一圓金容安▲一圓李快均▲一圓金龍容▲一圓梁東煥

三十三圓九十錢 京城高等工業學校生徒一同

三十一圓六十二錢 京城工業學校生徒一同

三十圓 朝鮮藥學校生徒一同

三十圓 蓬萊町三丁目 松原徹州

三十圓 唐珠洞 株式會社永興社

▲十圓茶屋町劉永熙▲十圓漢江通山本組小山興次郎▲五圓清進洞高木安一▲五圓馬山府壽町所在時天教佛教宗教長金聖根外一同▲四圓慶南昌原郡鎭東面社羽里所在時天教佛教宗教長李鍾裕外一同▲三圓同木町三丁目井上瞳▲二圓光化門通金相胤▲二圓壽昌洞姜寮穀▲一圓五十錢蛤洞金在成▲一圓致遠洞高興元▲一圓堅志洞金璟秀▲一圓蛤洞金泰榮▲一圓蓬萊町一丁目仁義堂▲一圓龍山騎兵第二十八聯隊第一中隊山口保三郎

二千五百圓 李王職々員一同

計金四千參百六拾壹圓八拾九錢

累計金貳拾七萬百四拾貳圓六拾四錢五厘

外ニ公債五百圓券壹枚

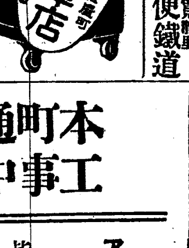
資本金五百萬圓
新日本火災海上保險株式會社
社長 伯爵 柳原義光
專務取締役 金光庸夫
本社 東京麴町區有樂町二ノ三
京城支部 京城永樂町二丁目七六番地 電話長三九六、九三三番

測量諸機械

在庫豐富
京城本町一丁目 篠崎商店
電話本局二三〇三、六四八番 振替口座京城一五四番

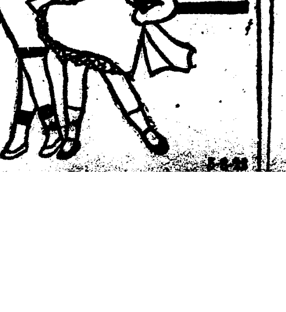
眞寫機械材料（目錄進呈）
岩瀨寫眞機店
京城本町一丁目 電話七五五番 振替七七八八番

驚クベキ特効藥 酸素丸
世界ノ大家ローランド氏ノ說ニ依レバ吾人ノ疾病ヤ老人性ノ原因ハ血質線ノ變性カ又ハ發育不充分カ乃至ハ血質線ガ有害作用ノ毒物ニ觸レテ變化ヲ來スニ因ルモノナリト斷定サレテアリマス
腎臟病、心臟病、神經衰弱、ヒステリー、子宮病、血の道、月經不調、糖尿病、卵巢の病、睾丸の病、慢性痲病、慢性淋濁、尿道狹窄、月經時の疼痛、下腹部の硬塊、常習的頭痛、常習的肩の凝り、眩暈又は便秘、產後の諸病、貧血、衰弱、腰痛、淫萎、不姙症、胃又は腹の病、バセードー氏病
其外種々ナル名稱ニ因テ隨所ニ顯ハルヽモ要スルニ血質線ノ故障ニ外ナラヌノデアリマス故ニ無病長壽ヲ希フ方ハ先ヅ其ノ血質線ノ完全無缺ヲ圖ラネバナリマセヌ [illegible]
定價 七日分一圓、十五日分二圓、卅日分四圓（送料共）代金引替ハ御斷リ致シマス
酸素丸本舖 南滿洲本溪湖 中西亮 振替大連三四三五番

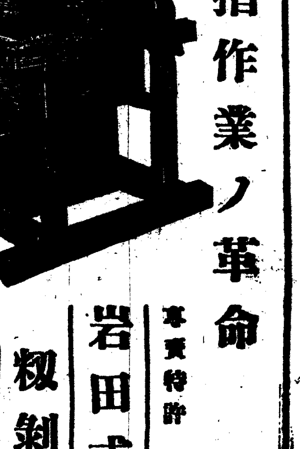

佐倉金庫店
本店 東京々橋松屋町 支店 大阪東區唐物町
朝鮮代理店 京城本町 佐藤半次郎商店 電話長本局二四三[illegible]

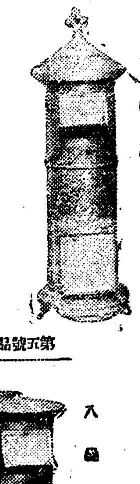
最新刊
最新東京市街地圖町名早見表 二〇
相場辭典 黑田、田中、佐々木 二、七〇
テニス 熊谷一彌 二、五〇
野球 三宅大輔 三、〇〇
觔手耶子の冒險 大原武夫 一、九〇
人生雜記 永樂町人 三、一〇
文明の中樞 石本靜枝譯 一、二〇
科學的社會主義序論 水谷長三郎譯 一、七〇
星座と其神話 木村鷹太郎 四、九〇
乘國の手ほどき 小林一三 七七〇
出世物語 阿部文雄 二、七〇
薄氷を踏みて 沖野岩三郎 二、七〇
星は亂れとぶ 同 一、九〇
發行所 京城 大阪屋號書店 振替京城二九七三 電話本局八六四、二〇八六

大正十二年七月一日改正
价川輕便鐵道
驛名 新安州 安州 北松里 龍興里 价川 [illegible]

煉乳御入用の節は「最良品」を御使用あれ
鷲印ミルク
舶來 人形印ミルク
ネッスルミルク


本町通路面アスファルト補装工事中御通行皆様への御願ひ
アスファルトの材料は四百度以上迄加熱致した物を用ひますので皆様に對して過失なきを留意致しつゝ路面の御化粧工事の速進を期して居ります
弊店は御通行の皆様が工事御援助の思召で御自衛下さるのを厚く御禮を申上ます
もう暫くお互様に注意致し速に遺漏なく竣工の上皆様にもお喜びを願ひ度いと存じますから
御迷惑でもこの上共施工上の便宜をお與へ下さることを伏して御願申上げる次第で御座います
京城黄金町二丁目 石田建築材料店 電話長本局一六一一番

籾摺作業ノ革命

專賣特許 岩田式籾剝機（型錄進呈）
全國優良農具展覽會 金牌受領
朝鮮一手販賣 大東社商業部
京城府[illegible]町二ノ二七 電話本局七[illegible]

新装を凝せる特色と効果は
▲特許 宮崎式ペーチカ
▲新案特許 宮崎式置ペーチカ
各種二十種 型錄贈呈
第六號品 六疊用

第五號品 八疊用

第八號品 應接事務室用

▲創業二十年の歷史と信用により多大の賞讃を得て居ります
▲近來粗惡の模倣品あり宮崎式ペーチカに御注意下さい
京城龍山錦町 宮崎組本店 電八四二番
支店 平壤・南市・大連・奉天・長春・安東縣出張所

不穩なる沿海州
驅逐艦が引揚邦人を保護する

【東京電報】＝海軍省公表＝露領沿海州並にカムチャッカ方面に警備の任にありし我驅逐艦の報告に依れば本月十九日沿海州サマルカに於て我林業組合從事員引揚げ準備中通譯外三名を監禁したる上多數の武裝せる露支鮮人等來襲し邦人を包圍し掠奪を擅にして脅迫し危險迫の旨情報ありたるより同港在泊中の第六驅逐隊夕立白露の二艦同地に急行露國官憲者に詰し嚴重なる談判の結果監禁中の邦人全部を釋放せしめたので營當り人命には異狀なく目下平穩の狀況であると右驅逐艦二艦は邦人全部の引揚げを終る迄同地に在泊の豫定である又カムチャツカ東海岸の出漁邦人は我驅逐艦の保護の下に殆んど全部引揚げを終り西海岸は本月下旬迄には全部引揚を終る見込であると

國境を飛行する
沿海縣赤軍第一回の試み

【間島電報】露領沿海州に駐屯の赤軍は最近琿春東境の獾道所及びポセットの二箇所に飛行機着陸場を選定し尚一箇所を選定の筈で近く第一回の國境飛行を決行すると云つて居り非常な熱心を以て飛行機の充實に腐心してゐるが赤軍の現に所有する飛行機はモスコーの三十九機ペトログラードの二十七機を主とし沿海縣にあるものは六機である。

滿蒙に大會社計畫
張作霖氏蒙古王侯と協力して

【奉天電報】今春來張作霖氏は蒙古王侯等と協議中なりしが今度其計畫を擴張し資本金二千萬元の會社を設立し東三省は十分の六蒙古は十分の四を六ケ月內の豫定にて募集しつゝあり其他工場の設立、鑛山、牧畜の擴張をなす筈で先づ實業振興準備所を設立して實行に著手することに決定した。

ルールは絶對割讓せぬ

【倫敦電報二十六日發】獨逸政府は公式にルール地方に於ける消極的抵抗の放棄を宣言したが更に同地の聯邦の如何なる部分をも割讓せざる旨をも通告した。

燒跡建築規定
―工場、旅館、遊廓、劇場其他―

【東京電報】燒失した工場及び旅館、劇場、遊廓等の建築並に之等の營業取締規定は十月一日より左の如く實施される筈である

(一)工場にして燒跡に建築せんとするものに限り從來の工場取締規則に據る事

(二)浴場の料金は(電文不明)と比較の取れる柱にする事

(三)劇場は淺草公園一帶の舊活動寫眞館等の興業地帶に從前通り燒跡に建設し假建築を許すも二階觀客所は絶對に許可されず土間一階を觀覽席として認む

(四)旅館は燒跡に限り假建築を許するも從來以上の廣さは認められず

料理屋待合等は絶對的取締を爲すに過ぎず只だ燒跡地區の淺草須崎等に對しては比較的寛大にし郡部に移轉する場合は注意を與ふべし

(五)遊廓は從來の場所を變更さる事は絶對になからん只だ千束町一帶の私娼は徹底的に撲滅を期し許可は絶對に行はざる事

政府拂下米價

【東京電報】政府米の價格及び指定小賣値段は二十七日次の如く引下げられた

一、政府米拂下値段 內地產玄米一石に付三十三圓(一圓下)但し九年度及び十一年度產內地玄米に限り石に付二十六圓(二圓下)內地產白米石に付三十七圓(二圓下)外國米一袋に付十一圓(一圓下)

一、小賣商人政府拂下小賣値段 內地產玄米石に付三十五圓五十錢但し九年度及十年度產のものに限り石に付二十八圓五十錢(二圓下)內地產白米石に付四十圓(二圓下)外國米一袋に付十二圓五十錢(一圓下)

國鐵復舊繼續豫算

【東京電報】今回の震災で被害を受けた國有鐵道被害に對する應急工事費として差し當り五百萬圓を要する見込みであるが復舊費としての損害は線路及び建造物等の工作物關係約四千萬圓車輛工場等の工作關係三千萬圓乃至三千五百萬圓並に建設關係の五百萬圓を合し概算七千五百萬圓に達する見込みである而して當局の方針では損害程度が巨額に達した結果三ケ年繼續事業として毎年二千五百萬圓程度の復舊費を振り向ける事になるであらうと

鐵道の暴風雨損害

【東京電報】二十四日朝來襲し來た暴風雨の爲め震災以來全力を擧げて折角復舊した鐵道方面の被害は甚だ二十五日迄に判明した各線の破損箇所左の如くである

▲東海道線龍ケ谷戸塚間淸水隧道の土砂崩壞で 二十五日午前二時半開通

▲馬入河假橋が洪水の爲め流失したから其の間は徒歩と船で連絡を取る事になつた

▲橫須賀線鎌倉逗子間石越隧道土砂崩壞二十五日午前一時開通

▲中央線市ケ谷牛込驛間土砂崩壞上り單線運轉を爲し辛うじて連絡を取つて居るが二十五日午前八時頃開通した

▲八王寺線(本相中川)八王寺相[illegible]驛間の上り線須附近土砂崩壞したが二十六日午前六時開通

▲成田線成田高酒井間堤防約五十坪出水の爲め流失現在の所復舊の見込み立たず

▲北陸線大貫佐貫間堤防十三坪流失二十五日午前九時開通

▲佐原線都佐原間凡そ十坪堤防破壞二中に開通の筈十五日

▲東武本線八街日向間道床深二尺長十呎流失二ケ所二十五日午前中に開通

▲日向市東間鐵床深さ二十三呎長三十呎流失二十五日午前中開通

▲日光線日光今市間松並木數本線路上に倒れ二十五日午前六時開通した

東京罹災戸口

[illegible]數である 燒失戸數四十萬七千九百九十戸(六萬四百○)[illegible]

日銀割引損失保證
契約手形書類の限度

【東京電報】二十七日樞密院臨時本會議に上程せる緊急勅令第四百二十四號第一項に依る緊急勅令は日銀の手形割引に關して政府は其損失保證金を一億圓とする事は既報の通りであるが該勅令は今まで曾て前例のなきもので金融界に及ぼす影響は甚大なるに依り政府は其內容は極秘に附して公布の日まで外部に漏洩することを極力防止してゐるが今其內容を確聞すると政府が日銀手形割引所持者に對し損失の保證を爲さんとする契約手形書類は左の如くであるが期限は明年三月一日迄と定める筈

一、震災地を支拂地とした手形
二、震災地に營業所を有する者に對する振出手形
三、九月一日以前に銀行の割引した手形
四、第一種手形を擔保として銀行振出の手形
五、九月一日以前に銀行預金證書、コールローン證書を擔保とした貸付割引手形
六、前記三項の手形交換の爲め振出した手形

公債一千萬圓蒸燒
橫濱取引所の金庫に保管中

【橫濱電報】橫濱取引所は去る二十五日金庫を開扉した處金庫に收藏し置きたる公債證書一千萬圓は蒸燒となつて居たがピンセツトで之を扱へば番號等は書留める事が出來るので取敢ず第三銀行に保管方を依賴し不日日銀係員の出張を乞ひ之を鑑定する事となつた

申告の御儀
震災並に復興に關して 嚴かに執行はせられる

【東京電報】攝政宮殿下には去る九月一日の震災並に復興に關し二十八日午前十時賢所皇靈殿に申告の御儀を行はせらるべく同殿下には普通禮裝を召させられ皇后宮御代拜及び皇族總代伏見宮殿下大勳位國務大臣總代山本首相外樞密顧問官等參列し嚴かに御儀を行はせらる筈で

を行はせらるゝに付き左の如く勅使參向仰付けられた

掌典長公爵 九條道實

震災並に復興の儀神宮並に御陵に報告の爲勅使として參向仰付らる

勅使參向
神宮と御陵へ

【東京電報】來る十月一日伊勢神宮並に御陵へ勅使を差遣され、九月一日の震災並に復興報告の御儀

閣議(廿七日)

【東京電報】二十七日の閣議は午前十時より首相官邸に開き後藤內相より罹災地各方面の狀況を報告する處あり井上藏相はモラトリアムの撤廢に關する意見を述べ其他內外重要案件につき協議し正午々餐を共にし直に樞密院會議に列席した

橫濱の罹災鮮人は
海軍工廠復舊工事に從事した

【東京支局電報】＝海軍省高級副官談＝海軍省では今次の震災につき鮮人救護の目的を以て齋藤總督と財部海相との間に交涉了解の上差當り橫濱在住の鮮人二百三十名を橫須賀に收容し海軍工廠の復舊工事に從事せしむる事となつた一切は鎭守府司令長官に任せてある 成績が好ければ尚多數の鮮人を收容して行くは橫須賀復舊事業にも使役する筈である徒らに鮮人を收容しても只勞働もさせず職をも與へずに置く事はよくない事であるから今回の企てを試みた次第である何しろ收容してから今日で三日目だから未だ成績は分らない云々

誤解漸次氷釋
罹災鮮人に同情が蒐まる

【東京支局發電】＝內務省發表＝罹災朝鮮人も陛下の赤子である之を遇するに甲乙の差別は固よりあるべきではないが大震災に際り種々なる流言蜚語の爲め朝鮮人に對して反感誤解を來したるは誠に遺憾此上もない事である然るに時日も經過して朝鮮人必ずしも不逞者に非ず其の大多數は實に朴訥從順の民である事が了解せらるゝ樣になつたから漸次社會の同情が彼等罹災民にも集まり來た事は喜ぶべきことである朝鮮總督府の青山收容所に目下二百八十名の罹災朝鮮人を收容して居るが急設のバラックとて炊事場の設備なく昨今風雨の際は炊事をなすことを得ず食事に困難するの狀態であつたが附近の第一師團は大に之に同情し早速軍用パン二百餉を寄附した

一命を助つた幸運兒

[illegible]ガラくと來たそうと[illegible]路上に落ちて來た荷車の下にゐた友人は眼が暗み頭がボーッとなつて[illegible]つたので瓦や木片を取り除けて荷車の下から運び出して來て見る[illegible]に便乘して神合に出で外國船に乘つて橫濱の火事を眺めてゐた[illegible]

樞府會議
御諮問案可決

【東京電報】二十七日午後二時より宮中東溜間に於て緊急樞密院會議を開き左記御諮問案の五件を滿場異議なく原案を可決した。

一、帝都復興に關する件、
二、文官任用令中改正の件、(復興院勅任文官特別任用の件)
三、特任文官特別任用令中改正の件(同上奏任文官任用の件)
四、罹災地に於ける衆議院議員選擧人名簿調製延期に關する件
五、憲法第七條により罹災地のモラトリアム撤廢に伴ふ資金融通の件

震災民移住の建議

【東京電報】貴族院議員伊東子、中村博士其他の有力者發起となり今回の震災地に於ける罹災民を南洋其他適當なる國に殖民せしむべく建議を政府に出すことゝなり二十六日附を以て山本首相、後藤內相、伊集院外相に對し建議書を提出した

總ては部下任せ
支那人には親友の心で接したい
新任關東長官 兒玉秀雄伯語る

【東京電報】辭令を貰つた許りで未だ事務上に就いては打合せもしないし夫れに交通機關も不完全だから今の處何時出發するか決定してゐない、僕個人の意見は久しく浪人してゐたから何にも分らぬがまあ向ふへ行つて模樣を見た上で何んとかするさ、朝鮮には十年餘も居たが滿洲には日露戰爭の時一寸行つた許りで地理も詳しく分らぬ、昨日邊から盛んに贈物が出して居る所さ、川口君や中野君とは良く知合の仲だから何事も合議して遣つて行く事にしたいと思つてゐる今日は偉い人の一人の智慧よりも衆智融合の力がより偉い大な時代で生半可の智識を振廻すより萬事大養式に部下委せにした方が却て能率が揚る今度の震災で支那の排日熱が薄らいだのは結構なことであるが此の機會を善用するのもよからうが元日は色々宣傳が多いから迂濶に乘れまい只支那人を親日機運に導かうと思へば自ら拂ろなしの親友の心を持たなければ駄目だ昨今の日本は浮腰だ大に自ら反省すべきである云々

保護中の朝鮮學生
―合計百四十餘名―
鮮內轉學希望者には便宜を與へる

東上中の高橋視學官より總督府に宛てた報告に依れば在京朝鮮學生中鄕町區中六番町の朝鮮學生督學部寄宿舍及早稻田長白寮に收容保護を加へてゐるのは左の百四十名であるが總督府學務局としては罹災地內の各學校に在學した朝鮮學生にして鮮內中學校に轉學を希望するものに對しては充分便宜を計る方針であると

出身道別	收容個所	學生數
京畿	督學部	日本大學生 林慶燮外六名
同	長白寮	中央大學生 朱毅德外七名
忠北	同	日本大學生 李弘求外十二名
同	督學部	同校生 丁奎現外六名
忠南	同	日本大學生 金在翰外四名
同	長白寮	電機學校生 尹鶴均外四名
慶南	同	正則英語生 張正月外一名
同	督學部	豐山中學生 鄭鳳烈外四名
慶北	同	明治商業生 朴敏祚
同	長白寮	工手學校生 孫秀岳外四名
全南	同	日新豫備校生 姜輝外一名
同	督學部	國民學館生 朱千文外二名
同	長白寮	大成中學生 鄭東烈外八名
黃海	督學部	法政大學生 朱齊泰外五名
平南	同	日進英語生 李春國外十六名
平北	同	名教中學生 金基江外十六名
同	長白寮	正則英語生 金萬號外五名
江原	督學部	金允成
咸南	同	日進學校生 林炳會外四名
同	長白寮	普及英語生 元錫甫外六名
咸北	督學部	高工生 李熙在外八名

副共出品人員

副業共進會に對する朝鮮內出品人員は普通出品八千九百五十八人參考出品四百人合計九千三百五十八人で其道別は慶尙北道の千百九十七人が最も多く京畿道の千三百七十人が之に次いでゐると

咸鏡線工事進行決定

內地震災に依る經濟界の萎縮が朝鮮內の未完成鐵道の將來に甚大なる影響を生ぜずやとは一般に危惧さるゝ所であつたが就中地方產業の開發上緊急を要する關係にある咸鏡南北線の連絡施設工事に就ても延期說傳へられ一時大に悲觀狀態に陷つたが今回當局の方針は該線の速成實行に決定し次いで關化北青間の十三工區は最初の計畫通り十二年度より三ケ年繼續事業として工事を進むる事となつた

燒失學校開校見込(上)
東京、橫濱に於ける

上京中の高橋視學官より總督府に對し東京に於ける燒失學校の開校見込に關し左記の通り報告ありたり

一、燒失直轄學校開校見込(十九日午後三時まで判明の分)

東京帝國大學

(イ)工學部七二一人、新築航空研究室罹災の輕微なる建造に應急處置を施して收容する豫定
(ロ)文學部六〇〇人
(ハ)法學部一、六二二人
(ニ)經濟部七一三人全燒の爲一戸の校舍を借り受くべき見込なりし所本省及大學建築技師の檢分したる報告によれば一高本館は危險にして使用し得との事なるを以てさしあたり一高の幾部二、三教室及通稱八角講堂に應急修理を施す外東京高等師範學校の一部を借り受けて學生を收容するの見込

東京商科大學

(イ)大學部本科學生九〇〇人は當校中の燒失崩壞を免れたる大小十一教室を使用して始業する豫定
(ロ)專門部六〇〇人、豫科六〇〇人につきては東京高等學校新築校舍の一部東京農科大學借受等の方法によりて始業する見込

東京高等工業學校

(イ)本科生六九八人、教員養成所一〇〇人豫科一四〇人、支那學生三六人
(ロ)實驗實習に付ては農商務省の工業試驗所、地質調查部及殘存せる民間の工場等を利用して授業を爲す
(ハ)學科の教授に付ては東京帝國大學農學部を使用する見込
(ニ)附屬徒弟學校は東京高等工藝學校を假用する見込

東京外國語學校

(イ)本科、選科、專修科(夜間)合して一一八一人
(ロ)各外國語學校教授の立場より見て最小限教室數、二九室…(內大教室(五))を要するを以て陸軍關係の戸山、士官、砲工學等比較的近接せる學校の一部教室の假用を受けてこれに收容するの交涉を爲したるが西ケ原所在東京高等蠶業學校にては明春四月までは蠶室三二、教室一五位を提供し得べしとのことにて建築技師調查の結果收容に支障なければ之に收容して[illegible]業する見込

東京女子高師學校

(イ)本科四六〇人教員養成所一四〇人附屬女學校七〇〇人小學校七〇〇人幼稚園二〇〇人その他依託せるものあり
(ロ)本科生は東京府立女子師範學校を假用して午後より授業し中理科生徒の實驗等は東京高等師範學校理科教室を利用する豫定
(ハ)附屬女學校生徒の收容につきては女子學習院教室の一部及同院附屬常磐會館の室等十四、五の教室を借り午後の教授をなす豫定
(ニ)附屬小學校は東京高等師範學校附屬小學校々舍を利用する豫定
(ホ)幼稚園は適宜分割して私立のものを假用すべし

驚くべき大慘害
罹災者の窮狀は想像以上
李完用侯閔泳綺男交々語る

東都の災害に就き天機奉伺並に各宮家へ御機嫌奉伺のため朝鮮貴族を代表し東上中であつた李完用侯閔泳綺男の一行は廿七日夜釜山著特急にて北行したが車中交々語る「東京著後直に日光に伺候天機を奉伺し夫れより引返して各宮家を歷訪し諸用を濟まして直に歸途に就いたので親しく災害地の視察も出來なかつたし詳細に事情を知ることは出來なかつたが往復の通路で見た實狀は出發前の想像とは比較にならぬほどの大慘害で吃驚の外なかつたが幸ひに二三御避暑地に在らせられた宮家に御不幸があらせられた外御在京の各宮家には何の御異狀もなく御損害も甚大ならざるを得たるは實に喜びに堪へぬ所であつた、一部鮮人自動云々に就ては親しく事情を究むる餘裕がなかつたので詳細調查中であるから何れ近く發表せらるゝであらう新聞紙等に傳へられた事はあの混亂の際に總てが冷靜を缺いで居る際の事とて餘程眞相を外れた事も多かつたらうと思はれる出發前又復風水害に襲はれ其夜の寒さは實に酷かつたが避難民の事を思ふと暖かい床の中に居ることさへ勿體ない樣な氣がして思はず夜具を被いだ樣な[illegible]であるが畏れ多くも攝政宮殿下にも御憂慮の中に夜を明かせられたと承り實に無量の感に打たれた不幸なる遭難者に對しては此上の救濟に努めねばならぬ(釜山電報)

支拂猶豫令撤廢と
朝鮮金融界の影響
高久殖銀調查課長談

金融狀況視察の爲め大阪へ出張中であつた高久殖銀調查課長は此程歸城したが其談に曰く

支拂猶豫令撤廢に對する金融業者の對策に就ては東西銀行業者會議で協議されたやうだが若し本月限りモラトリアムが解除されるとすれば罹災地振手形の始末は何うなるであらうか、大阪では右手形は震災前に大部分銀行で割引してゐるから商人の手には相當金が入つてゐるが取立てる事が出來ぬので銀行が困つてゐる、今度モラトリアムの撤廢と共に其手形の何れ位が支拂へ或は固定となるか分らぬが更に角大阪方の受ける損失の範圍は略分明する譯である、斯んな具合で大阪の銀行としては前途に對する觀測が付かぬので貸出方面も或程度迄警戒してゐるやうだが著しく引締めてゐるので無い、一日以來日銀支店に於ける各銀行の預金數高は次の通り激增を示してゐる、

一日	二、九四三千圓
五日	三、一六四
十日	五四、九四五
十五日	六五、四七五
二十日	七一、〇八〇

斯くの如く預金は僅に二十日間內に約三十倍の七千百萬圓に激增してゐる、是は云ふ迄も無く各銀行が萬一の場合に備ふる目的から出てゐるのであるが最近東京方面の金融が漸次安定に向つてゐるので日銀支店への預金も幾分か少したやうだ、コールも十日頃迄は殆ど出し手が無かつたが十五日頃から三十萬とか五十萬圓位ゐの小額が短期で貸出されるやうになつた次に朝鮮關係の何うかと云ふと從來朝鮮の移出品は多く關西方面で消費せられ關東に移出するものは小數であるから朝鮮貿易を營んである大阪商人も直接の打撃を受けたものは少い、從つて金融方面から見ても朝鮮としては直接の影響が薄い譯だが將來商取引の中心が大阪に移るものとすれば大阪市場は殷賑を來しストックを捌撒して金融緩和を感じてゐた商人は夫々復活するから同地關係の深い朝鮮の商品界は自然好影響を受るであらう、唯困つた問題は將來資金移入の減少を免れぬ事で朝鮮に於ける事業界の影響は勘少で無いと思ふ

鮮銀正貨出入

鮮銀に於ける八月中の正貨受入高は市場より流入二百八十七萬九千圓、送受入三百八萬二千圓拂出高は市場へ流出三百十萬六千圓拂出高三百三十四萬四千圓、月末現在高二千九百八十八萬九千圓で之れを前年同期に比すると約二百萬圓の減少である

遞信局應援團歸城

震災以來大阪中央電信局に在りて朝鮮發着電報の疏通に力めてゐた遞信局應援隊は二十六日大阪出發歸鮮の途に就いた

國有林借受人招集

咸鏡南道富川郡にては二十八日午前十時より同郡管內國有林借受人八十名を郡廳に招集し經營狀況を聽取すると同時に之に對して指示注意を爲す由で道廳よりは石川技手出張の筈

公會私會

◇臨時局部長會議 總督府では二十七日午後一時から第一會議室に於て臨時局部長會議を開催政務總監以下在住局部長列席復興事務及其の他二、三の重要事務に付打合せを爲した

◇記者協會評議員會 朝鮮記者協會では二十八日午後二時から朝鮮新聞社樓で會計報告其の他諸般の打合の爲評議員會を開催する筈

人事消息

▲田中三雄氏(平南內務部長)二十七日朝入城不知火旅館へ

▲戸津原氏(殖銀光州支店長)同上

▲八尋生男氏(京畿道技師兼總督府技師)豫て歐米出張中の處來る三十日午後六時五十分京城驛著にて家族同伴歸任の筈

▲龜島豐治氏(鮮銀檢查部長)二十七日夜發東上

▲滑田當臣氏(碧城金組理事)今回滿洲金融組合聯合會長に榮轉

ヨシアシ

◇帝都復興院は素晴らしく大きなものだがどうか雨漏りなんかせんやうにしたい、なかで仕事が出來んから。

◇支拂猶豫令は愈々本月末日限り撤廢、然し日銀は獨り一般銀行に對し積極的援助をすると言つてゐる、キヤフト振假はツキヤコなし。

◇帝都復興院は外債と決した譯ではない、先づ行政整理と財政整理で遂行する筈だと、その筈で間に合へば何よりだ。

◇京城府內の小學校では、秋季運動會をやるとか、やらぬとか言つてるさうだが、一體運動會の眞意旨は何か、よく考へて見ることサ。

◇獻納品共進會は、夜間開館や、餘興の幾分を中止するとか、この際馬鹿遠慮は御無用、御無用。

◇三つ兒の言ふやうなことを陳べて聽鮮に供ふなどゝ出るのだから、總督も、總監も、閉口だらう。

急告

九月二十七日より大邱安東間に貨物積み貨物自動車の運轉を開始し毎日相互より一車宛を發着爲致候間御引立の程願上候

大邱府東城町 南鮮運輸株式會社

理想的補血強壯劑

體力散

はい病ろく膜 心臟病 貧血諸症、產前產後の諸病に卓効あり

活動能率を增進せんとする健者及靑春の心身を復活せんと欲する弱者は是非服用せられよ

十日分 貳圓 三十日分 五圓五十錢

大阪市西區阿波座中通一丁目四十一 體力散本舖

【京日案內】

五號活字十六字詰一行一回金壹圓五十錢 匿名ハ壹回每ニ貳拾錢增 料金前納ノ事

讓店 本町目拔の場所 至急讓渡し 御用の方は永樂町二丁目中央市場角カフヘエーリリ

恩給 年金退隱料扶助料低利立替 公債及び賜金保管通帳有價證券買入 京城古市町三五(電本局六九〇) 江州屋本店營業所

電話 京龍電話賣買 月賦販賣 電話擔保低利 金融動產債券高價買入 明治町二ノ二フランス教會前 電本一八六八番 双葉商會

恩給 年金退隱料扶助料即時立替 京城並木町八十八番地 新町高野山下 安藤商會

看護 婦及見習看護婦至急入用 希望者本人來談 仁川寺町久木田醫院 電話七〇四

募集 外交員 年齡廿歲以上內鮮男女不問保證人要 月收百圓以上午前中本人來談あれ 黃金町三丁目派出所北入森脇商會

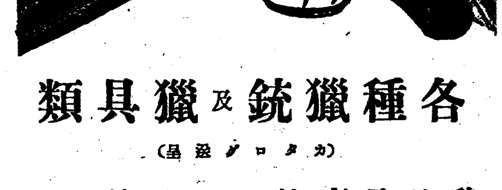
貸家 西大門停留場より北約三町牛乳店前 靜穆な住宅 電燈水道浴室 新築二階建 家賃三十八圓 平洞二二七 安井

貸家 木造瓦葺二階建上六疊三疊四疊半 階下六疊二疊 御成町三番地第三號向 御希望の方は電話本局二〇一九番へ

貸家 光化門延長電車終點より五六町 交通に便利よき地に日當りよき改良住宅あり 浴室水道電燈等一切完備 家賃二十三圓半、新橋洞二 電光三二四 齋藤

女 事務員電話係として採用したし 明治町一丁目 本町五九六 米友倶樂部

住宅 溫突浴室付 六疊四疊半 一間所附 井戸水道 文化的設備 電燈 [illegible] 青葉町交番所上 [illegible]



各種獵銃及獵具類

(カタログ呈送)

鷄林商事株式會社銃砲部

平壤大和町七番地 長電話一八一番

天辰齒科醫院

東京齒科醫學士 天辰親夫

仁川本町三丁目

創立明治參拾貳年

倉庫業兼營

京城府南大門通一丁目十九番地

株式會社 朝鮮商業銀行

頭取 趙鎮泰

專務取締役 岩崎虎次郎

支店(京城南大門・同本町・同東大門・仁川 平壤・利川・群山・釜山・元山・淸津)

京城永樂町二丁目

入院隨意

酒井婦人病院

酒井一郎

電話二三〇三番

朝鮮信託株式會社

◉營業科目 信託 金錢信託 有價證券信託 不動產信託 代理 保證 貸付 其他一般信託業

●營業案內進呈

京城明治町電話一五九九番 仁川本町電話一二二番

苦しきぜんそくタンセキと感冒患者一讀を乞ふ

藥學博士久保田晴光先生實驗御推賞

滿洲藥物界に於ける一大發見!

△ぜんそく たんせき 患者の一大福音!

△勿驚タツタ一回一茶匙(三瓦)の服藥を以て咳嗽止み呼吸困難去り胸自ら開けて蘇生の感あり

新藥 アストマトール

本劑は麻黃、中毒性の藥劑にあらず藥學博士久保田晴光先生多年藥物研究の結果發見せられたる藥劑にして アドレナリン注射の如く注射を要せず、內服に依つて其の效力彼よりも偉大なるを特長とす、

ぜんそく患者は勿論一般たんせき患者は兩三回の服藥を以て効を奏す、尚ほ體溫を增す故に感冒豫防として即効あり、

△適應症 喘息其他急性慢性の呼吸器疾患にして咳嗽喀痰を伴ふ諸症例へば氣管支炎、百日咳、肺結核、咽頭炎等

△藥價 壹圓、貳圓、四圓、七圓、の四種(但し滿洲朝鮮に限り當分の內)

製造發賣元 奉天松島町十四番地 鶴原商店製藥所 振替大連二八六三番

日本販賣所 門司市本町 鶴原誠藏商店

各地有名藥店に販賣す、若し品切れの節は本天へ注文を乞ふ(說明書進呈)

是非一度の御試用を乞ふ

「東京電話」東京市役所にて調査したる各區別燒失戸數及び罹災人口は左の通りで過日警視廳より公表した燒失戸數並に人口より遙かに

荷車の下に潜つて

罹災民中九死を得た者があるがその人は九月一日所用で東京に行き正午頃或る賑い街路を歩いてゐると…感じたので路傍に於てあつた荷車の下にもぐり込んだその瞬間恐ろしい音がして附近の家が潰れて…現場に死した事で死んだら自分は乾度地獄に行くものと覺悟してゐたものらしい暫らくして正氣に…に行つて見た…で今度は海岸通りに出で小蒸汽船の上火に圍まるゝ危險もあつたの…一晩火の海の化した友人の乘つてゐた外國船もスワ一大事と纜を切る」

消防手の美擧

…て相當の謝出を爲したる上謝ねて…飲事に出でたるは同感の至しみと

沿海州の露支人 邦人を監禁脅迫

警備艦の急航で難を免る

【海軍省公表】警備沿海州並にカムサツカ方面警備の任にある我が驅逐艦の報告に據ると本月十九日沿海州タマルバに於て我が林業組合の從業員引揚げ準備中通譯外三名監禁され他數の武裝せる露支人等が蜂起して邦人を包圍し銃槍を突付けて脅迫し危急切迫し居るとの情報に接し亞港在泊中の第六驅逐隊夕暮、白露の二艦を同地に急航露國當局に嚴重談判を爲さしめたる結果監禁中の邦人全部を釋放したが差し當り人命に異狀なく目下不安の狀況なりと云ふ右驅逐艦二隻は邦人全部の引揚を終る迄同地に在泊の豫定である又カムサツカ方面東海岸に出漁中の邦人は目下驅逐艦保護の下に殆ど全部の引揚を終る見込である（東京電報）

副共の噴水池に 鮮農の塑像

鮮展の重鎭淺川氏の力作

副業共進會は開期が迫つたので晝夜兼行ひたすら準備に忙殺されて居るが場內各館の飾付は既に終り殘つて設備も略目鼻がついて來た本館の正面には噴水池を設ける筈で目下盛に工事中であるが此の噴水池に据付ける等身大の塑像だけはもう出來上つて居る作者は鮮展の重鎭淺川伯教氏で一つは頑丈さうな鮮農が見るから喜びに充ちた表情で南瓜、すゐか胡瓜など蔬菜類を盛つた旅を抱へて居るところ一つは麗々と肥つた裸體の鮮童で是は池中に立つて居て噴水を受けるのである淺川氏は『共進會の趣旨から考へて鮮農を中心としたまでゝ格別深い意味はありません』と語つて居たが流石に定評ある淺川氏の力作だけに鮮農と云ひ鮮童と云ひ共に頗る趣味に富んだものである 此の開會の曉は場中第一の異彩として衆目を惹くであらうと思はれる

罹災死者追弔會

有吉總監以下約千名參列 昨日午後覺皇寺で執行さる

朝鮮佛教各派聯合の關東震災死亡者並に西鮮地方水害死者追弔法會は豫定の如く二十七日午後三時から府內覺皇寺に於て執行された。參拜者は有吉總監を始め各局部長並に鮮貴族並に同夫人等約千名に及んだ。軈て打鐘六擣と倶に一同着席、それより法會はいとしめやかに佛前拜禮より始まり美大莊導師の弔詞同じく李晦光導師の著語に次ぎ谷京城府尹並に總督府出入記者團青丘倶樂部の弔詞があつて有吉政務總監外內鮮官民多數の燒香が行はれ午後三時半厳く法會を終了したが鐘々として立昇る燒香の煙は場に漲り一入參拜者をして袖を絞らしめた。

白晝強盗

有金を浚つた上 妻女を槌で撲る

二十五日正午頃大田郡柳川面連山里八十六番一要時子（三七）が裏座敷に於て裁縫中一鮮人來り金を出せと強要したので有金六圓を出金するや懷中に匿し持つたる金槌を取り出し右頭部を毆打し治療四週間を要する傷害を負はせ逃走したので目下嚴探中（大田）

印刷局の燒失で 年賀狀はどうする

京城局の在庫葉書は八十二萬枚 僅か二箇月餘で品切か

大藏省印刷局は震災後直に火災に罹り階上にあつた印刷機械は全部墜落破損し紙幣原版は辛うじて取止めたが機械は全部潰滅したので當局では急遽大阪精版印刷會社に三錢及一錢五厘の郵便切手及各種の收入印紙の印刷を注文したと云ふ、新年の賀狀を前にして葉書及切手の需給關係につき橘川京城郵便局長は語る『京城郵便局管內に於ける一ヶ月の郵便葉書の賣捌は三十五萬枚に達する現在高は八十二萬枚あるから約二ヶ月と若干だけの餘裕はあるがそれまでに補給がつかなければ困ることになるそれに困るのは毎年々末に於ける年賀狀である、例年管內の年賀葉書の賣捌は一百萬枚を下らないが現在の處ではこの年賀葉書の需要に應じ得るや否や見當がつかない從來は各遞信局なり郵便局なりに約半歲分位な需要額の葉書切手を準備してゐたものであるが彼の天下の耳目を衝動した印紙贋造事件があつてから當局の監督が嚴重になり漸く三ヶ月分位の準備しかない、然も本局では何うしたものか八月中に約二十萬枚位を餘分に賣れてゐる、之は彼の西鮮方面の水害見舞や其他に使用したものであるが、年賀郵便は止むを得なければ私製葉書を使用するより外に仕方がない、これは全國的の現象であるが尤も震災の爲に多少の遞減もあるであらうから總使用量の二割や三割は減少するであらうと思ふ、せめて賀狀が半減して呉れたらさほど心配はないと思ふ』云々

副共噴水池の塑像　下圖は京城記者團の下見

判事の毆打事件と 釜山辯護士團の態度

眞相が判明して決するらしい

釜山地方法院馬山支廳に於ける趙判事の原告安永晋吉毆打事件に關し京城辯護士團の蹶起を見るに至つて以來地元たる釜山辯護士團の態度に就ては非常なる注目を惹いて居るが釜山辯護士團としても事件につきては多大なる注意を拂つて居る事は勿論なるも目下釜山法院に於て取調中に屬するのみならず一概に毆打と稱するも其內容は世間に喧へられたると稍趣きを異にせる事實の伏在せる點もあるらしく未だ事の眞相が明かならざるに當り輕々に態度を決するが如きは戒むべき事として頗る愼重の態度を以て事件の推移に注意を拂つて居る模樣である（釜山）

光濟丸の積荷

朝鮮人に配給

朝鮮救護第一船光濟丸の積荷は二十七日芝浦へ荷揚し一先づ救護局に引渡したる上更に市中に集團し居る朝鮮人に配給中である（東京支局特電）

バラック建築 八分方進捗

東京市で建築に着手したバラックは既に八分通り進捗を告げ麴町高等小學校四棟に續く四十四戸、植物園に續く三百五十戸、中島二十二棟に續く二百六十七戸は落成したが全部バラックとなるは四五日位を要する見込である（東京電報）

安昌男君の 姉の喜び

まるで夢のやうですと語る

震災の犧牲になつたと傳へられた飛行家安昌男君が意外にも無事で前線に避難して居たことは既報の通り府內蓮池洞百十番地に居住せる同君の實姉安昌善女は骨肉を分けた最愛の弟が死去したとの報に接して以來日夜身も世もあらぬ程歎き悲しみ遂には精神に異狀を呈して漢江に飛込んだ事さへあるが二十七日安君無事の報を聞いて此の姉を訪ふと氣の毒なほど窶れ果てた同女は嬉し涙をポロポロ溢しながら『矢張り無事で生きて居ましたかヤレヤレ有難い實は今朝ほど京城日報で見たと云つてワザワザ新聞に知らせて呉れた人がありましたけれど半信半疑で居たのです、あゝ矢張り生きて居ましたか私の處へはまだ何の通知もありませんけれど兎に角斯んな嬉しいことはありません、まるで夢のやうです』と語つた尙同女は近く東上する筈

猩紅熱發生

光州郡光州面仲町土肥初子（六ツ）發病二十四日猩紅熱と診定され避病院に入院した（光州）

震災は『變亂』ではない

保險會社の言分は保險契約の精神に悖るので 會社の約款は無効である

京城覆審法院判事の談

今回の震災に因る火災保險金の支拂に就いて會社は約款を楯として其支拂を拒んでゐるので在野法曹有力者は憤起し、商法第四百十九條と第三百九十五條の條文に就て研究を重ね、保險會社と大に爭ふことになつてゐると東電は報じてゐるが、右に就いて京城覆審法院某判事は語る『これは實に興味ある問題である、商法四百十九條に『火災に因りて生じたる損害は其火災の原因如何を問はず保險者は之を塡補する責に任ず』とあるが但し書きとして第三百九十五條の場合は此限りでないと記されてある、然らば三百九十五條は何ういふ意味のものであるかと云ふに『戰爭其他の變亂に因りて生じたる損害は特約あるにあらざれば保險者は之を塡補する責に任ぜず』これに因ると特約がなければ戰爭其他の變亂の場合は保險金は支拂はねば宜いことゝなつてゐる、處で此の震災は其の他の變亂と云ふ中に加ふべきものかと云ふに震災は變亂と云ふべきでない、即ち震災は變亂に這入らないことは問題でない、そこで會社側は斯う云つてゐる『會社は約款に於いて地震の場合も保險金を支拂はぬでもよいと規定されてゐる、その約款なるものは相互の契約であつて自由である、それで此際の保險金は支拂ふべき義務がない』と云ふのである、一方辯護士團の方では之に對して法律が戰爭其他の變亂以外のものは保險金を支拂ふべき義務のあることを明記してあるに拘らず勝手に約款を設けて地震の場合を除外例とするは保險の精神に悖る者であるから會社の約款は無效である、それで此際の保險金は相當支拂ふべきものであると云ふにあるらしい、煎じつめて見れば問題の焦點は商法第四百十九條及三百九十五條が強行的のものであるか否かと云ふ問題に歸著する、民法には強行なものと非強行なものがある、此條文が強行的なものとすれば辯護士團の方が有益であらうがこゝになると法律上の問題となるから其是非は云ひ度くない要するにこんな非常な場合の事でもあるから法律を正面から解釋するはどうかと思ふ……まあ、和解するのが當然だねハヽヽ』

陸軍刑法違令

安東縣居住の在鄕軍人堀內松吉は過日滿洲に於て執行された演習召集に理由なく應ぜず新義州に逃走し來てゐたのを新義州憲兵分隊で發見し二十五日檢擧陸軍刑法違反者として直に安東憲兵分隊に引渡した（新義州）

『京城案內』發行

朝鮮副業品共進會を機として內地若くは地方から入城する人々のために本社は攜帶に便利で然も頗る氣の利いた『京城案內』を發行する事になつた、京城府內の主なる官公衙、學校、銀行、會社、名勝、舊跡等の寫眞に簡單な說明を附し別に記事として京城府の現勢、見物の順路、交通機關の狀態、料理屋旅館評判記、娛樂場の分布等を收錄する、ポケット形紙數百ページ全部上等のアートペーパーを用ひた頗る付の美本である、單に府內觀光の栞として便利なばかりでなくお土産としても亦極めて恰好なものである、發行は本月末の豫定だが既に豫約の申込が殺到すると云ふ盛況である尙本書は發本出來次第本社代理部及び府內各書店で販賣する筈

定價一部五十錢
ポケツト型總紙數百頁
京城日報社

街路に贓品の山

犯人が罪跡消滅の爲に投棄する

横濱市內では震災當時騷ぎに紛れて掠奪を働いた者の捜索を開始したが市內の各所には夜陰に乘じて掠奪品を放棄するもの多く市內到る所に高價な贓品が放棄せられる其中にも最も良いのは毛布の材料で山下町方面の假小屋には何時何人が隱匿したものか毛布材料の毛糸が山積されて居る其他羅紗タイプライター、拳銃、獵銃、砂糖等の如き品も投げ出されて居るが昨今は段々所有者の處に掠奪品を戻す者さへ弗々あるに至つた

日光方面 大暴風雨

倒壞三十六戸

栃木縣下の暴風雨の被害は日光方面最も激甚で同町の人家三十六戸倒潰し負傷者四名を出し今市町十三戸の倒壞家屋を出した有名なる日光街道の杉並木道は根刈りにされ老木三百十九本及び線路を破壞し日光線並に電信電話は一時不通となり日光町內の電燈の切斷で電燈停電家屋の倒壞數知れず、中禪寺行電車は不通、東照宮社務所は倒壞し大谷川砂防工事用の發電所破壞して用をなさず田母澤御用邸は屋舍一棟吹飛ばされ御用邸通用門は倒壞し大屋根物置及び東照宮內には多數の被害あり東照宮年中出にて復舊作業に努めつゝあるが被害は數十萬圓に上る見込みである。（日光電報）

乾兒十二名を連れて 國粹會吉井氏入城

村野會長の名代として 渡邊朝鮮本部長を慰問

曩に分島周治の爲に刺された國粹會朝鮮本部長渡邊定一郎氏は其後總督府病院に轉療し左眼の失明は仕方なきながら其他負傷部の治癒に努めてゐるが二十七日午前十時突然滋賀本部長の吉井理事が部下十二名を伴ひ入城し巴城館に投宿會長村野常右衞門氏の名代として總督府病院に渡邊氏を訪ふた吉井氏今回の入城に就ては前記事件の絡みある事とて一般の注目を惹いてゐるが吉井氏は四五日滯在の上歸鄕する筈で勿論その間國粹會幹部連の動靜を觀察し未だ決定に至らなかつた、新幹部の詮衡も滯在中に終へる筈であると

京城に於る 避難民

警察で調查中

震災に遇つて京城に避難した人數は本町署管內だけで百餘人ある、鍾路署管內は朝鮮人が多い關係上留學生の歸省して來たのがこれも百人內外ある、外に內地人の罹災民が十七八人ある。罹災民の方は職を求めると云ふのではないが內地人の方は皆京城で就職するつもりであるらしい、本町署の談によれば只今の處では避難民も親類知己を頼つて來たものが多數あるのであるが、これから朝鮮は恐ろしい寒さに入るので只今是等避難民について調查中であると

避難者に一定の徽章を配布して便宜を圖る

遺憾なき釜山埠頭の待遇方法

震災地から日々釜山を通過して各地に向ひつゝある避難者の取扱に關しては既に遺憾なき準備あり食物及旅費の配給から無賃乘船車の手續きに至るまで些の遺漏を見ず殊に連絡船內の如き之れが爲め乘込警官を增員して種々の手配に萬遺漏なきを期して居るので避難者も一同多大の感謝を捧げて居るが近來內地よりの渡航客一般に多數にて釜山上陸の際混雜するので下船の際一層避難者の識別を容易ならしむる爲め二十六日夕釜山署の分より船中にて避難者に一定の徽章を配布し一見直に之を看別し上陸時に於て何等混雜を來さゞる便法を講ずる事となつた（釜山）

震災義捐金 本社取扱分

百七拾九圓貳拾四錢

京城專賣局出張所派出所備人並に煙草耕作組合職員有志（內譯）九十九圓四十四錢開城出張所、木谷寅吉、長谷川彌吉、筒井倉松、野村繁雄、李上逵、張千得、西山由太郎、大內彥助、朴允龍、金九鳳、習屋彌作、千須和政延、朴盛源、小野重信、東良太郎、竹下原專三、松信貫天、江口高次、岩永曲一、高橋安則、井上牛觸、野下保、倉住忠美、大森金米、綾塚秀、田坂季美、小川雪之助、荒川末吉、張甚赤、浦田寅吉、梁梓珍、張必源、朴互順、高見只、松尾榮藏、車壽暢、白亨萬、金光仁、方寬植、李永源、朴致沃、方宗植、朱仁喆、任仁鎬▲二十馬鴻一、▲二十圓、金城煙草耕作組合、三宅啓一、佐藤勝三、安蔣喆、洪東淳、金文錫、金錫源、高龍哉▲十七圓十錢、堤川煙草組合板東門十郎、島田知重、李鐸、高愛東、朴惟龍、趙澤元、方在現、殷詩東▲七圓、平昌煙草耕作組合佐藤熊太、鄭然台、池東旭▲六圓九十錢、旌善煙草耕作組合、趙冀守▲二十明、高昇禎、金烈、趙寬守▲二十八圓八十錢、寧越煙草耕作組合、白演德助、隱川文友、鶴崎傳治、閔泳哲、洪淳五、申明東、申曄、金角圭、安承達、金人孫、吳夏楠、丁景燮、嚴章燮、金今岩、趙直基、承興昌

累計金一萬四千七百二十圓六十三錢五厘

演藝案內

黃金館 第二十號
松竹キネマ直營 毎日晝夜 秋季特別大興行
○實寫名優生活
新アートフイルム 監督 リリアン・ギッシユ ドロシイ・ギッシユ主演
正喜劇 亭主改造 全五卷
夫婦の愛情とはどんな物か新婚に夢を見た、華やかな家庭に起る悲喜劇
ユーマンスワーナブラザース映畫
大活劇 死の渦卷 全十五篇 第五卷
グレース、ダーモンド孃主演 ジャミソンと云ふ新聞探訪記者が海賊船を探りにマグドナルドと乘り込み靜かな海洋に鐵拳の火花を散らす 運命に呪はれたスタントンの姉妹がアフリカの大深林で何千頭の虎、河馬、豹、獅子に襲はれ危險に迫つてゐる二人の運命はどうなるの？稀代未聞の大活劇
○實寫 前首相の葬儀 全一卷
拔粹曲 アルバート作 延命花園指揮者田耕平
松竹現代映畫 岩田祐吉 栗島澄子共演
水郷情話 水藻の花 全五卷
紫に匂ふ筑波根のもと水清き霞ケ浦に失戀の殘骸を懷いて死に行く哀れな不具者と美少女歌へば哀し水藻の唄いとしくも哀れな殉情詩的物語 處さだめ流れてゐても何時か水藻にや花も咲く
特別興行に付從來發行の招待券入場券は勝手乍ら御斷り申上候

大正館
國活特約 毎日晝夜 當る廿六日より改築記念大興行
○實寫 第六回極東オリンピック大會 全二卷
○ニコニコ別館ホテル ゴールドウイン社提供
○人情劇 ナイルの明星 全六卷
梗概、昔ては大阪道頓堀朝日座を始め各地で白熱的歡迎を博した大映畫である神秘的な人情美を遺憾なく現された最後まで能く觀衆をチャームして泡かさない處にベテー・コンプソン孃の自然に湧出る無邪の表情と名監督アーサー氏の偉大な藝術を偲ばされる
松竹超特作
○時代劇 女と海賊 全八卷
梗概、時は元祿の末海賊船龍神丸に起つた譯である張本五郎は紀州藩の忠士として君の內命を享け大阪に出た其時名月太夫と云ふ美女に戀をしたが女の冷酷な仕打に怨つた彼は遂に海賊となつて人を殺した苦しげに叫んだ若人等『凡てが女の心は遂ひに自由になつたのだが女の本當の心丈は遂ひにならなかつた』と船は遠く／＼遙かの國へ去つた
改築紀念として特に普通料金

喜樂館
日活直營 ○京本町三丁目 電話五九七番 日活朝鮮封切場 依然特別映畫公開
滑稽 犬の裁判 二卷
日活京都撮影所傑作紀念映畫 松之助、延一郎大活躍
活劇 首實驗助 五卷
涙の喜劇 涙の裏に安寧で男を賣り出した長屋の助を中心として奇々妙々の珍喜劇 涙の內に生れて來る
▲米パテ大冒險連續活劇映畫
第二回 豪傑ハッチ 四卷
猛優チャルス・ハッチソン氏主演 封切せらるゝや滿都のファンは熱狂した吾等が冒險兒無冠の帝王豪傑ハッチの阿修羅の如き大活躍はいよ／＼本週より頂上に達す
▲向島スタヂー大飛躍の傑作 監督 撮影者 主演 吉田篤作譯 村寧子其他美人女優總出演
漁村哀話 敗殘の唄は悲しい 六卷
秋の夜の空を流れる船唄は悲しいものだ彼等にも取つて傷つきたる心敗れたる身ではあるまいか餘りに淋しい
噫横濱市の大慘狀
死屍纍々留る高樓廢狀は見るに忍びざるもの有り

中央館
マキノ映畫封切 九月廿二日開館紀念特別興行から醒めた中央館はマキノ映畫の館として益々御愛顧を御願ひ申上げます
特別の御愛顧を御願ひ申上げます
○實寫 ユ社週報 全一卷
ユニバーサル特作映畫
○大喜劇 思ひ通り 全二卷
○マキノ映畫製作所特作 五味國男氏原作脚色監督主演
悲劇 戀地獄 全五卷
若き戀と舞妓の戀の悲しさを物語る猛すに運命の神に弄ばされる悲戀大地獄人體が同じ道を歩てか知つばならぬ人生の悲哀を初めて知つた至つた三つの黑影は人生の何事かに重力強くも物語つてゐます……

京龍座
龍山 電話三二番 當る廿八日より
浪花節現代日本一名人 ちぬの浦孤舟一行
一難波戰記 一右衞門一廣瀨 一紺屋の高尾 一長譜 一明治不思議の怪賊孤舟 一馬丁宗平の誠忠
入場料一等八十五錢二等六十五錢三等四十五錢
○文壇より筆を抛ちて浪界に入りし人大正六年八月床次內務大臣に會見し自己の浪曲を以て斯道教育の資料たらしめん事を建言したる浪界異例の士たり師の所謂浪曲とは何？浪花節の外形を藉りて軍歌と唱歌とを折衷し俗謠の情趣を加味したる清新洒脫なる文化藝術なり

女と海賊 ナイルの明星
松竹特約 大正館
解說部員 高橋天旭 宮敏一郎 松下田潮風 松本島旭宣
松竹應援

○牧野省三氏總指揮監督 ○マキノ京都撮影所新馬力特作品 ○文豪近松文左衞門氏原作
劇 假名手本忠臣藏 全十卷
（發太夫出語り大序より引揚まで）
片岡市太郎、市川幡谷その他總勢男女優數千名助演の大歌舞伎新脚本入者十一名出演
（マキノ宣傳の書初御免金牛）
初日滿員御禮
期待以上大成功
勝見、川田主演

西洋酒雜貨煙草食料品直輸入商
仁川支那町 義生盛號 電話八一八番
階上 廣東料理部

▲活版道具一式 ▲活字製造所
福岡縣福岡市古小路町二五番地

引換中止廣告
一 京城商業信託株式會社株式ノ爲メ當分引換中止仕候也
右ハ併合新株式ノ準備及帳簿整理
大正十二年九月廿七日 中村再造

李王職御用 各病院御用
模範 全乳
東亞牧場（電話五二番）

佐藤病院 電話四〇九番
院長 ドクトル メヂチーネ 佐藤小五郎
入院應需

平壤醫院 ミカド前 電話四二一番

御禮

私儀今回の震災に際しては誠に不堪痛身を以て辛うじて東都を脫出し十九日歸鮮致候處早速御丁重なる御慰問を賜はり感銘の至に不堪候事情有之直ちに京に發し途中立寄り候處全州自宅に付目下靜養中に有之不日旅行に堪ゆるに至り候得ば親しく拜眉の上御禮申上度候へ共取敢ず略儀ながら紙上を以て御挨拶申上候
九月廿四日
全州にて 後藤生七郎

金銀白金 寶石 地金 美術品 作製
大德
京城明治町一丁目
振替京城二五七番 電話一三四二

魔法瓶と水筒
京日特選 金星印魔法瓶
三合入 二圓十錢
四合入 二圓三十錢
五合入 二圓六十錢
箱代送料共 三合入七十錢 四合入八十錢 五合入九十錢
學生用水筒
ラシャ覆四合入 一圓四十錢
別珍覆二合入 一圓三十錢
別珍覆三合入 一圓四十五錢
黑塗三合入
箱代送料共四十五錢
京城太平通り 合資會社 京日代理部
振替京城三〇八番 電話光化門大四〇〇番

資本金六百萬圓
明治三十八年設立
當銀行ハ預金貸金爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城府南大門通一丁目十四番地
株式會社 漢城銀行
頭取 韓相龍
電話長光化門八一二〇五番
支店所在地 水原、平壤、大田、開城、京城南大門、釜山、東京
出張所在地 大阪、京城東大門、大邱、東萊、平澤、大和町、京城西大門、京城本町

牡丹と芍藥
今が移植の最も好い時です
本年は特に安價を以て御注文に應じます
仁川驛前
華王園

醫療 理化學諸器械一式
仁川本町 北島藥店
京城本町 北島藥店京城支店
電話一三四・仁川七六

（K）
藥種賣藥卸商

魂の力 【第十八回】

中川雨之助 作
小寺柳村 畫

戀！戀？

「家谷さん、僕が今日お伺ひをしたのは、其事に就て、お話を申上げたいと思つたからなんですがね……」と、牧田は、ぢりくと椅子を進めた。

「ほゝう、其事に就て……」と、恭平はます／＼疑惑に、押すぼめられたやうな瞼しい瞳をする。

「村越君の金主といふのは、あなたとは最も深い縁故の有る方なんです」

「え、私と縁故の有る者……？」

恭平の眼は疑問で一ぱいになつて了つた。

「秘密で申上げますが、その金主は令孃の英子さんです」

「え、英子が……はーン」と言つたきり、恭平は暫らく開いた口が塞がらなかつた。

「牧田さん、あんたも御承知の通り、村越君は、私の工場に、爭議を起させた主謀者ぢや。而して擧句の果には、腕の確い職工だけを引抜いて辭めて了つたので、つまり私に取つては反逆者だ。その反逆者を娘が援助するといふのが可怪い。娘もそんな愚者では無い筈ぢや。牧田さん、何かの間違ぢや無からうかねえ」

「決して間違ひぢやありません。僕が根據なくして斯んなことを輕々しく申上るものですか。英子さんは村越の創業費に五千圓をお貸になつてゐるのです……併し僕が斯なことを申上たことを、誰方にも秘密になすつて下さいよ」

「御厚意有難う。決して他へ漏らしたりしません。だが何故に娘がそんなに村越君に同情をするのか私には頓と譯が分らん」

恭平は勿體らしく小首を捻つた。それが牧田には可笑かつた。彼はさつきの處世論の讐を打つてやるのは爰だと思つた。

「はゝゝゝ、立派な處世哲學で、事業に成功をなすつたあなたにも、尚且空隙が有るんですね。英子さんが村越に同情する理由が分らないなどは、事業の方では成功者ではありませんか。男女の心事を讀むことに於ては、あなたでも、青年男女の心持は分り兼ると見えますね」

牧田の生意氣な口の利きやうを恭平は癪にさわつたが、併し意味の有りさうな相手の言葉だけに、彼は素直にそれを聞いてゐるより外はなかつた。

「若い男女の心持と云ひますと……？」

恭平も聊それかと見當は附いてゐるが、故意と白ばくれて訊いてみた。

「英子さんは村越君に戀をして被居やるんですよ」

「だつて村越君には妻君が有ると云ふぢやないか」

「それは正式の妻では無いのです或る女と大學時代に關係して、それと同棲して居るんですが、それには父兄や友人の反對もあるので到底長持はないのです」

他に率一郎に邂逅といふ許嫁のあることを、恭平は無論知る筈はなく。牧田は知つてゐても知らぬ態をして居つた。

牧田の話に依て、恭平は今まで知らなかつた男女界の扉が新に開かれたやうな心持がした。

夙く母に死別した英子を、恭平は只他愛もなく可愛がつて居た。日増しに美しさを輝かして來る彼女の姿を、彼は己の寶をば愛撫するやうな心持で、いつくしむだ

親子二人が事務室に机を並べて事務を執る時の彼女を、彼は無二の秘書役として信頼した。彼女も既に廿歲、いづれ相當の婿がねを撰んで遣らねばなるまいとは思ふ事があつたが。彼女の心に、自から時を得て芽生えて來る『戀』といふものには、更に氣が附かなかつた。

娘が村越に戀をしてゐると言つた牧田の一語が、燃立た火に水を注いだほどの强い刺戟を彼の心に與へた。さつき堂々と處世論を捲し立てた彼の元氣は、丁度ゴム毬の萎縮むやうに、何處か一と處から氣が抜けてしまつたやうであつた。

いまゝでは只敵の片影位の心持で眺めてゐた率一郎を、彼は忽ち英子に對する戀愛の眼を通して、もう少し温かい心持で率一郎を見なければならなくなつて來た。

京日文苑 投稿歡迎

短歌 題「秋季雜詠」上尾柴舟選
俳句 題「菊」內藤鳴雪選
川柳 題「昭喚」井上劍花坊選
締切 十月五日（各題共）
賞金 天一圓半、地一圓、人牛圓
注意 一題一人三句、各題別紙用紙葉書、雜號住所氏名明記 京城日報社「京日文苑」宛の事
其他 各地會報歡迎

新秋哀歌

德光 算正

なぐさまぬこの心さへおのづからさわやかなれや秋さりにけり

◇

秋來り風のささやく聲聞けばいとしきろかもいきの命は

◇

渡り來てはやふたたびを秋さりてはやる心はすべなかりけり

◇

京城の土地になじまずひととせの秋をさびしく思ふ頃かな

◇

街に出て友に語りぬ京城を去らむと思ふ吾が心かな

◇

はろ／＼とさやかにわたる秋風に不覺の涙とどめかねつも

◇

秋風に向ひてひとりすずろにも京城を去らむ日など思へる

◇

幾たびの秋はふたりの上に來つれプラトニック、ラヴになぐさむならむ

◇

むらぎもの心さびしえこの幾日秋來る部屋に病みしやりつゝ

◇

いつはりの戀なりしゆへかの女と別れむことを思ふゆふぐれ

（一二三、九）

月見句會（平壤文曲報）

靜かさや 日の戰に 虫哥音 迦南
も一夜と名殘の蚊帳のつりに飛 同
階や 月光 雁の 如く落つ 白天
野菊咲くや殘墟めく月と日と 同
大地裂けて吸ふ病葉や秋の風 鉄山
驛類の末女舞ひけり月の宿 同
馬の産安らかに月の暖かな 浩舟
清恐に堪へで微吟や月の宿 同
月の舸夫掉高々と揚げに飛 木長
太閤を刈り束ねたる畝の秋 同
帆はや天心の月を迎に見し 色葉
月の窓に吹き入る磯の匂ひ哉 同
鯉の波舟近く月に擱れり 渚流壁
山峽の月に案山子の高さ哉 同
追ひ立てし鶏路みに萩の花 隈山
近寄れば其處の虫音啼きやり 同
名月や驀野を走る汽車の息 後凋
月の句座佛燈小くありに飛 同
行く秋や避難者浴衣かな 雨光
越の跡の鎖さやちろゝ虫 同
秋女 腰細々と 驛に 立つ 寒葉
屋上の吾に月あり虫を聞く 同
棚經の 隣が見えて 木槿垣 蘆青
月の暉に脱線の汽車寒く見し 同
名月や 大湖 迫る 濱 陀 鳳弓
名月の 獄舍恨れり 赤煉瓦 同
月の出や 浮男機なる 太白 文曲
廟出れば梢の上の月なりし 同

新刊紹介

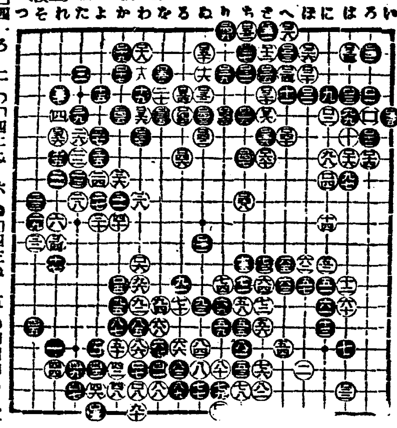
▲米の朝鮮（創刊號）米の朝鮮で然かも米の本場である群山から本誌の發刊された事は大に意味もあり又前途を祝福するに相應しい次第である本誌は純粹の農業雜誌であつて米に關する一切の研究調査の發表機關であり又斯業關係者の交換誌とも謂へきものであるから生産家米穀商並に一般の消費者は是非一本を坐右に備へて置く必要がある（本號五十錢群山府明治町通八七米の朝鮮社）▲朝鮮經濟雜誌（八月）京城商業會議所▲哈爾賓時報（九月）五十錢ハルピン買賣街一二其社▲星夢（十月）京城黄金町四ノ三〇三赤木方其社

讀者らん

▲小生歳『禪』を研究並に『座禪』を習ひ度いんですが、何方でも御世話して下さいませんか、たのみます（一高商生）▲長沙洞の妙心寺へ行つて御覽なさい（係）▲京城倶樂部主將勝木氏は勇退されたそうですが現在の京城球界は擬の折柄もう一度氏の復活を希望す（ファンより）▲龍山第五區の總代サン達で面を張るのは此の際ですよ義損金にも面を張つてください（土工人夫）▲裁判長樣に御願ひ致します、不景氣の今日鞘母子の債權を買求めて保證人をイジメて居る高利貸の堀內某と云ふ者が辯護士を仲込んで差押處分を常習にしてゐます其鞘母子講は殆ど其筋の許可無きものが多い樣です人のため迷惑と思ひます（本町被差押者）▲私方に可愛い生後一ケ月位の白黑の子猫が三匹ゐる貰つて下さる方なきや（長谷川町二九猫の家）▲三十五才の姙娠五ケ月の女ですが五月頃より十二支腸にて困つて居ますがキツイ藥をのめば子供に障るとの事ですが適當な藥はありませんでせうか（困難女）▲殖銀の安岡君病氣と聞いたが至急住所を知らして下さい（親友ケの字）▲市內にて山田流の琴曲御指導下さる御方は御座いませんか、へ龍山漢江通り三番地きん子）▲師範學校前の空氷店の主人よ夜番するか又は早く取こわし頼む毎夜乞食の宿となり周圍は共同便所の如くふん便のくさき事甚だし（近所者）

碁園對戰（第五局の八）

東 松澤鶴二郎（初段）
西 外番高橋三重（三段）



[illegible]

大田案內

大田春日町一丁目 銘酒 曙の花 ますや酒店 長電話二六七番

忠南名物 リンゴカステラ 朝鮮大田 中田堂 電話一七九番

大田春日町一丁目 相浦式ビタミンパン 製造元 京愛商會 長電話三一六番

純白寒水石 大田春日町二丁目 大田石灰製造所 石灰 生石灰 振替京城八二八六番

大田春日町一丁目 土木建築請負業 須々木權次郎 電話一二六番

珍菓 鶴の子 忠南名産 忠南大田驛前通 宮文堂菓子舖

大田本町一丁目 一般診療に應ず 院主 和智醫院 和智 長電話二二一番

大田本町一丁目 西原自轉車店 長電話三五四番

大田春日町一丁目 小橋自轉車店 長電話二五番

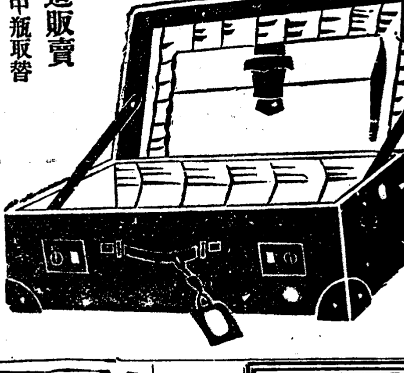
一般診療に應ず 大田鐵道病院 電話 局內 內科十四番 外科十九番 公衆 長四十九番

大田電氣株式會社 長電話一四二番 三三七番

京釜線大田春日町一 歐米舶來 諸雜貨 季節物 全部品揃 丸友洋品店 電話一四九番

內科 眼科 小兒科 本田病院 京城黃金町三丁目永樂町通り 入院隨意 院長 本田建義 附屬 京城肛門病痔疾療院 普通病室 隔離病室 病院用電話本局二〇四三番 自宅用電話本局二〇九八番 振替京城三二二番

鞄は高木

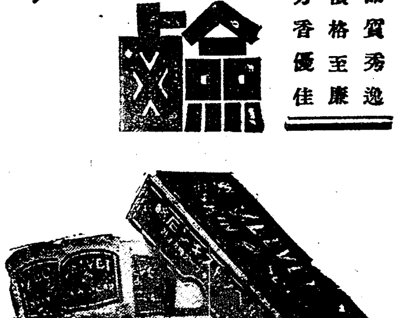


鞄製造販賣 魔法瓶及中瓶取替 京城府本町一丁目 高木鞄店 電話一三四番 二五四番

仁川本町一丁目 朝鮮銀行仁川支店 電話（三一一二番）
仁川本町四丁目 朝鮮殖産銀行仁川支店 電話（六二四九〇番）
仁川本町二丁目 百三十銀行仁川支店 電話（五〇八一番）
仁川本町二丁目 十八銀行、仁川支店 電話（九一八八番）
仁川本町三丁目 朝鮮商業銀行仁川支店 電話（四九八番）
仁川海岸町 朝鮮實業銀行仁川支店 電話（三三二番）

醫學博士 岡崎一郎先生創案 人體營養の素 ヴイタミン ABG含有 ウイタシユム 壹瓦入二圓五十錢 半瓦入五圓 釜山辨天町 藤田藥舖 電話長八一番

LEVER
斯界に於ける大傑作品
ベルベツト石鹼の三大特長
一、品質秀逸
二、價格至廉
三、芳香優佳
皮膚を美化す
ベルベツト石鹼
全國有名化粧品、藥店に販賣す



製造 日本リーバーブラザース株式會社 兵庫縣尼崎市字...

客！
……とい時
よしや下物の何物をさゝのへずとも すすめまゐらする赤玉の一杯！ なんたる清趣 なんたる氣韻
赤玉ポートワイン

醫療器械及諸機械製作 裝飾金具鍍金一式
京城本町貳丁目五三番地 開正舍工作所 實業銀行本町支店橫突當 取次電話三九三六番

石川醫院 內科 兒科 平壤新町 電話六六三番

最上醬油 龍 味もにほひも 德用も 日本一 日本醬油株式會社 (製造元仁川...)

鐵工部 機械及諸金物製作修理並ニ設計
營業部 機械特約販賣
三菱セメント 特約販賣
耐火煉瓦特約販賣
京城府岡崎町八九番地 合資會社 アサヒ工業社 電話龍山九五八番

鯨 赤肉 尾羽 專業問屋 尾羽毛 皮 ㊥ 平井戊一商店

朝鮮郵船定期
朝鮮郵船株式會社 光化門 電話長一八八〇 二八八〇
○釜山支店 佐藤町 電話大一八四
●元山支店
●仁川出張所 海岸町
●京城代理店 黃金町
元山代理店 吉田運送社
釜山丸 十月二日
會寧丸 九月廿九日
京城丸 十月二日
立神丸 九月廿九日
平壤丸 十月一日
咸鏡丸 九月廿九日
清津丸 十月四日
[illegible]

大阪商船出帆
仁川出帆
●大阪行（群山木浦經由）
×宮島丸 月 日
×交通丸 月 日
×天智丸 月 日
●南浦安東縣行
●大連行
內地各港出帆主要航路
[illegible]
大阪商船株式會社仁川支店

三菱商事 仁川出入
長浦丸
三瓶山丸
大黑山丸
長浦丸
三菱商事株式會社船舶部
仁川代理店 浦崎商店回漕店 仁川本町四丁目

京城日報

夕刊

（朝夕刊合せて十日）

本紙定價 一ヶ月金壹圓 廣告料 五號活字一行 發行所 合資會社京城日報社 京城太平通一丁目 印刷人 小川三之介 發行兼編輯人 泥谷良次郎

京日評壇

伊東巳代治子が入閣してから朝鮮總督の後任は誰だらう？といふので可なり世間に氣を揉ませた、初め政務總監の有吉忠一氏が最先に候補に上り、仲小路廉氏は、朝鮮總督を喫はせたのだと聞えた、夫れから安達謙藏氏が、危く齋藤總督を叩きさうになつた處で、兒玉秀雄伯が總督に任命されることになつた。

◇

兒玉秀雄伯は兒玉大將の伯で、東拓總裁だの遞信次長だのと、いろ／＼下馬評に乘せられた揚句、愈々關東長官に落着くことになつた、めで度しめで度しである、伯の任命に、平田東助を始め後藤新平、田中義一、桂太郎などの推薦もあるだらうが、デ無くとも關東長官として少しも不足はない。

◇

寺内正毅、山縣伊三郎、伊東巳代治を並べて、兒玉秀雄と聞くと貫目が足りない、若僧のやうに見えるがそれでも早四十七八の中老、朝鮮に在任の三年には劣るとしても、年に不足があるではない、内閣書記官長から賞勳局總裁まで進めて來たんだ、内田嘉吉氏が總裁職務だもの、關東とても先づアレで滿足だ。

◇

伯が統監府秘書官として朝鮮に來た時には、鬚もチョビ髭と威張つて居たけれども、年齢は漸く三十餘歳であつた、其後十餘年、岳父の寺内伯が朝鮮總督となると同時に朝鮮を去つて、其内閣の書記官長になつたのであつたが、在鮮中は、終始總督府の花形で押通した、何しろ長閥の天下である處へ、兒玉源太郎將軍の嫡嗣であり、寺内伯の愛婿である當の秀雄伯が、頭腦は明晰で人格も亦高潔で、モテるのに無理はなかつた。

◇

坊つちやん、驕兒など、陰口を利く者も、聞にはあつた、元來苦勞といふものを知らず、年が若くて得意の境遇に在る者は、兎角稚氣に富み驕兒型に成り易いもので、伯にも斯した缺點が絶無ではなかつたかも知れぬが、然し目立たしくはなかつた。

◇

伯に最も欽ぶべきことは、彼の長閥の錚々たる寺内伯の下に居り、自身亦生抜きの長閥の一人でありながら、廣く門戸を開いて人材を集めたことであつた、伯に依りて抜擢された隠の者に、殆ど無かつたやうだ、伯が、山口縣人會に出席することとさへ避くる位に氣兼ねをしたのは、却て奥床しい所があつたとは云へ、其心持ちや諒とすべきであつたであらう。

◇

内務局長の川口警治氏は、何うせ内地の地方長官に轉ずるだらうが後任には誰が來るか、大塚内務局長などに讓ひをかけるかも知れぬ▲イヤ慨脹々々。

獨の抵抗中止
地方長官會議にて決定

【伯林二十五日發】消極的抵抗の中止問題に關し、地方長官會議を開き協議せしが首相ストレーゼマン氏は多數として來週中に少くとも八兆マルクを要し之が爲め愈々財政上之レマルク相場は慘落する外なき旨發表したので一同は最早論議の餘地なき旨を認め一氣呵成的に抵抗中止を決議した、
一、占領地帶に於ける消極的抵抗を放棄すること、
一、各人一致して自營上萬全の策を講ずる事、
尚強硬なる國家主義者は此の決議に憤慨したが政府當局の斷乎たる措置にて彼等は暴動を採るふ事が出來なかつた、

獨新政策實施訓令
全國官憲に對し

【伯林二十五日發】二十五日夜政府は全國官憲に對し今後新政策の實施に伴ひ萬一の内亂勃發した場合は中央政府の命令を嚴守する樣訓令し且つ有事の際は大統領は諸種の緊急命令を發すべき事を警告した、

巴里大使會議休會
伊國代表が反對した爲め

【倫敦二十五日發電】巴里大使會議は一時休會した右は希臘人が伊國國境委員長ヤミナ氏虐殺事件に對する賠償から一部分の希臘人を紙罰ならしむべしとの報告に對し伊國代表が反對した爲であると。

露波兩國紛擾
國境設定に關し

【シムラ二十五日發電】露國とペルシャとの國境設定に關して兩國間に紛擾を生じ露國兵はパリヤサヴアルに於けるペルシャ駐屯兵を襲撃し六名を殺した露國兵は又ペルシャの抗議を無視してセンゼリを占領したが此の行動はペルシャに於ける露國の獨裁的地復讐の目的で締結された一九二一年露波條約に牴觸するものであると

震災と漢字紙の論調
排日的色彩其の影を潛む

【奉天電報】關東地方の大震災に對する滿洲漢字紙の論調は何れも同情の口吻なる排日的色彩も次第に其の影を潛めたかの觀を呈してゐるが就中東方は其社說に於いて東三省は其豐富なる食糧品を以て日本の急を救ふべしと主張し尚も滿洲に對する震災の影響として（一）東京の經濟的關係に因る金票の下落、（二）滿洲產大豆の輸出停頓、（三）日本人の渡滿者續出の三項を擧げて之に對する滿洲人の自覺と研究とを促し又東三省公報は七日附けの社說に於て大震災が東亞の一局に影響するところ甚大なるを指摘して一般國民の注意を促し東亞の安全は一に兩國の提攜と協調とに俟つを二十一ヶ條の大問題の如きは速かに互讓解決せよと結んで東亞の將來に關し多大の危懼あることを洩らしてゐる

支拂猶豫令撤廢
二十六日の閣議にて決定

【東京電報】支拂猶豫令は愈々廿六日の閣議に於て最初の指定通り本月末日限り撤廢する事となつたが理由は一、帝都復興が漸次順調に進捗し復興資金の必要急を要すること、二、金融の狀況比較的平穩にて例令之を廢止するも相當の準備を他に求めるに於ては甚だしく混亂を來さず見込がついたこと三、準備が相當出來て自信がついたこと四、一般延期せば全く撤廢困難に遭遇すること等の事情から寧したるもので大體時宜に適した處置であるが財界一般に及ぼす影響は資金の融通を自由ならしめ好結果を齎す事と期待せらる

保證限度擴大

【東京電報】支拂猶豫令は愈本月末日限り撤廢さるゝに付日銀は一般銀行に對し積極的援助を爲すため手形再割引の損害を一億圓を政府より保證される外商資金融通の爲兌換券保證準備發行に關する保證の限度を擴大し又一般銀行に對する貸出制限をも大に緩和する筈であると

外債は見合せたい
―某閣僚談―

【東京電報】帝都復興に要する經費は外債に依る外なしとの說も相當行はれて居るが政府に於ては未だ何等計畫も持つて居ない都市計

合は内儀にて決定の上承認を求める事が出來ない場合に於て始めて外債を起す筈で成るべく募集しないつもりである

貯金拂戻と勅令案協議

【東京電報】遞信省にては二十五日午前十時から參事官會議を開き貯金拂戻に關する勅令案に就き協議したが貯金の立替並に支拂區域に關して大體の成案を得たので不日省議を經て閣議にて決定する筈である

限も具體案が出來上つた上でなければ決定しない事は勿論で今日では先づ行政整理と財政整理緊縮に依つて復興事業を遂行する筈で勢ひ多少長い時日を要するも止むを得ぬ併し甚だしく進捗を妨げる事

法定住民を失ふも議員定數に變化無し

【東京電報】此の度の震災で法定住民を失つた衆議院議員選擧區に於ては勅令の改選施行又は災害地の人口に復活すべきや否や頗る疑問となり居り此の際選擧を如何にすべきかに就き政界では種々の說をなす者があるが法定住民の立退きは災害の爲めの一時的現象で永久的のものと解せられぬ、又人口に多少の増減があつたにしても選擧法上の立場から法定の戸數がある限り議員の定數等に變化を及ぼすものではないと、

政友會震災善後決議

【東京電報】政友會は二十五日午前十一時政務調査會内務部會を開き小橋部長以下部員並に野田政務調査會長以下政務調査役員其他本部總務幹事等二十餘名出席し震災善後策に就き協議をなし各自意見の交換を行つた結果左記決議をなし緊急部より政府に要望する事となり衛生其他の問題に關しては更に調査を續け確定する事を申合せ午後散會した
一、震災地に於ける警察力の維持されつゝあるは軍隊の力による所至大なるを以つて戒嚴令は當分之を存置し警察力の漸次整備し且人心の安定を待つて之を撤廢されたし
一、罹災民に對する物品配給は當ならず食糧は常に各地より集中さるゝに拘らず強掠し及び混淆し罹災民の困難は固より全國各地方民の同情を無視する事なしとせず當局は宜しく配給の方法を改め一段の努力を望む殊に建築用材料被服に至りては各地よりの運送充分ならず昨今の天候に臨んで其送達を敏速にすると共に罹災民に對する保給宜しきを望む

指定商は政府の一機關
として衝に當れとの農商務省の申渡し

【東京電報】震災に發布された物資供給令に依り指定商は一兩日前農商務省に招かれ『指定商は政府の一機關として今度の復興材料輸入の衝に當るべし』との旨を申渡された依賴を受けた差當りの仕事は總督府バラック用材料として明年三月迄に米國から鐵道枕木六萬噸、枕木七十萬石の輸入に關する件であり、で此の代價は多分政府の手で在外正貨にて決濟すべく此の時後の復興に要する材料は又正金銀行の手に委すべきものと見られてゐる尚物資給供令に依る事務は一兩日中全部復興院供給部で取扱はるゝ筈である

副業共進會とその効果（下）
農村の振興、經濟組織の改善に資すべく最も時宜に適した措置

第四に、内地の災害は當初は誇大に傳へられ、恰も内亂でも勃發したかの如く觀察せられ種々なる風說流言は實に傳播せむとしつゝあるかの如くは將等も行はれたと云ふ樣な有樣であります、今日に於ては天災は天災に止まつて、内地の國民は擧國一致の精神と態度とを以て鋭意汲々として之が復舊及建設に努力しつゝあると云ふことは略ぼ一般に了解せられつゝあることゝは信じますが而も尚内地は非常の混亂にして、各府縣の參考出品の如きすらも、到底之を期待し得られないものゝ如く見做して居るものも、少くないやうに見受けられます、恐らくは内地人が大災に際して寧ろ兵事的措置を講ぜず、救濟は救濟、平和事業は平和事業と截然區別を立て一般平和事業の促進に對しては、災害前と同じく冷靜に之に努力しつゝあることを看取せるものは甚だ少きことゝ存じます、隨つて本共進會の如きは此の際豫定の通り之を遂行して實行上何等支障なきことを明かにし内地の災害に依りて生ずる各種の影響を過大視するの妄想を打破し、以て内地に對する鮮内の疑惑を一掃することは、朝鮮の爲にも甚だ必要なことではないかと思はれるのであります。

第五は　朝鮮に對する内地人の疑惑を一掃することであります、災害突發以來、世間往々にして各種の誤解を生じ、群疑其間に錯綜して、内地人中往々朝鮮の治安を疑ふ者を生じまして、爲に朝鮮より内地に對する商品取引上にも種々の惡影響を生じ、間々朝鮮の治安を疑ふて、商品を送附せざる者さへ之ありとの聞々もあります此の際萬一所定の共進會をも中止若くは延期するが如きことがありますれば、爲に一般の疑惑を實にし、朝鮮に敢て幾多取引上の不利を招くの虞あり此の際所定の方針を斷行して冷靜に豫期の事業を進めて參りますることは、朝鮮に對する内地の斯の如き疑惑を一掃する上に於ても、亦必要ではあるまいかと思はれるのであります、更に共進會の中止又は延期を可とせずやとの理由に付いて考へますると、

一、内地の災害に對して同情を表し之が救濟を爲すに付ては、自ら別に其の途があるかと考へます、共進會を中止若くば延期したればとて、夫れ自身が何等内地に於ける救濟とも援助ともなりませぬ、何等内地の災害に對する救援の妨害とも支障ともなりませぬ、事體夫れ自身が全く別々の事でありますから、同情は同情救援は救援として、人道の要求に基き出來得る限り之に努力し平和の施設は平和の施設として、冷靜熱心に之に努力し、以て個人經濟及國家經濟の向上に資することを努めますることが却て必要のことではあるまいかと考へます

二、に共進會に對する人氣の冷却した爲に、觀覽人の減少を來さずやとの懸念は、是は至極尤もなことゝ考へます、就中内地からの觀覽人などは或は隨分減少するかも知れませんけれども、副業共進會は、元來内地在住者の爲に設くるものでなく、全く朝鮮在住者の爲に計畫したものであります、假令内地からの觀覽人が幾分減少する恐れが、あるとしても、夫れが爲に必ずしも朝鮮内の觀覽人が著しく減少するものとは限りませぬ、殊に共進會は本來娛樂の爲に開くものでなく、殊に今回の副業共進會の如きは、眞に朝鮮農民の經濟上の困難を救濟するの一助たらしめむが爲、產業の啓發及產業の社會的教育を主眼とするものであつて、朝鮮細民の實生活に至大の關係のある事業であります、極て眞率なる眞面目なる事業であります、から苟も朝鮮農民の經濟上の現狀を慮ふる人達は、自ら進んで觀覽もすべく人をも勸めて觀覽せしむるであります。享樂的鳴物入りの施設がなければ入場せないやうな觀覽者は、假令入場したとて格別利益を受くることもありますまい、副業に對して相當の理解を有し、其必要を感ずるものは假令享樂的の鳴物がなくとも必ず入場するでありませう、鳴物入りの餘興が無くても入場する人は、眞に共進會の必要と價値とを理解する人達であつて、此の種の觀覽人は内地の災害の爲に必ずしも減少するものとは思はれませぬ、去すれば此の際所謂人氣の關係から幾分入場者が減少するとしても、實質上の價値には格別重大な關係はなからうかとも思はれるのであります

三、に内地の災害に原因して或は共進會を機會に種々なる蜚語流說等が、傳はつて人心に何等かの不安を感ぜしむるやうなことがありはせないかとの懸念も決して無理とは思ひませぬ、乍併副業共進會の如き朝鮮農村の振興、朝鮮人實生活の救濟向上に重大なる關係を有する當面緊切の事業を妨害し、又は緊切の利害關係を有する鮮内一般住民の審觀思想を脅威するが如き不都合の行爲を爲すものありとせば是れ實に同胞の幸福利益を愛するの精神なく、同胞の幸福利益を助長するの誠意もなく所謂事を誤りて其の實朝鮮民族を賊するの徒と云ふべく、萬一此の如きものありとせば世界に對する朝鮮人の恥辱蓋し之より甚しきはないことと存じます我々は如何なる朝鮮人中にも、決して斯かる不心得の者ありとは信ずることは出來ませぬ、

如上の理由に依り今回の共進會は斷然之を斷行する方が寧ろ合理的の行き方であると考へまして、先般來總督府並に共進會の幹部とも色々御協議致しまして、著々所定の計畫を進行いたして居る次第でありますが世間動もすれば種々の風說など聞へまするので此の際特に本會の最高諮詢機關たる諸君の御會同を煩はした次第であります。

震災地への書留郵便取扱開始
價格表記並に別配達はまだ開始されぬ

【大阪電報】遞信省では二十五日より各地方から震災地たる東京、神奈川兩府縣下に宛てた書留郵便第一種及び第二種の郵便物の取扱ひを開始する旨附近を以て大阪遞信局に通達があつたが書類は二十六日に到り同局に到着したので震災地宛の書留郵便物は事實上二十六日から取扱はれる事となつたので從來通り自由に送金が出來る譯であるが價格表記及び別配達等の手數を要するものゝ取扱は未だ開始されない

勅使御差遣
桃山御陵へ

【東京電報】天皇陛下には震災に復興狀況御報告の爲め十月一日桃山御陵に勅使を御差遣さると

火災保險支拂
一割乃至一割五分

【東京電報】火災保險金支拂問題に就て東京側と關西側との保險協會が總會を開催する事になつたので意外に早く問題は解決すべく又協會側が最初發表した提案額は稍過大であつたことを悟つたらしく又一般の意嚮が意外にも火災保險問題に集中して居るのに鑑み結局一割乃至一割五分位の支拂は確實になるであらうと

來年度新事業遂行如何を云爲するは尚早
何れは總督歸任の上決定を見ん

省の方針さへ充分に決定せず尚日本銀行としても正確なる方針を發表したと云ふ譯ではないから結局朝鮮としても如何なる方法にて事業を遂行するかと云ふ事を云爲するには未だ其時機ではないのである。唯一般の推測によれば朝鮮としては繼續事業は

必ず遂行せらるゝものと信ずるの外はないのである。が問題は來年度の新規事業如何である。之が果して遂行せらるゝや否やに就ては總督も目下東京中であり夫等のことを

總督府の來年度事業としては咸鏡線の延長、平元線の新設、干拓事業、朝鮮大學の新設、普通學校の增設、その他道路、港灣等幾多の事業があり、府計畫中のものとしては十一河川改修、土地改良事業等がある更に補助事業として議院に採擇となつた鎭南浦、群山、仁川の築港繼いて私鐵會社の線路延長等幾多の事業が控へては居るが而も此は朝鮮としては相當急を要すべき諸事業である從て此事業遂行如何は可成り社會の注目を惹いて居るが遲くも今回の大震災の爲め

其の多くは復興に充てられ其影響を受けて新事業の事業も中止又は繰延の已むなきに至るであらうと說くものもあり、更に朝鮮は特別の事情もあり若くは全部遂行せらるゝであらうと說くものもある。然し乍ら何れも尚早論に過ぎないので未だ大藏省ある。然しこれに就ては總督も目下東京中であり夫等のことを充分打合中であるから何れ夫等のことも總督歸任の上何とか決定を見るであらうと某有力者は語つた

青島鹽の朝鮮輸入
第一回分一千噸は仁川へ

山東方面にても去る七月の暴風雨水害に依り鹽田の被害甚だしく膠州鐵道の輸出が何時になつて實行出來得る事になるか今日の所は豫測し難い狀態にあるとの事である但朝鮮方面への輸出に就ては特に青島鹽務署に於て何等かの便法を講ずる筈であつたが其後仁川の鹽商會が本問題に關し極力運動を試むる所あつた結果青島鹽務署では愈々或る一定の數を定め特定の者をして實に契約を實行せしむるを得ば其定めたる數以内に於て朝鮮へ輸出差支へ無しとの方針に決定した依つて結局三萬噸を限り青島の支那商人公和永と仁川の鄉商會との間に契約成立し公和永は差當り第一回分輸出として本月下旬に仁川へ向け發送したが今後引續き三萬噸までの輸出を行ふ筈であると

總監追悼會參列

有吉政務總監は中村秘書官を帶同し二十七日午後三時鐘路覺皇寺に於ける全鮮佛教各團體聯合主催の東京震災並に西鮮地方水災遭難死亡者追弔會に參列した

此の緊張味あり始めて國難來を突破せん
過般震災地を視察せし倉橋文書課長語る

今回の震災地たる東京、橫濱等を視察し歸任した總督府文書課長倉橋氏は語る

被害の狀況等に就ては既に新聞紙上にも幾度か掲載された所であるから今更自分が云ふまでもないが既に東京は擧國一致的の救濟によつて水道、電燈、電車等も復興し食糧も相當に豐富となつて漸く

當面の氣分は落付いて來たまた鮮人の罹災者等に對しては總督府其他から懇な取扱を受けて居るので決して心配する事はない兎に角これで第一次救濟は濟んだ譯であるがこれからは第二次計畫に這入るべき時期で今回の復興は容易ではないのである而も東京と云へば政治に經濟に教育に其他各方面に於ける中心地であつただけに今回の災害は決して東都一ケ所の災厄と見るものでなく實に帝國の一大災害と云ふべく、其災害影響たるや全國に及んで居るのである。被つてこれに處して行くに我々には如何なる決心が必要であらうか。一度震災地に

足を踏み入れた時誰でも感ずる事は該地の國民一般が非常に緊張して居る事である。我々は何もない實に唯此の緊張かあるのみであると思ふ。弛緩した精神を持つては到底此國難來を突破して行くことは出來まいと思ふ。而して徒らに悲觀する者があるがそれは餘程見當違ひで此非常の場合徒らに悲觀すると云ふ事は何よりも禁物である。禍を轉じて福となすと云ふ事は斯くの如き場合に應用すべきもので、此

國難を轉じて一層堅固なる帝國を建設せねばならぬと思ふが、我々は一自分は少くともそうした精神を以て毎日事務に當つて居る次第である。云々

京畿稻作豫想
前年に比し增收

京畿道本年度の稻作は植付時期に於て降雨少き爲め植付幾分遲延せるに拘らず局部に於いて水害及び海水浸入等の爲め一時生育を悲觀されたるも其後天候順調にして遲植のものも相當生育を恢復せしのみならず、適期播種のものは生育特に良好なるを以て今後結實期の天候良好なるを得ば平年以上の作柄を得べしと尚九月二十三日秋分時の收穫豫想高は六十六萬五千二百八十七石にして前年に比し八分五厘の增收見込みなると

鮮內會社 事業別

八月末現在に於ける鮮內事業會社は一千十四社公稱資本五億九百四十五萬四千圓拂込資本金二億三千六百十六萬九千圓で之れを前年同期に比すると社數に於て百九十三公稱資本金に於て一千九百餘萬圓の增加を示した、八月末現在は次の通りである

	社數	公稱資本
農林業	八〇	四四、八七六、八〇〇
水產業	三〇	一〇、九五八、五〇〇
鑛業	九	八、二六四、〇〇〇
製造工業	一九七	三〇、二九八、七四五
瓦斯電氣	二四	一六、一七〇、〇〇〇
銀行業	二一	一四四、九七五、〇〇〇
金融信託	七三	二四、五五五、七五〇
運輸業	一〇三	一〇五、六二一、三〇〇
倉庫業	一八	六、三三八、〇〇〇
保險業	二	五、三〇〇、〇〇〇
商業其他	四六三	八〇、九三九、五三一

副業共進會彙報

◇團體割引範圍擴張　副業品共進會の觀覽者共の他に對する滿鐵會社の汽車賃團體割引は二十人以上と云ふ制限であつたが今回特に其の範圍を擴め十人以上は團體として普通貨金の三割を割引することになつた鮮内の各私設鐵道會社でも多分滿鐵と同樣の取扱を爲すに至るべしと

◇各種大會　副業品共進會の開期中を利用し各種產業團體等に於て大會の開催を計畫する向も少くない由であるが既に決定したのは朝鮮農會朝鮮畜產協會の各總會及朝鮮產業大會（農會主催）、養蠶會、山林會畜產協會水產會聯合會開催）の四つである

◇出品人員數　副業品共進會に對する朝鮮內出品人の員數は普通出品八千九百五十八人參考品四百人計九千三百五十八人で最も多數なのは慶北の千百九十七人京畿の千〇三十七人等である

辭令
今回左の通り辭令ありたり

總督府視學官　高橋亨
中樞院書記官　深川傳次郎
朝鮮情報委員會委員を命ず（各通 廿七日）

任朝鮮總督府遞信技師
敍高等官七等　津田常男

任朝鮮總督府勸業模範場技師
敍高等官七等　今村忠夫

任朝鮮公立實業學校教諭
敍高等官七等
補裡川公立農業學校教諭
公立中學校教諭　植村良男

任朝鮮公立高等普通學校教諭
敍高等官七等
補仁川公立高等女學校教諭
朝鮮總督府郡屬　足立俊夫

任朝鮮總督府郡守
敍高等官七等
黃海道谷山郡在勤を命ず（以上廿六日）

出張命令

總督府水產試驗場技師　脇谷洋次郎
平壤及鎭南浦へ出張を命ず（廿五日）

水原高等農林學校教授　中島吉太郎
畜種學研究の爲め滿二箇年間英吉利、獨逸國及亞米利加合衆國へ在留を命ず（廿六日）

全州高等普通學校長　高木善人
海州高等普通學校長　錦衛
咸興及京城へ出張を命ず（各通）
京城第二高等普通學校長　平山正
光州高等普通學校長　粟野傳之丞
咸興へ出張を命ず（各通）

人事消息

▲井上生治氏（鮮銀理事）二十七日午前十時發東上
▲久保田積藏氏（鮮銀營業部支配人）二十六日夜大阪より歸城
▲安藤京鐵局長　中野工務課長及星野職員を從へ約二週間の豫定で二十七日夜出發咸鏡線延長工事狀況視察の爲め同路實地調査に向ふ

茶話

總督府豫算に就て種々なことを傳ふるものがあるが餘計なことだ▲中央政府でさへ大震災に依る帝都復興といふ當面寸時の猶豫を與へない大問題があるので未だ豫算に對しては方針が決定した模樣も見えない▲既に中央政府の豫算方針も決定しない今日に總督府豫算がどうのこうのは全く臆說と云ふものだ▲而已ならず內地と朝鮮とを同一に見て豫算編成を云爲するのは甚だしい誤謬である▲何れにしても出鱈目な臆說を濫發するは甚だしくよくない▲毎度言ふが震災救濟事業と平和事業とを決して混同してはならん▲話に上つてゐた朝鮮私鐵の社債も目下頗る順調に進行中だとの噂がある▲どうか噂に止まらず一日も早く其實現を熟望して止まない

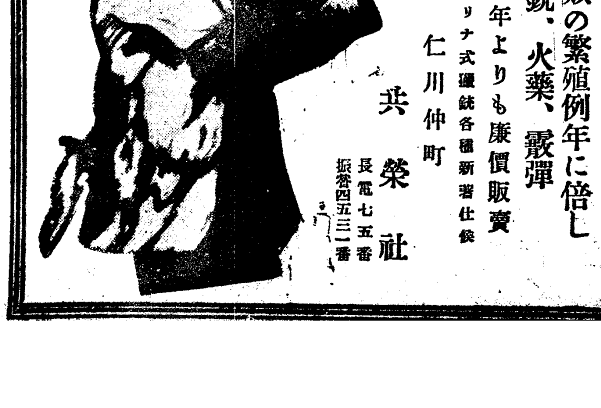
氣象日報（廿七日）

朝高氣壓は支那北部より朝鮮に擴張しつゝあり又颱風は臺灣の南東海上にあるも遠方なれば狀況不明なり南部は曇天其他は晴天にして氣溫稍下降した廿八日京城は天氣良好であらう

天氣豫報（廿八日）

晴　一時曇

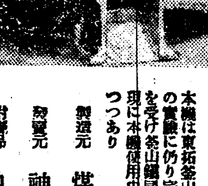
廿七日正午　攝氏二〇度　華氏六八度〇
廿六日最高　攝氏二三度九　華氏七五度〇



▲本年は!!! 狩獵の最好期!
▲鳥類の繁殖例年に倍し
獵銃、火藥、霰彈
亦昨年よりも廉價販賣
▲グリナ式獵銃各種新著仕候
仁川仲町　共榮社　長電七五番　振替四五三一番
定價表進呈

今般本店事務所類燒ニ付當分ノ間左記ニテ事務取扱申候
東京市本鄉區眞砂町三十六番地ノ二號　吉谷專吉方
大正十二年九月　日
京城電氣株式會社

型錄申越次第進呈
朝鮮一手特約店　京城南大門通　戸田農具株式會社



籾摺法の改革!
專賣特許 神八式脫稃機の出現
―スラズにムゲル―
本機は東拓釜山支店に於て三ヶ年の實驗に依り完全有望なる旨の證明を受け釜山鎭同社精米工場に於ては現に本機使用中にて好成績を擧げつゝあり
製造元　煤鐵公司　南滿洲本溪湖
發賣元　神八商會　南滿洲本溪湖
附屬品販賣店　神八支店　釜山驛前

移轉先　龍山郵便局前側
從來龍山鐵道構內に於て營業中の處左記へ移轉致候倍舊御贔屓御引立の程奉希上候
清酒・醬油・ビール・清涼飲料　雜穀・油・乾物加工食料品
中崎本店　電話龍山五一番

關東大震災寫眞撰集【特別大寫眞十五枚組】
▼販賣人＝特約店募集▲
東京下谷櫻木町五十番　活動社

官製食卓塩
發賣元　京城　富田商會
地方特約　釜山　木浦　群山　あづまや　仁川　中村嘉　鎭南浦　赤岩本店
販賣店　京城　池尻商店　平壤　桑田商店　新義州　貝沼商店　元山　小山商店　清津　鈴岡商店

◎授業開始 十月十五日
◎學生募集 十月十三日
尚同日迄ニ專科學年ヲ記シ通學ノ旨並宿所ヲ屆出ノ事
◎入學試驗 專門部法科、政治、經濟科補缺試驗ハ十月九日、去ル八月以來廣告セル大學豫科各科一年補缺試驗ハ十月十日午前九時ヨリ
▲授業及試驗ハ神田區猿樂町東京府工學ニテ
▲罹災校友諸君ノ御住所通知ヲ請フ　明治大學校友會本部
九月　東京市神田區駿河臺　明治大學　大學部 專門部 各科 午後一時本學校庭

罹災民に御同情遊ばされて 兩陛下供御を減じ給ふ

朝晝は一汁一菜、夕は一汁二菜 四相感泣して退出

二十五日午後、田中、財部、山之内の四大臣は日光田母澤御用邸に伺候兩陛下に拜謁仰付られ天機並に御機嫌を奉伺したが兩陛下には痛く罹災民の困苦に御同情遊ばされ共に艱苦を分たんとの大御心より一汁一菜たるべき事を仰せ出された宮内當局は恐懼おく處を知らず早速聖旨を大膳寮に傳へ朝晝は一汁一菜夕は一汁二菜を實行する事になつた爾來之を御守り遊ばせらるゝ由で四相は今更の如く廣大無邊の聖徳に感泣して退出した（東京電報）

救はれた鮮人學生が 續々歸鮮する

開校を待つて再び東上 中原督學部幹事の話

九月一日の大震災後火災に襲はれた麹町區中六番町朝鮮人學生監督部も今は昔日の面影なく燒け殘つた建物に百十數名の鮮人學生及勞働者を收容してゐる。當督學部の中原幹事は語る『大地震の後三四日間は糧食の缺乏を來し多少不安を感じたるも社會の同情や區役所及び其他より米の配給を受け今は朝鮮總督府出張所より多大の救濟を受けてゐる。又齋藤總督や學務局長や其他の方々より夫々救助を受け今は糧食の點に就ては何等の心配はない。何分神田に於ける四大私立大學が丸燒となりそれ等の復舊は何時頃になるか今の處見當が付かない十月一日より開校すると云ふ學校もあるがその實は何時頃になるか全く判らない有樣である。如何に全力を注いで復舊に努走する學校と雖も十一月以後でなければ開校の見込がないやうだから現在の學生の內で一旦歸鮮し開校の期日を俟つて更に東上すると云ふので續々朝鮮へ歸るものがある樣である今朝鮮人を收容保護する箇所は僕の處の外に中日寺、天道敎宣敎所等で其他は各警察署及び警視廳の收容所に三四千の鮮人を收容監視しつゝあると』（東京電報）

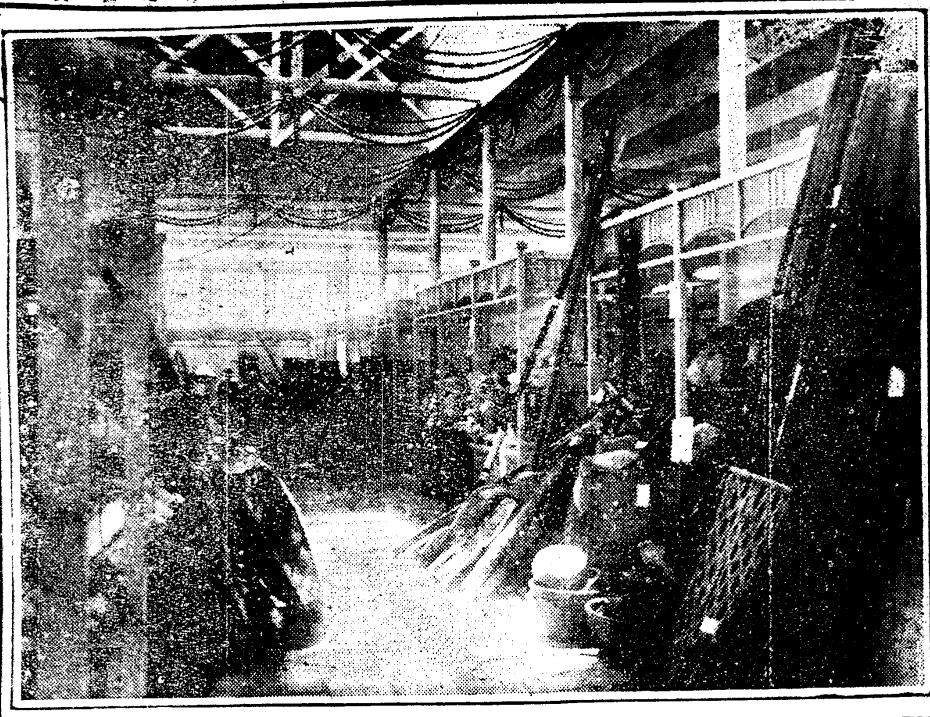
學生宛の送金 安否の調査

東京に勉學中の朝鮮學生より學務局長宛左の如き依賴があつた學生宛の送金は當分の間朝鮮銀行の送金爲替にて本府出張員事務所氣付送付すれば當方にて便宜取扱ふことに決定した震災地にある學生の安否調査希望の向は現住所學校名等を具し東京麹町區中六番町東洋協會朝鮮學生督學部へ申込まるゝ樣致したし

東京に又復強震

震源が安定する證據

二十六日午後五時二十三分二十一秒東京地方に又復可なりの強震があつた一日の激震から未だ氣分の治まらぬ市民は又かとばかり不安の念にかられたが右につき中央氣象臺の岡田博士は語る 初期の微動が緩慢に來たので危險はない此の地震は一日の地震の餘震で前回の震源地の周圍が餘震に依つて全部安定して行くので心配する事はない震源地は常陸沖で激震でも餘震として継續的のものである云々（東京電報）



準備に忙しい副業共進會（搬入された出品物）

神輿渡御は見合せ

京城神社の秋季大祭

好商檢擧

十名起訴さる

……二百枚買付けたと云ふ不屆者もあつた（東京電報）

……て此處では毎秒四十七メートルの颶風で房總地方に猛威を振ひ更に……

……排を施さなければならぬ、併し東京は之れで四五日はこの儘で濟む……

……の經費 一萬圓を要する

……事前を横切らうとしたので運轉手が警笛を鳴らした其の物音に驚き慌てゝ倒れて顔面に負傷を……

三島地方強震

靜岡縣下では二十六日午後五時五分前後二回三分間に亘り小震あり三島地方は可成りの激震で民家で壁の落ちたもの多數あり人心恟々として居る（靜岡電報）

罹災鮮人へ 同情の洪水

一同大に感激

朝鮮總督府の東京出張所に於ては目下二百人十名の罹災鮮人を收容して居るが假設のバラックとて炊事場の設備なく雨の際は炊事を爲すを得ず食事に困難を感じて居る所附近の某一師團に於ては大いに同情し早速軍隊バラック二十箇所を寄贈し又附近の町役所出張所に於ても何くれとなく親切に便宜を計り種々物資を給與し又下村博士を通じて大阪夫人聯合會より特に罹災鮮人へ衣服其他の物資を寄贈した、斯る官民各方面よりの同情に對して彼等は非常に感激して居ると（東京電報）

平壤製菓疑獄事件 元兇は秋鹿か

怪しい四萬圓の行方

平壤檢事局の活動に依り創立當初より惡弊のありたる平壤製菓株式會社の重役は二十三日來平壤署に喚問嚴重な取調べを受けてゐるが同社の取締役吉川勝太郎（平壤驛員學校組合議員）同監査役荒木武雄（平壤府協議員）は俄に拘束のまゝ歸宅を許され專務取締役秋鹿鹽次郎のみ歸宅を許されず平壤署に留置嚴烈なる取調を受けてゐる事件の內容に就いては其筋にては絕對に秘してゐるが巷間傳ふる處に依れば詐欺破産に關して同社重役間に不正が行はれたものらしい製菓會社は大正九年八月八日資本金二十五萬圓四分の一拂込みにて創立し十年一月三十一日迄を第一期とせるがこの開創業時代として營業は僅かに二箇月他店の製品を取次販賣したに止まるが第二期には工場の設備機械器具の据付或は製造をなし第三期より一部製品を賣出し販路を擴張し第四期に至り財界の不況により資金の用意の如くならず此の間重役の詐欺背任等の不正行爲多く遂に昨年八月株主總會を開き解散を決議し本年七月十日正式に解散の手續きを了し清算人の手に依つて整理中の處今以て整理出來ず內紛益々暴露して遂に司法權の發動を見に至つたのである

巷間傳ふる處に依れば同社創立以前既に土地の買收等も行はれこの間重役間にコンミッションを取つたものがあると噂され又創立當初秋鹿鹽次郎、神頭虎之助、秋鹿藤市、荒木武雄、小西喜平等が大同銀行より九千五百圓を借受け自分の持株とし昨春同社が重役に出來これを埋合せる爲め不正行爲に出でたものだとも云はれてゐる、同社のバランスに依れば約七千五百圓の缺損となつてゐるが整理委員調査の結果三萬九千五百二十五圓十二錢の缺損を發見し夥からぬ金の行方を疑はれてゐる元兇は專務取締役秋鹿鹽次郎にて元社長竹中佐治郎は秋鹿のペテンに罹り取締役吉川勝太郎監査役荒木武雄は卷添へを食つたものらしい

甚だ迷惑至極

社長に祭込まされた 毛利繁榮會長

右に付き南金融組合長にして繁榮會長を兼ねる毛利辰次郎氏は語る『私が同社に關係してゐるのは甚だ迷惑至極で、同社の株の如きには一つも持つて居らぬ、何等關係がない、唯一度秋鹿より社長になつて呉れぬかと祭込まされた事があるのみで自分は一笑に附したに過ぎない』

私の立場から と吉川取締役

『事件の內容に就いては警察から絕對に云ふ事を止められてをりますから何事も申しませぬが、私は二十三日召喚取調を受けただけで即日歸宅し留置されません、秋鹿の日記に依り私の關係せぬ事も明白になつたやうであり、取調の進捗に伴れ黑白は明かにされませうが公職を辭いてゐるだけに引致されたやうに傳へられるのは迷惑です』と自分の立場を明かにした

事件擴大 關係者廿餘名

この詐欺、詐欺破産に關する取調進行と共に益々擴大し意外の方面にも飛火する模樣で大同銀行元支配人松崎久も之に關係あるものゝ如く從つて銀行にも波及するは勿論その清算人の外元社長竹中佐治郎、取締役秋鹿藤市、田中次郎、神頭虎之助、加藤壽一、石原幹一郎、小西喜平を初め續々關係者を召喚取調べるものゝ如く有志公職者のこれに關係あるものは實に二十餘人の多きに達すると傳へられてゐる（平壤）

共進會を目當に 掏摸や賭博打

が澤山入り込んだ 警察の目が光り出す

愈々旬日の間に迫つた副業品共進會を目當に各地方より掏摸や詐欺賭博の常習者が大分入り込んだ形跡があり道刑事課は勿論のこと府內各署でも豫防警戒に努むる事と共に檢擧に眼を緩めて居るが當局では掏摸も勿論油斷がならぬがそれよりも詐欺賭博の常習者が鮮人宿に宿泊して無智な鮮人の懷中に突け込んで賭博を強いマンマと有金全部をせしめるのは一層油斷がならぬ各自において出來る丈け注意して貰ひたいと語つて居た

宿屋料理屋へ 鍾路署の注意

鍾路署では慶福宮內で不日開催される副業共進會の折は地方よりの入城者が多數あるだらうとの見込で二十七日午前十時より同署管內の宿屋、料理屋、飲食店の營業者を同署に召集して大略次の注意を與へた

▲客室及料理場の設備を十分にする事▲屋內屋外の淸潔を立派にする事▲不當の利益を貪らぬ事▲淫賤な女を雇はぬ事、▲火災豫防に注意する事

共進會見物の爲、地方から 六七萬の人が雪崩れこむ

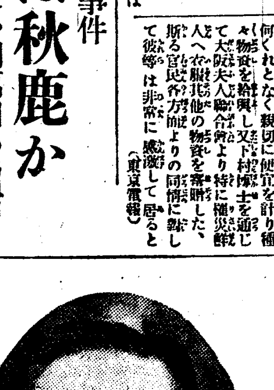
既に申込んだ團體三萬八千名 協贊會は宿割に忙殺

副業共進會も愈々旬日に迫つて來た共進會協贊會役員は準備の爲め忙殺されてゐる先づ共進會觀覽の爲各道から團體として京城に吸ひ込まれて來る人員は約六七萬人と見られてゐるが其他個人としての入城者も可なり大きい見込である從て宿屋の斡旋についても各道から直接指定した協贊會から指定斡旋をしたりしてゐるが尙重複するので各道からの指定交渉を協贊會に委任して貰ひたいと云つてゐる既に各道から申込んで居る者並に觀覽及學生團は約三萬八千餘名に達し其後第二回第三回と申込が増加して來る模樣であるが第一回の申込は左の如くである

京畿道一〇、六八五名學生一、一八六名▲忠北九六六名▲忠南四、〇七五名▲全北五、七四九名▲全南二、五〇〇名▲慶北一、六三八名▲慶南一、五九九名學生四〇名▲江原道一、九七九名▲咸南一、五〇三名學生二〇八名▲咸北三四七名▲黄海道一、一七名▲平南六七名學生二、一八九七名學生一、〇三六名

幾萬の內鮮兒童の爲に

小波先生が童話を寄稿



今度の大震災では巖谷小波先生の御安否が初めは分らず、お伽の小父さん巖谷小波先生が御無事であつたといふことは日本全國の子供のためにどんなにか嬉しいことでしよう。皆樣既に御承知の通り、先生はつい此間本社の招聘に應じて朝鮮に來られ、京城を振出しに全道の主なる都市においてお伽講演を催され、到る處溢れるやうな喝采を以て迎へられました。樂しかつた其日、面白かつたお噺のことを思ふにつけても先生の懷しいお姿がアリアリと目の底に浮んで來ることゝ思ひます。先生の巡回講演は日數にして丁度二十日間、回數にして約六十回聽衆は內鮮兒童其他を合せて無慮一萬に及びました。全く豫想外の盛況、豫想外の成功で他の如何なる講演會といへども本社主催の此の巡回講演には到底及ばなかつたのであります。唯一つ茲に殘念に思つたのは先生は非常にお忙しいお身體ですから長く朝鮮に滯在して頂く譯に行かず出來るだけ其日程を切詰めましたため講演地も殆ど鐵道沿線に限られ從つて朝鮮中の全兒童にこれを聞かせて上げることが出來なかつた一事です。そこで本社は是等兒童のために切めて紙上でなりと先生のお噺を紹介したいと云ふことを思ひ立ち同時に一般の兒童に安心して奬めることの出來る讀み物を提供したいと考へて是を小波先生に交渉致しましたところ先生はなかなか御多忙のお身體にも拘らず早速御快諾になり今後毎月本紙のために否在鮮幾百萬の兒童のために最も新しい且最も興味ある獨特のお伽噺をお書き下さることになりました。其第一篇は多分十月から活字にすることが出來るだらうと思ひます今や童話が子供のためになくてはならぬ、精神生活上のお菓子として歡迎せられてゐるとき、斯界の權威である小波先生が親しく本紙に寄稿せられるといふことは一般兒童──一般家庭にとつて大なる福音であると云つても決して過言ではなからうと思ひます本社は茲に是を吹聽し得ることを誇りとすると共に各家庭に對してお子達の課外の讀み物として或は又お子達の良き伴侶として先生のお伽噺を奬められんことを切望するものであります。

京城日報社

奈良の縣議戰 未曾有の紛擾

まるで戰爭のやうな騷ぎ 選擧は遂に遣直し

奈良縣吉野郡の縣議選擧の紛擾は益々甚だしく二十六日は開票場に集合し一方上市町民はそれに對抗すべく消防隊を繰出し恰も戰場の如き騷ぎとなり上市署は奈良縣各署の應援を求め警戒に努めると同時に百餘名の警官を以て附近の警戒を嚴重にし奈良地方裁判所檢事局よりは平上檢事現場に急行し實地調査を行ひ上市町の關係者を續々召喚取調べに着手し又齋藤內務部長は同八時自動車を驅つて現場に到着した一方投票場には夜に至り成毛知事より『是非開票を續行せよ場合に依つては取締の出動を乞ふこともあるべし』との嚴命があつたので開票を續行せんとしたるも肝腎な係員や立會人の姿が見えないので開票は出來ず漸く十一時頃に至り開票の運びとなり二十七日午前零時半開票を終つたが其結果は松田候補七百六票で其差は僅か四十票に過ぎず殊に紛失した投票百二十七票は何れに加算することも出來ないから遂に選擧は遣り直しと決した但大淀町民三百名は群をなして二十七日午前中郡地方に押寄せ形勢不穩なので或は一層嚴重を極めてゐる（奈良電報）

府の義金

二十七萬八千圓

京城府募集の罹災義捐金は二十七日朝現在二十七萬八千圓に達したが尙續々申込者があると

空瓶買に化けて

泥棒を働いた六人組 龍山署で殘らず逮捕

龍山署の防犯係が二十三日夜擧て苦心捜査中の不良青年六人組を檢擧した 自稱府內西小門住居不定朴用俊（二二）、全北生れ住所不定李聖春（一九）全北南原郡生住所不定金用福（一五）安城生れ郡生金用春（一五）忠南公州郡某（一六）忠南槐山郡申福照（一三）の六名は常に一定の住所なく朴用俊が指揮を採り嫌は空瓶買ひに化け込んで家屋內の模樣を探り家人不在と見るやコソリ忍び込んで手當り次第窃盜をやり空瓶籠に入れて逃げ夜は到る所で泥棒を働き、殊に長格の朴用俊は甲此窃盜を惡察の役目に使つて盜んで歩いて居たもので件數は非常に澤山ある模樣である目下取調中だが一體に此頃は氣候がよいので家族揃つて外出するものが多く戶締不充分なのを附け込んで盜難に逢ふから各自の注意が肝要であると佐藤防犯係は云つて居る

人殺しの兇狀持ち

格闘の末逮捕

鍾路署では副業共進會を前に府內林町二九七番地李某方に某方面から入城した不逞鮮人數名が潛伏したのを探知し二十六日午後七時頃同署の二刑事は現場に踏み込んで不逞漢三名を逮捕し本署へ同行中一名は隙を覗つて脱兎の如く逃走したので直に同署員の應援を得て追跡し黄金町三丁目で大格鬪を演じた末漸く取押へた取調の結果此奴は忠南洪城郡弘東面大英里生れ住所不定の李哲淳（三）と云ふ者で去る大正九年一月二十日頃忠南牙山郡……れ朴德鉉（二）、同張玉（三）、同李起淳の四名と共謀して同道洪城邑內で價格約四百圓の反物を詐取したが之が分配の事から紛擾を生じ李起淳が不當の要求をしたので外三名は共謀して同年一月二十三日午後十一時頃同道禮山郡新陽面黄溪里道路に李起淳を誘ひ出し棍棒で撲殺して逃走した其後崔浩と林德鉉の兩名は當局の手に逮捕されたが李哲淳のみは今日まで姿を晦ましてゐたものである

妻子を虐待して 情婦と痴々繰る

鬼のやうな大正館の辯士 警察では許可を取消す

府內櫻井町一の百十一番地衣川志都男は目下大正館の辯士であるが妻子あるにも拘らず先頃から新町のアイ子と云ふ女と情を通じて常に妻子を虐待する事が甚しく去る二十三日の如きは終日妻には一粒の飯さへ與へず剩へ妻の嫌がる飲食店に奉公せよと無理を強ては毆打するので妻子は共に其の衰弱甚だしく近所の人々も大に同情して貰ひ泣をして居る一方夫志都男は情婦のアイ子を常に庭に引き入れて美食や淫語を交へて歡樂に耽り妻は其都度戶外に立ち續けてすゝり泣をしてゐるさである之を探知した本町署では斯る辯士は風俗を紊亂し社會を毒する恐れがあると辯士の許可を取消す事に決した模樣である

坐礁事件判決

譴責で事濟み

仁川港水先人島崎彦次郎は昨年十月十九日汽船大正丸に水先案內人として乘組仁川入港の際汽船を坐礁せしめた廉に依り海判に附せられてゐたが二十六日遞信局海員審判所に於て審判廷被審人出席しなかつたので缺席の儘譴責處分に附せられた

寺院明渡事件は和解

朝鮮佛教の大立物姜大蓮から黄耕雲外五名を相手取つて蓮松洞八十二番地の寺を立退けと訴へ出た、家屋明渡訴訟は相互和解が成立し二十七日取下となつた

姉シヅ子に告く

父上腦溢血にて卒倒し今危篤なり又母上も看病と心配の爲め過勞して私一人にて甚だ心配、急ぎ歸れ都むは全快望みなし急ぎ歸れ 弟 誠一より

龍山消防組の救恤金品

非常な好成績

龍山消防組の關東罹災者救濟物資募集は非常な好成績を示し既に第二回の發送を行ひ來る三十日締切り第三回の發送をする筈であるが第二回までの募集品目數量は百二十四個數合計六千三百六十二點で單衣一、二三六點、袷八〇八點、小兒物七七五點、洋服二六四點、シャツ六二五點、雜品二、六〇五點、毛布四一點布團八點となつて居る、尙此外同情鍋に一錢二錢と集まつた現金二十七圓二十一錢に達してこれも三十日に締切るさうな

安否調査員

歸途に就く

震災に就て東京在住の京城府民の安否調査の爲め出張した府職員五名は既に其要務も略調査終了したので二十六日出發歸城する旨京城府廳に入電があつたが歸途は罹災地たる神奈川縣下並に靜岡縣下を視察する由である

軍人分會の義捐 龍山

龍山在鄕軍人鐵道分會は罹災救恤費として百十圓を醵出し廿七日步兵第七十九聯隊長に其取扱方を申出た

看護婦生徒募集

日本赤十字社朝鮮本部にては第十二回給費看護婦生徒の募集をなせるが資格は高等小學卒業又は同程度にて年齡は十六歲以上身體強健なる者 生徒には毎月二十圓宛の學資を給すると志願者は十月五日までに本部に申込むこと

乘逃げ捕はる

府內蛤洞四三番地崔溢老馬（二）は去る八月二十五日府內太平通り二丁目金容觀の自轉車を借り其儘横領して逃走して居たが二十六日本町署員に逮捕された

京城名物 文化まんぢう 京城本町二丁目 御用は電話本局三〇七七番

株式名義書換停止公告
定款第十一條ニ依リ來ル十月一日ヨリ十一月定時總會終了ノ日迄株式名義書換ヲ停止致候
大正十二年九月
金剛山電氣鐵道株式會社

特徵 京日特撰 靴
ボックス皮堅牢總ゴム底製にして特に底皮に木皮を使用したるに依り底換に際しゴム底との取換なり皮底との取換へなり自由にして他品に比し數倍の耐久力を有し體裁優美、堅牢無比なる特色を有す
東京內田特製（實用靴）
黑ボックス皮 編上靴 五圓
同 短靴 四圓五十錢
黑先エナメル付 編上靴 五圓五十錢
同 短靴 五圓
ボックスチョコレート色 短靴 五圓
送料一足四十錢
御注文の際は（足袋の文數）（靴の文數）特に御明記御通知下さい
京城太平通 合資會社 京日代理部 振替京城三〇〇番 電話光化門四六二〇番

大島紬見本進呈 鹿兒島局私書函第參号 若松屋

從前の場所より二軒南に移轉致しました 不相變御引立を願ひます
人力挽場 金川組 電話本局一一八四番
雨傘の販賣もいたして居ります

秋季特別大賣出し 今回は特價品澤山あります
よろづや履物店 京城本町電車終點角

△虫の音も妙に 御家庭と音樂▽
□代表的純國産□
▲山葉ピアノ
▲山葉オルガン
▲鈴木ヴアイオリン
▲鈴木マンドリン
▲鷲印蓄音器
▲鷲印レコード
□滿鮮卸元□
△秋のシーズン 御用意は今から▽
京城本町二丁目 直輸入商 釘本洋樂器店 電話長本局一八二三番 振替京城六八四番
（目錄進呈）

外科 皮膚科 瀨戶醫院 京城旭町二丁目八番地 瀨戶潔 （電話本局一四九八番）

土地貸下規則に對する 安東金融業者の要求 反則土地還收の場合は競賣の方法に依れと

【安東縣】安東行政統一に就ては民會可決以來既に滿鐵民團兩者の細目協定に移り去月來滿鐵、民團、土地管理會及領事館各當事者協議の上大體に於て公費徵收は現民團の賦課率に、建築及土地貸下規程は現土地管理會規則を基調として略協議を遂げ後繼者たる滿鐵地方事務所にては過般來其成案を本社に稟し其認可を待ちつゝあるは既に本紙の報じた所であるが居留民團行政委員會では右細則の內土地貸下規則に對しては當地金融界と最も密接なる關係あるため一應同方面の意見を聽取するの要ありとて參考の爲め寫を送り同規程につき諮問中の所今回當地組合銀行代表者後藤登丸氏より從來土地使用權を擔保に融通を圖りつゝある金融業者の立場より見たる意見として同規程に對し二三改訂を加へて回答して來たが今其要求の大略を示すと、即ち土地特別貸付規則中
第三條　土地の貸付を受けたるものは貸付の日より一月以內に安東新市街地特別建築規則に依り建築の承諾を受け左記期間內に之を竣工するものとす
一、商務地區　滿三年
二、住宅地區　滿五年
三、工場地區　滿三年
本規則施行前の借地人にして未だ施工に着手せざる者に付ては本規則施行の月より前項の期間を起算す但し期間の更新をなさざるものとす、借地權の讓渡を受けたる者は本條に依る前者の權利義務を繼承するものとす建造物の破壞又は燒失後滿二年以內に建造を完成するものとす但し特別の事情に依り會社の承諾を得たる場合は此限りに在らず
とあるに對し本條中『貸付の日より一月以內』とあるを『貸付の日より一年以內』と變更すること『但し期間の更新をなさざるものとす』を削除すること
『但特別の事情に依り云々』とあるは之れを第五項として『本條の期間は特別の事情に依り會社の承諾を得たる場合は此限りにあらず』と改むること
を要求して居るが其理由とする所は從來領事館令第七號第四條には貸下許可の日より一ケ月以內に使用の目的及方法等を具申し許可を受くることを規定されて居るに對し本案は一ケ月以內に安東新市街地特別建築規則に依り建築の承諾を受くる事になつて居るが、前者の如く使用の目的及方法等だけならば一ケ月以內でも差支はないが後者の新規程の如く建築設計圖等を附して承諾を求むる迄には少くとも六ケ月以上一ケ年を要する特に遠隔地に本店の在る會社及大商店の如きは到底僅の日數で承諾を受くる迄に運び兼ねるのである期間の更新を許さないこととすれば從來の慣例に違反するのみならず借地權の精神に悖ることとなる即ち安東管理會の土地は貸下地なる名目であるけれ共其實は競爭入札の方法によつて貸下料なる代償を徵收して所有權に等しい地上權の拂下を爲したものであるから名目は貸下地であるけれ共事實上借地權は全く所有權である其地上權の處分利用は自由であるべき筈だ換言すれば借地人は其土地に對して家屋を建つるも建てざるも自由であるが市街發展の促進の爲特に例外的制限規程を設けたもので寧ろ原則に反する特別規定と見るが妥當であらう故に管理會では地劵を發行して之が處分移轉を自由に行はしめて居る以上期間制限の如き例外規定を以て原則を破るは不當であるから斯かる規定は當然削除するものである、若し斯る意味に於て期間制限を勵行する時は管理會の土地貸下の精神を沒却して沿線地に於ける滿鐵會社の附屬地貸下と何等異る所なき觀念となり理論、實際何れの點より見るも背反する結果に陷るであらう期間の更新を妨げざる計りでなく家屋竣工規定も事情に依り延期を承認するは妥當である
第五條第四項、『使用料は會社に於て必要と認むる時は之を變更することあるべし』は之れを『使用料は會社に於て必要と認むる時は地方委員會の諮問を經て之を變更することあるべし』と變更を望む、之は使用料の高低變動は借地權の價值利用に大なる關係を有し一般市況の盛衰に關する重大事であるから單に會社の獨斷に委せず居留民にも亦之に與して意見を開陳するの道を設くること
第十三條第二項、『前條第三號に依り土地の返還を爲したる場合會社は賠償を爲さざるものとす但し其の情狀に依り特に賠償を爲す事あるべし此場合に於ける賠償額は一坪に付使用料率の五百倍を超過せざるものとす』とあるは之れを
『前條第三號に依り土地の返還を爲さしめたる場合は會社は更に競爭入札の方法に依り貸付をなし其の貸付料の內より費用を差引き殘金を前借地人に交付するものとす』
と變更する事其理由は、假令規則に反したものと雖も有價買收の土地を無償で返還を命ずるは如何、まして借地人は前述第三條中の說明に於て述べた如く名目は借地なるも內實は讓渡に依つて得たものである然るに單に市街整理及發展の爲と云ふ理由のみの下に無償で沒收するは甚だ不條理の處置である、規則に反した制裁としては本人の意思に反して其土地を沒收し競賣に附した事に因つて償ふのであるから夫れ以上無償とするは國權を以てするも不法なるの感がある且つ沒收して他に競賣し所期の建築を爲さしめれば本案の目的は達せられたものであつて夫れ以上本案は求むる必要を認めないのである、殊に賠償により使用料の五百倍を超えない範圍で賠償するの規定であつて本案は領事館令第七號第十八條の規定を其儘轉用されたものと思惟さるゝが館令第七號施行當時に於ける地價は如何なる土地でも使用料の五百倍を出づるものもなく最も高率な土地でも當時は三百倍位であつたので以て當時に於ける五百倍を以てするも今日の地價は使用料の五百倍とは到底比すべくもない所謂時勢の進運に伴ひ地價の騰貴は非常なるものであるが要するに本案に對する金融業者の意見は土地貸下なる文書と一方地劵を發行して移轉賣買を許容する抵當權の設定を許與するとの二者異つた觀念を規定上に混淆せしめてある爲め、貸下なる文書に重きを置き地劵を發行して經濟上の觀念を無視し抵當權者の保護に關し何等考慮を用ひない嫌がある即ち第十三條の如き明かに借地人の反則を咎むるに急であつて抵當權者の在るを知らざるものゝ如く且反則者と雖も公益及公の秩序に反せりと云ふに非ざるに有償買收のものを無償還收するが如きは觀念上の錯誤より生じたものではないかと思はれるから少くとも第十三條の如きは抵當權者を保護する上に於て變更しなければ借地人は今後土地に依つて金融を得る事困難に陷るであらうさすれば地劵を發行し賣買移轉抵當權の設定を認むるの主旨に反する結果となるのであるから時恰も行政統一に際し滿鐵所定の新規定中特に此の土地貸下規則に對しては以上の希望を容れられたしと、結んで居るが之れに對し行政委員會では近く臨時委員會を開催し審議する筈である

特産品陳列大會は 內鮮商品取引の仲介 鮮內各商人の參觀を希望す

伊藤慶北勸業課長談

【大邱】來る十月十四日より十五日間慶北道廳構內に於て開催する全鮮特産品陳列大會は其の會場地は慶尚北道であるけれども從來の歷史から見ても全國商品陳列所の聯合主催と云ふ性質のもので其の開會の最大の目的は各府縣の特色ある商品を一堂の內に集めて其地方の色を遺憾なく發揮せしめ且其商取引の仲介をなさんとするに外ならぬのであるから、苟くも商業上に活躍せんとする商人方には是非共見て頂かねばならぬ性質のものである。斯の陳列大會は關東地方に突發したる大震災の爲めに多少の打擊は蒙つたに相違ないが東京府を始め其他の三四縣の被害地を除くの外は豫定の通り出品をする事となつて目下盛んに輸送中であるから來る十月十四日開會期日までには全部出陳物の陳列を見る事が出來ようと思ふ。陳列物は第一號館に充つる商品陳列所は內地各府縣の八百五十點第二號館と稱するバラック建は內地各府縣の出品物一萬三千六百點第三號館の元慶尚北道廳は全鮮各道の出品物五百點第四號館即ち元の農務課跡は慶尚北道一道の出品物を充滿せしめて四百點其他即賣品がザット二萬五千點合計四萬點の出品であるから其地方地方の特色ある商品を網羅し得るものと信ぜられる、殊に今回の目的は前にも謂ふ通り其場限りに賣り盡せば事足るとする主義でなく、汎く廣く其販路を擴張せんとするのであるから何れも原價販賣である、殊に北道地たる慶尚北道にありては移入税を廢し內地の移入する有税品假令ば織物、酒類の如きは出品税、移入税等を免税せられてあるのであるから其價は殆ど原産地に於ける原價と同樣のものであると云ふ事が出來る斯かる目的の下に陳列せられた商品の中には或は將來朝鮮に移入して相當の利益あるもの發見せられようし又朝鮮より內地へ移出して案外利益の擧がる商品も發見せられやうと思ふ、又陳列品其物を買收しても關稅等の利益は充分見られる筈であるから內鮮人の各商賈に志す人達はこの機會を利用して是非一度參觀して欲しいものである、今回の全國特産陳列大會は朝鮮に於ける第一回の試みであるから其成功と否とは常に當局の面目の如何のみに止まらず延いては將來斯の如き催しをする場合朝鮮の利害關係をも考慮して萬遺憾なき成功を期して居る云々

平南水稻豫想高

前年より八厘方增收

【平壤】平安南道に於ける水稻收穫豫想は一部水害甚だしきものありしも一般に成育良好で收穫豫想高四十九萬五千二百三石と觀測されて前年實收高に比し約八厘方增收である、之れを郡別に示すと鎭南浦三一五大同郡四二、四六六順川郡二二、七一二孟山郡三〇五一陽德郡一、九七五成川郡二二、一九〇江東三、二〇〇中和郡三六、四五五龍岡郡七五、四四〇江西郡七七、五三八平原郡一三六、六五六安州郡七八、二四一价川郡八、八一八德川四、一〇五寧遠一、九四一

光州稻作增收

【光州】光州郡本年度の稻作は七月初旬頃より天候恢復して生育佳良出穗概調である之が收穫豫想高は十四萬四千九百餘石で前年に比し約二千石增收の見込である作付反別は一萬二千七百二十六町六反で昨年に比し四百十町四反の增加である

在滿鮮人保護の 鮮人保民會廢止？ 過去の實績に鑑みて 新に保護機關設置乎

【安東縣】滿洲移住鮮人の逐年增加に伴ひ我が當局では之等鮮人統治上の保護政策として去る大正十年二月以來滿洲各地に鮮人保民會なるものを設け土地居住鮮人の有力者をして支部長に任命し其天總領事之れを統轄して相當の補助金を支給し專ら統治取締の治績に努力し今日に至つたものであるが如何んせん不逞團の潜入跋扈と支那側機關の不備に乘じ北滿並に上旅方面の各支部は全然其機能を發揮する能はず寧ろ彼等不逞團は其襲擊目標を之等の保民會に向け益々暴威を逞しうする狀態で保護上反つて支障を來す場合が尠くないので昨年來當局では之が改廢につき研究中の由であるが、場合によりては此際之れを在滿各地の朝鮮人會の手に移すと共に名稱を改め總領事の直接監督の下に置くことに昨年四、五月頃より改正さるゝであらうと

蠶業基本調査

【淸州】淸州郡の蠶業は從來農家戶數に對し其飼育普及の比較的少きは種々なる事情によるも本道の如き農桑適地なる耕地を有する地域に於ては其指導獎勵につき徹底を缺くの憾なきにあらず其他の桑地に利用すべき土地の乏しきは斯業の發達に障害を與ふる事少くならず然るに今や絲價の好況に伴ひ蠶業の有利なるを一般に周知せらるゝ、此機會を利用して徹底的獎勵施設を斷行する爲め全道に亘り蠶業基本調査を行ふ事となり之が準備として本年七月より係員に於て研究調査中なりしが愈々二十二、三の兩日間各郡蠶業技術員を道廳に召集し之が打合せ會を行ふた

學校新築懇談會

【平壤】平壤府に於ては東部大震災の影響を受け新規事業は全部見合すことになり從つて鐘路普通學校の新築も延べの餘儀なき破目に陷つてゐるが既に敷地も取得し工事に著手した今日工事を延べる時は益々兒童の教育に差支へを生ずるので其善後策講究の爲め六日同校學務委員會及び學父兄會を府廳樓上に招集して懇談會を開いたるところは此際學校の新築工事だけは中止しても之に著手するその代りに財源に困るから鮮人側有力者に於て相當寄附金を募集することになるらしい

忠北衛生狀態良好

【淸州】忠淸北道管內に於ける衛生狀態は本年は酷暑の烈しき割合に傳染病の發生平年に比し著しく減じ衛生課や病院などでは稀れなる手持無沙汰を感じた程である本年度の累計は腸チフス二十一パラチフス十二發疹チフス三チフテリヤは稀に淸州にありて三十五猩紅熱は陰城淸州に多くして百六猩紅熱三赤痢十六であつた而して現在に於ては何れも殆ど終息の狀態で八月末に於る腸チフス淸州內地人一鮮人三チフテリヤ永同鮮人一猩紅熱忠州二パラチフス槐山鮮人一である

銀行の營業時間を延長せよ 三時限りは取引上に支障多し

仁川商議會頭　吉田秀次郎氏談

【仁川】這回の關東地方大震災は國家の損失は言はずもがな經濟的に精神的に大なる打擊を與へたため人心に動搖を來たすに至つたが一時の秋に沈著したので此の際國民は寧しく緊褌一番擧國一致誠意を披瀝し帝都の復興と國家の基礎確立を期せねばならぬは當然の義務であるが其の實績を擧げんとすれば先づ手段方法を講究せねばならぬ由來仁川の如き純然たる商業地に在つては時局以來一般に緊張氣分が濃厚で此の際宜敷く自重し一層健實なる商取引に後顧せねばならぬ、今日痛切に必要を感じて居るのは銀行の營業時間の延長である元來午後三時を限度として居るので往々にして取引上一日を餘計に空費する事があるために莫大の損害を蒙つて居る是を若一時間なりとも延長したならば斯る弊害は未然に防止し最も圓滿なる取引を行ふ事が出來る此際に於る最も機宜の適策と信ずるのである殊に震災後は浪費を省くと共に金融梗塞の影響は事業の衰退を來して居る此の時一般の第一の要件として結局繁務の分量を增進し多く働き多く利害を占むる事を考へねばならぬ『銀行は總督の許可を得て營業時間を延長する事を得』とあるから之れが輿論となつて實行を叫ぶ時は案外容易に實現し得らるゝものと思ふ

元山商議評議員候補者 紙上豫選委員會（六）

座長伊藤＝委員江藤、佐藤、後藤、齋藤、加藤、

小林儀三郎君

伊藤『小林君に附いての御意見は如何です……』

齋藤『小林君は全くの新人です、昨年豫選の際も公友俱樂部から推選を受けた由であるが何故か問題にして受けなかつた事であります今回も亦同俱樂部の推選を受け、此度は快く之を承諾し其公認候補として名乘りを揚げ旗幟鮮明堂々として運動を試みて居ります、先代儀三郎氏の苦心の結晶になる數十萬圓の遺產を相續し亡父の名を繼いで二代目小林儀三郎となり貿易商を營み元山で第一流の實業家であります、早稻田大學商科の出身で年齡は三十、候補者中の最年少者であります、公人としては全くの初舞臺で從つて其手腕等は全然未知數でありますが、新時代の教育を受けた新人として必ずや大に爲すあるべきを信じ私は同君に多き期待を以て居ます……』

江藤『我黨は商議に對する時に』も言つた通り大體に於て『新しき時代は新しき人即ち若き人に依つて料理せられねばならぬ』との意見の所持者である、此意味に於ても新しき教育を受けて時代に理解ある小林君の出現は最も歡迎する處である、其手腕に至つては齋藤君の言はるゝ如く全く未知數に屬するけれども然し同君の如き世間一般の輕薄一樣な用鈍な金持の坊ちやんでは決して無いと信ずる、々當選の上は遠慮なく新智識を活用して元山の爲め十分に盡して頂きたいと考へます』

伊藤『適任であると十分に斷いて頂きたいとの兩君の御意見でありますが他に御意見は！（ありません）全く同感です、ヒヤ／＼と言ふ者あり）』然らば好適任者であると言ふ意見の一致を見ました』

鳥居千三郎君

伊藤『同じく公友俱樂部公認鳥居君に付いての御意見は！』

後藤『同君は元の元山商業銀行取締役で同行が過般朝鮮商業銀行と合併して其支店となつてからは新に常任監査役となつて主として元山及咸興支店の行務監査の任に當る事になつて居ます、從來餘り公職には出て居ない樣でありますが元山の經濟界に於ては長く隱に一方の勢力をなし元山發展の爲めにも相當努力して居ます、元山目下の不振は種々の原因もありませうけれ共金融の梗塞と言ふ事も確かに其の一因である事は爭ひありません、此の際に當つて同君の如き此道の經驗者を得て金融經濟上相當の調査研究を遂げ之が圓滑を計るため努力して貰ふと言ふ事は會議所としても誠に必要な事であらうと考へます、頗る適任者と考へ其出馬を歡迎します』

加藤『後藤君の御意見も尤もと存じます、其上鳥居君は溫雅なる風采と共に閑雅洒脫の者性其人格も亦立派である、而かも義理を重んずる處きは其處的態度に見ても察する事が出來ます誠意努力を願ひたいと存じます』

伊藤『他に御發言も無い樣でありますが諸君も同意見と見て差支へありませんか……（差支へ無し、同意見と言ふ聲あり）承知しました次に移ります』

共進會中の 市街裝飾は各町の任意

【釜山】水產共進會開會中の市街裝飾は各店舖の自由裝飾以外に電燈線路及會場間の大道路筋は協贊會に於て一間口につき約四圓平均の豫算にて晝夜兩樣の裝飾を施せしむる筈であつたが無裝飾街路關係町內との釣合其他の點もあり且各町內に於ても目論見等もあるらしいので豫定を中止し街路裝飾は一切各町內の任意たらしめ其代り協贊會にては一間口に對し一圓の補助をなすことに二十五日共進協贊會各幹部の打合會で決し尙此外左の各項を決議した
大正公園第一會場第二正門入口にある六つ塔（廣光塔）取除く事
第一會場內第二正門より噴水に至るまで電氣裝飾を爲すこと
第一會場海岸石垣附近をも同樣電飾すること
演舞場にも百燭光二十燈を點ずること
觀覽席中央に一千燭光を點ずること
演舞場內にて活動寫眞映寫の事
花壇の工事に著手すること
第四會場表面に大アーチを設くること
幸町廣場に歡迎門を作ること

大邱納稅宣傳

【大邱】大邱府の納稅成績が香ばしくないので業を煮やした府稅務課は二十五日の仲秋節即ち八月十五日の朝鮮祭を見當てに自動車を府內に驅せ納稅宣傳ビラ一萬枚を撒布したと云ふ、納稅は國民の最大義務と云ふ是でも効果がない時は二度でも三度でも宣傳をなす相である

群山築港問題は 極力運動繼續に決す

【群山】群山築港期成會と群山商業會議所は多年の懸案であつて府民一致の努力と朝鮮當局の援助に依つて近く其實現を見るに至るべく豫想された群山築港の計畫は震災の爲如何なる影響と運命に陷るかを憂慮して二十四日午後二時から群山公會堂で築港期成會委員と商業會議所評議員の聯合協議會を開き慎重審議の結果研究と今後の方針を決定した恰も當日裡里商品評會に臨席した齋藤全北知事の來群に際し協議して府民の意見を求めた處所期の目的を貫徹する爲め極力運動を繼續することに決定したと

安東民團廢止

【安東縣】安東行政統一に關する民團移管に就ては過般民會に依り

大田面長辭職事件 神輿の如に擔ぐ連中もあるが 結局希望通り辭任？

【大田】大田面長渡邊賀治氏より提出せる辭表に對し伊藤郡守は廿六日午後一時卅分郡會議室に面協議會員の集合を求め意見を聽取した、山本副會長、臨田學校組合出納役も出席し兩氏が辭表提出と同時に渡邊氏を訪問したるに其辭意は家庭の狀況等より仲々堅かりし旨を報告するや安宅氏は此の辭表提出の動機が神輿の不祥事件に基因したるものなれば此の際一時たりとも留任を希望する旨を述ぶ、活田氏は面長としては死に場所として好適の時機であれば辭職を認容すべしと述べ各自相當の意見ありたるも議員としては今日何れとも決定せず學校組合議員の同意を得て留任の意志を堅むる事に決定したるが之を聞きたる學校組合議員中二十四日會議に列席し辭職を認容する事に決定したるもの中田邊理市氏を除くの外は全部吾々は一度認容と決定したものに對し留任の意志など聞く要なしと激昂し居れば到底團藏の步調は困難と觀測されて居る而して安宅氏の說く如く渡邊氏が神輿の不祥事件に關係あり其の責任上辭職するものであるとすれば這は由々敷重大問題であつて渡邊氏は當然刑法上の責任を帶ぶべきであるとの議論起り折角渡邊氏を擁護せんとした說は却て渡邊氏の不利益と成つゝあれば到底留任說を消色するより外に道はない模樣である

大同江の 特殊魚族研究

【平壤】總督府牧ノ島水產試驗場長理學博士脇谷洋次郎氏は廿六日午前十一時特急列車で來壤大同江に產出する特殊魚族の研究の爲當分柳屋ホテルに滯在すべし廿八日には鐵道汽車に向ひ下流の狀況視察を行ふ筈

全州神社大祭

【全州】全州神社の秋季大祭は來る十月十四五の兩日を期し毎年嚴々敷く執行するのだが今年は關東地方の大震災のため之が善後策につき二十二日午後八時から全北公會堂に氏子總代各町總代等會合し協議した處に依ると十四日は前夜祭を十五日午前十時から祭典を大祭を執行するが例年の如き神輿の渡御を中止し多佳亭廣場に兩夜共子供角力を催すと而して市內各戶は御神燈又は辻燈籠を揭ぐることにしたと

仁川俱樂部會例會

【仁川】仁川俱樂部會では二十九日午後六時から山手町公會堂で例會を開き新に仁川機關庫主任齋木鹿次郎氏入會すべしと

蠶兒雌雄鑑別成績（下）

片倉組大邱製絲所丸山喜代二氏談

【大邱】以上の成績に見るが如く練習日を重ねるに隨ひ鑑別技能の進步は最も急速であつて、第三講座の最終日に於て誤謬率は百分の四、五六、一時間の鑑別頭數は四百五十八頭に達した、而し講習生に對して視力の檢査を行はなかつた爲めに、鑑別技能修得に困難を訴へたもの二名あつたけれども他の者は正確を旨として速度に驚きを措かぬ事にさへすれば當地鑑別作業を爲さしむる事が出來る、殊に講習生中十名は誤謬率百分の一以下速度一時間五百五十頭以上に達するに至つた講習終了者中成績不良の者及家事上の都合により出勤出來ざるものを除き三十五名を鑑別手として採用し片倉製絲所本所及分場中達城郡解顏面東村に於ける分場十一戶に就き蠶兒分離の作業を行はしめた其方法は鑑別手を四班に分ち各班に監督一名、指導者一名を附し監督をして作業の監督をなすの外成績の調査其他各般の統一を圓滑ならしめ指導者は鑑別作業及び鑑別の指導をなさしめた、講習期間中講習生には相當料として一日五十錢を給與し、鑑別手として採用したる後は日給一圓乃至一圓五十錢を給するの外就業全期に於ける成績誤謬率千分の五以內にして且一時間の平均鑑別數七百頭以上のものに對しては其成績に從ひ特別賞金を與へ且皆勤者に賞金を與へた、講習終了後直に修了生を鑑別手として採用したのであるから、鑑別の誤謬を防ぐの必要上、就業の初期は絕對に速度の競爭をなさしめず、初期に於ける一時間の鑑別頭數は、約四百五十頭にして甚だ速かならざれども誤謬率は平均千分の五を示し次第に熟練するに及び速度も進み一時間平均鑑別頭數九百十三頭を示すに到つた而し此の誤謬率は就業の後期に於て稍增加の傾向を示した今全就業期十二日間の中初め三日間及終了前三日間の成績を示せば
初三日間鑑別手數二十四人鑑別時間二百七十一時十三分鑑別總頭數十二萬一千三百八十三頭
終三日間鑑別數三十三人、鑑別時間二百三十七時〇三分鑑別總頭數二十一萬三千百九十四頭
鑑別全期に於ける成績を見るに東村及東村に於ける分場十一戶に於ける飼育蠶種總頭數二百五十萬頭中鑑別手三十四名が十二日間に鑑別した頭數は實に百八十七萬頭であつて、他の十八萬頭は本所研究生の實習として鑑別分離せしめたのである、之を總評として述べんに
一、講習期間は三日間を以て略ぼ其の目的を達するけれども更に一日を延ばして實地作業と同樣に多數の蠶兒を取扱はしめ練習をなさしめ一時間の速度平均五百頭、誤謬率を千分率迄進ましむる事を要する
二、講習生募集をなす時は年齡十六歲以上二十五歲以下とし高等小學校卒業以上のものたる事及び視力完全なるを要す
三、教授上の學科は凡て大要に止め實習に重きを置く事單純なる實習なるが故に講習生を倦ましめざる樣に基本教育を終りたる後は適宜競技的方法を以て習練せしむるを要す
四、講習生は成るべく製造家所在地附近より募集するをよしとす（以上）

大田大隊檢閱

【大田】平壤第八十聯隊長は第三大隊第三期檢閱の爲め二十六日午後五時三十四分大田驛着列車にて來田し渡邊旅團長には之れが檢閱の爲二十七日午前一時四十分着列車にて來田二十七八の兩日檢閱を施行した

水產共進會役員會

【釜山】水產共進會並に同協贊會の準備は其の通り著々其步を進め各會場は全部竣工を告げ噴水、音樂堂、演藝館等も九分通其工事を進めたので二十九日會場設備の實況視察旁々釜山府內に居住せる協贊會役員の會合を催し從來の經過を報告し併せて開會に備ふべき各般の準備其他につき意見を徵する筈である

臨時行調委員會（安東縣）

行政統一調查委員會では去る二十六日午後七時より民團役所に於て協議會を開き本年度缺損金の處分財產の處分方法其他行政統一に關する一切の件を附議する所あつた（安東縣）

釜山繁榮會總會

【釜山】釜山繁榮會では月例會は廿五日午後七時から加茂川にて開催來會者約五十名に及びたるが席上飛鳥理事官から震災損害の事に關し詳細なる經過報告其他あり九時過ぎ散會した（釜山）

地方人事

▲古川三郎大佐（第卅師團參謀長）國境視察の爲め廿五日朝來新同府歸任（新義州）
▲濱山商氏（第卅師團經理部長）經理事務檢閱を終へ廿五日府歸任（新義州）
▲安藤袈裟一氏（平北道警察部長）廿五日出發（新義州）
▲福田正雄氏（同警務課長）同上
▲後藤生七郎氏　東京滯在中今回の震災に遭難し十九日歸鮮、事業關係上取敢ず全州に入りたるに翌日より病臥し目下全州自宅にて靜養中快復次第京城の豫定（全州）
▲金英武氏（慶北道參與官）二十二日付文官普通懲戒委員を命ぜらる（大邱）
▲武井健作氏（同理事官）同上（大邱）
▲中村寅猛氏（慶北道財務課長）廿八日より醴泉外二郡へ出張（大邱）
▲吉田甲巳氏（大邱商業會議所書記長）釜山へ出張廿五日歸邱（大邱）

鞄─靴─洋服
大田監獄調製 學生服販賣開始
學生靴 特價販賣す御入用の方は御一報次第市內は店員拜趨可致遠方の御方には型錄送付可仕候
學生鞄
京釜線大田春日町一
製造販賣 朝鮮革具合資會社
長電話一七二番 振替京城九八〇七番

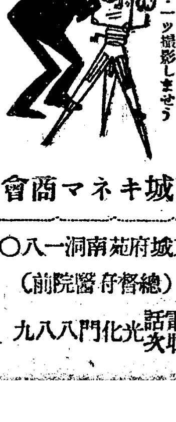
銘酒朝の花
大いに威張つて御愛用下さい
內地酒に變らぬ處に朝の花の特色が現はれてゐます
釀造元 朝鮮論山 酒造株式會社
朝鮮 京城黃金町三丁目 京城出張所 電本局二一九七番
販賣店……各地信用ある店に在り

英國製毛糸
專門發賣元
京城府明治町一丁目
米倉毛糸店
電話長本局一三三四番

資本金 壹千五百萬圓
積立金 繰越金 貳百拾六萬圓
株式會社 十八銀行京城支店 京城府黃金町二丁目 電話本局六〇一・四・八番 振替口座京城一八四番
同 新龍山支店 京城府漢江通り十三番地 電話龍山五五〇番 振替口座京城一八二三〇番
同 龍山出張所 京城府元町二丁目 電話龍山一八番
銀行一般ノ業務ハ勿論確實ニ取扱可申又京城支店及龍山出張所ハ株式會社長崎貯蓄銀行ノ代理事務取扱申候

內科 小兒科 今村醫院
京城若草町大通り
院長 今村豊八
入院隨意
電話一八三一番

文明の利器活動寫眞
ナント云つても現在は活動寫眞の世の中です未曾有の東京震災を逸早く有のまゝを遠い土地で遺ふ人々に知らしめたのは何？教育用に宣傳用に否商業政策上文明の世になくてはならぬ者は何？共進會も近づいて來ました店の廣告を今度は是非キネマ商會へ行つて活動でやりませう
活動寫眞の機械材料品瓦斯用器具等も皆な揃つて居りフヰルムも色々とあり尚又何時でも出張して面白く撮影して呉れる店は京城キネマ商會の外にありますまい蓄音器もツバメ印レコードも澤山にございます



京城キネマ商會
京城府南苑洞一八〇
（總督府醫院前）
電話光化門八八九

招待する者される者

食卓の作法と注意

赤堀峯吉

西洋に歡迎會、送別會、祝賀會其他何々會と云つて、親戚知友を招きて食事を共にする事有る如く、歐米各國にも左樣の會合が有りまして、誠實の裡に食事を共にし上も下も睦む和親の者は近づきに、知己の者は一層親密になるの會と致します。然して此等は何れも正餐と云ひまして晝の時は午餐と云ひ夜は晩餐と云ひます。

人を招待するは 多く晩餐の時で、會食の場合は矢張我國と同樣に料亭の場合と自宅の場合が有りますが、概して自宅に招待する場合が多いのであります。次に述べますところは晩餐會に於ける、招待する者並に招待される者の作法及心得で、フランス式の標準になる可きもので御座ゐます。先づ

招待する者は その七八日前に招待状を發して列席の有無を確めるので御座ゐます。招待される者は出席を承諾致しますれば當日定められたる時間迄に必ず出席すべきもので、當日に至り急に缺席を申込んだり、時間の不正確は特に愼む可き事で、兩者に支障を生じ、殊に他の來客並に招待者に失禮になります。歐米人の時間の正確なるは感心の外なく、我國に特に西洋時間なる言葉の有る事は遺憾とする所で御座ゐます。接待室に這入りましたら、紙袱きで下駄に靴を拭ひ、應接間に入つて人數の揃ふのと招待者側より「どうぞ食堂へ」との挨拶を待ちます。

自分の席には 名札が置いて有りますが、大勢の場合には「食堂の入口に席順と云つて、席順を示す掲示板が出て居ります。是に依つて、自分の席を探し、椅子の後に立つて、一同揃つてから腰を下すので御座ゐますが、何等の挨拶も入りません。極小人數の時には席順も名札もなく各々に案内されることがありますが、此の場合は決して遠慮せず、進んで案内された席に着いて宜しう御座ゐます。

席に着いたら 直にナフキンを掛けるのですが、男子はチヨツキの中央に其一端を挾んで膝の上に廣げ、婦人は帶に挾んで矢張膝の上に廣げます。敢て食卓に附つた時のみとは限りませぬが、椅子は深く腰を掛けて姿勢を正しくし、體と食卓との間隔は一寸乃至一寸五分位にするのが普通で、卓に肱を突いたり、足を組んだりするのは不可ません。食卓には既に各自の前にナイフ、フオーク、コツプ等が配置され居り、此の位置は、常に一定のもので、規則といふても宜しう御座ゐます。一同支度が出來ますれば、

最初にスープ が運ばれます。西洋料理又は給仕人は何物を出すにも客の左側より出しますもので、右側よりする事は絶對に無いのではありませんが、原則として左より出すものと心得て居て差支有りません。そこで右側の匙を右手に持ち、左手にて皿の手前の方を輕く持つて匙にて先方に掬ひ匙を斜にして音のせぬ樣に靜かに吸ひます。スープが少量になりましたら、皿の手前を持ち上げて先方に集めて水たまりを拵へ、尖端な形のたまりの一端より突き込みて掬ひ矢張り前の通りに頂きます。此の際に致しますと、スープは一滴も餘さず掬へますので、此の時も匙が

皿に當る音を 立てるのは好く有りません。吸ひ終りましたら匙を上向にして、皿の上に自分の胸と並行に置きますと、給仕人は、此の時も左側より下げます

感想

夜

新らしき村　柳井隆雄

懷かしいレムブラントの繪を偲ばせる夕映の頃、一日の勞働を終つた私は大抵きまつて湯に浸る、湯をあがつて輕い疲勞と讀書前の睡さを落着ける爲に机の前に身を横たへる、ジリ〳〵と頸から顋からいつ迄も湧き出る玉の汗を冷たいタオルで拭ながらうるさく飛び廻る蚊や蟖を追ふ間にいつかお定りのうた、瞑に落込んでしまう、不圖眼が覺める、部屋の中が不思議に明るい薄赤く貧乏臭い洋燈の光りではない、何んとも云へない清淨な天國の明るさだ、私は夢の中の人の樣に不思議さうに起き上る私の眼前には机がある窓がある空から十五夜の月が優しく照つてゐる、こゝで私は現實の平凡な一人の人間に還る、そして人間らしく空を仰ぐのだ。

沒みきつた天空なだらかに連なる山々の曲線明るい空を背影として點々とキの字型に透いて見える松の木立、この單純な線と淡い色彩に包まれた自然の朗かな感じ、それはどうしても日本のものであらねばならない。シヤヴアンヌの描く纖細な落着いた夜の色調ではない、飽までも廣重の描いた優美な我々の國土である。廣重があの單純な線一つのうちにかくまで眞實なる美を表現し得た事は我々の驚異に値する。私の感じ方の幼稚さを嘲る者は嘲れよ。

× × ×

春夏秋冬、いつでもいゝ、あなた達は澄んだ天の星を仰ぐ時の清淨な澄みきつた平和な心持を味つた事がありますか。既に味つた經驗を持つ方は幸福な人です、未だ經驗を持たない方は不幸な方です。悲しめる者、苦しめる者、怒れる者、不平なる者、僕はお勸めする一度星座の下に立つて空を仰いでごらんなさい、と。神秘な美は必ずあなたを和げ、慰め、勵め、平和な聰明な解決をあなたに與へて呉れるに違いありません。

夜の空、夫は何とも云へない透明な崇高な自然の調和だらう、そこでは總ての魂が和げられて默つて來る

金柑

藤川淡水

蜜柑が月夜に
やゝらんで
やゝらんで
お寺の坊さんに
あづけたら
あづけたら
お寺の坊さん
そのやゝに
そのやゝに
金柑小僧と
名をつけた
名をつけた

讀者文藝

詩

黎明

石川喜代治

今大地は大きく波うつ
ゆら〳〵地殼より精氣が
そして、果てない蒼穹の
ほのかなる黎明に、藍色に澄い
ペルセウス、カシオペアの諸星座は
壯嚴な朝の祈禱に漂くかゞやく
中空に殘つた半缺月に
葉影も戯し
サロ〳〵
その蔭に又屈む私の心
悲しい曉歌のメロデー
燦爛！
心地よい匂ひ、大地の精氣よ。

あらし

鈍い曇りの午後のひかり
私が少量の酒で醉つた時には
いつでもこんな感を懷く
（もつと、どうにかならなければ…と）云ふ樣な焦燥を…
あらしを含んだ風が
樹葉を思ひ切り擦り伏せた
そして、次の私には
恰度私の心を誰かに打つのめされた時のどうせうもない鬱血が
脈うつてゐた
私の見ゐる周圍のすべては
今何かを頼らうとしてゐる
私は私自身の心に……
併し强い風と雨が
波頭の如に大ゆれにゆれてくる
時に、
白い稻交と、壓しつける如な雷鳴とが、
立樹と私の心を幾度も過ぎゆく
うちに、
私のもつてゐる（長い間かゝつて育くまれた）思想も
一緒に亂舞を始めた。
「心安い、樂ぐつたい歡樂だ。」
「思想の激流だ。」
私自身の……
それが自然のあらしに、
妥協しやすい人間の思想が、
全くその中に捲き込んだのだ。
併しそれは私達本然の
何日かは自己のものになる强い
意識なのだ。
その時、私は
嵐の雰圍氣にある私の思想が、
否、私の思想が一番正しいんだ
と云ふこと、
又それが一番强いと云ふことを
知つた。

もだへ

紫星

すき透るやうな肉體の健康を願りながら
生命の懷疑と、想像のおのゝきに
いつも
『前進』の戰ひに
痛ましき敗北の逃走者となる吾魂！
何處にも
新らしく正確な思想は
朝紅をいだき、金色の花を咲き開し
秘密の智慧に香立たせ
吾が混亂に力を注ぐ。
この永遠と刹那に
死と、地獄の暗黒は重復し
疲勞せる感情の墜ちゆくところ
に
いつ閉ぢ込むる
虚僞の解義が待つ』

月の亂舞する宵

深くおほきな懈怠の夜――
私はにほやかな印象の岸邊にたゝずみ
恐ろしき美のみち溢るゝ感觸に
ふれ
ゆる、ゆる流るゝ
水の上の暗と光の燦めく
月の亂舞を身惚る。
ひそかなる黄金鱗片は
別離に愁、微笑みに抱き
ひとゝきも空虚なく
愛情のアンニユイをとほざけ
その人魚の蒼白き秘密の情感と
胸壁の冷たさのうちに
透明な時と、黒き陰影をすゝり
そして華美な、
黒き悲哀の翼をひらき
音色淋しき風を送る。
私は身に泌るこの影と光線の
網模樣の中に溶け込み
洗練された、古くまた新しい
水底の月の亂舞の上に
色と音をこぼしながら
美と思想との讃仰を
夜のしんみりとした
大氣の中に遊散する。
この蒼やかな
八月の水の反映するところ
朗かなる調和と
たつぷりとした美の幽情に染まる。」
一九二三、八、二〇

童謠

小石

櫻井五年　原田正平

野道の中で
つまづいた小石
コロコロコロコロ
ころがつて
若草の新芽をふむな

なくした下駄

あした天氣になあれ
下駄を投げたら
なくなつた
さがしてさがして
見つからん
空のかうもり
みつけた

すゞめ

櫻井五年　作元正義

すゞめちう〳〵
よくなくね
そんなになくと
のどはれる

投稿歡迎

本欄は時々讀者の文藝を以て評することがありますので、讀者の自由な文藝作品投稿を歡迎致します。
▲原稿は十五字詰で明瞭に
▲出來るだけ短いものが結構
▲宛名は文藝研究のこと
▲童謠、童話、自由詩も加へます

◇スケッチ◇

多田毅三作

童話　桃色の小島と綠色の小島（上）

三條美登里

さあ皆樣。兩手をお膝に乘せて皆樣の目を閉ぢて下さい。そして私の云ふ言葉で皆樣の頭の中に美しい世界を作つて下さいな。

それは小さな島でした。目路す限り何も見えない大きな海の眞中に、チヨピリと落された樣な形の島でした。大きな海は空の果てまで續く青でした。こうした眞中に有る二つの島、その島の周圍にはどぶんと碎けてサーと引く波が白い飛沫を散らしながら邪魔者の島に戲れてゐました。

それは小さな島でした。だけど一足其島に足を踏み入れた人はきつと驚くでせう。何故つて、柔かい綠色の草は絨の樣に足を撫ぜます。青いビロードの樣な葉をした樹がこんもり茂つてその幹は銀色に光つてゐます。オレンヂ色の實は足許に落ち、葡萄の樣な紫色の房からは紫色の露が滴れてます。色も知らない花が咲き未だ見た事も無い實がみのり葉が戰き幹が光る、こんな美しい島ですもの、ダイヤモンドの樣に輝く花の三角の葉は風の顫る毎にチンカラリンと鳴ります、ルビーより尚赤い實は幹から白い手を離して草に落ちる時は赤い踊り着の子供が舞ふ樣に見えます。なんて美しい島なのでせう。たけど……だけど此の島には動物が見當りませんでした。美しい蝶も可愛い栗鼠も赤い小鹿も……しかし今匂ひの高い白い花の蔭から圓らな瞳をパチリと明けた者が有りました。それは桃色の羽と眞赤な嘴と脚とを持つた小さな鳥でした。この島中で唯一羽の生き物でした。

幾千里も陸から離れた此の島に小さな翼で如何して來たかはその赤い鳥でさへ知らないのです。鳥は唯獨りでした、青い海を見、美しい花陰で憩み、眞珠の樣な夢を綴び、おいしい實を食べ、綠の草陰で飛び幾年を幸福に暮して來ました。けれど花にも木にも草にも鳥の言葉は解りません。鳥は默つて暮してました。きつと鳥は寂しかつたのでせう。お友達が欲しかつたのでせう。時々遠い海の果てをジツと見詰めてゐましたもの。

或る日……朝でした。鳥は眞赤な細い脚で草を踏みながら岸を歩いてゐました。水はどぶんと緩やかに來て草を濕し赤い脚を濡らして逃げて行きます。

『アツ』靜かに歩いて居た桃色の鳥は突然叫びました。そしてその圓な黒い眼に澄んだ目を据て立ち止まつてしまひました。一疋の鳥を見付けたのでせう。――二分――三分――も經つてから小鳥はやつと恐ろしげに近付いて行きました。其處には草と同じ色をした鳥が居たのです。それは青い美しい小鳥でした。瞼を閉ぢ胸毛を草に埋め弱らせて苦しさうに臥して居る小鳥でした。

『どうなさいました』桃色の鳥は生れて始めて聞ひました。暫らく喘いで居た鳥はやつと綠色の嘴を開いて『私に食物を惠んで下さい』と一言。やがて、桃色の鳥は紫色の葡萄の實や赤い苺を運んで參りました。ひとりぼつちの桃色の鳥にもその日からお友達が出來ました。

× × ×

『それからどう遊ばしたの』白い花の蔭で赤い實を啄みながら桃色の小鳥は首を傾けて聞きました大分元氣を取戻した綠の鳥は美しい羽を遙か沖に投げて、それから

『お姫樣はその夢を御覽に成つてからは病氣みたいに欲しい欲しいと仰言るの。それでお氣に入りの家來の强い私が探しに出ました。虹の七色と人魚の唄を秘めた幸福の寶石を探しに……飛びました、飛びました。金色に光る宮殿を後にして綠色の草に別れ、燈臺に別れ、かもめに別れ、黒いゴンドラに別れて十日、毎日毎日紺青色をした海ばつかり、昨日、昨日、昨日だと思ひます、血の樣に流れてる夕燒の中に萬一寶石が秘されてるのでは無いかと思つて金色と橙色に光るその奧をじつと見詰めた瞬間目が眩んで眞赤に夕燒けの映る海に落ちました。その後は何にも知りません』美しい綠色と桃色の絨の樣な睫毛が風に慄へます。桃色の鳥には解らない言葉が澤山有りました。しかし默つて綠色の小鳥の話を聞いてゐました。

通俗太閤記

二百五十回

松林伯知講演　加藤由太郎速記

乙『誠に恐れ入りました、金の要ると云ふのは外でもございません、私は此の織り龍村といふ所に住居をいたす又藏と申する者、一人の母が長らくの病氣でございまして、色々に治療いたすと云へど、母の病氣重態になり、醫者の申すには人參鰥を呑ませねば恢復の程思ひも依らんといふ事、人參を取りまするには懷へ母に與へる事能はず、如何いたして金策をと只今此の並木へ掛りますると之なる者が金を投げ出し、宜い心持に前後不覺、ア、金が欲しい、此者に頼んで此金を借り、人參とやらを求めて母に與へなば、假令死すとも施すべきことをいたして母の死するに於ては我心も快よけれ、萬一の事あらば此上もなき心殘り、夫故に其事情を申し借り受んと存ぜしが、何がさて返す的もなければ止むことを得ず斯くの始末に及びました處、貴所樣のお扱ひにて誠に恐れ入りました

虎『しからば其方が此者の金を申受けんとせしは親に孝行いたさん心よりいたしたのか、して見れば左のみ憎むべき者でない、然し見れば其方は一廉の物の役に立つべき者と思ふ、以來必ず斯る無謀なことをいたすな、之に三兩金がある、汝に之れを遣はす母に藥を與へ充分に看護をいたして遣はせ

乙『誠に恐れ入りました、併し見ず知らずの貴所より、斯う云ふ物を頂戴いたしては

虎『イヤ其の辭退には及ばん、之を以て充分母に養生をいたさせるやう

乙『有難う存じます』と該の男は大地に手を突き、母に藥を與へられると云ふので涙を流して喜んで居る

乙『シテ貴所樣は何れのお方で御座りませうか、お名前を伺ひたう存じます

虎『ア、左樣か、我等は隣領長濱の城主木下藤吉郎の臣、加藤虎之助淸正と申す者ぢや

乙『へ、ツ御若年に似合ぬ其の思召し、此御恩は生涯忘却は仕りません』傍らに聞いて居た身の丈六尺ゆたかの大男

甲『ア、恐れ入つた、未だ御若年のやうではあるが、實に只今の御働き、御武勇と云へ又此のお情のお惠み、御年長じ遊ばさば、必ずとも天下に名を成すべき處の御人、誠に今日のお計らひ恐れ入りました

虎『イヤ其方は名は何と云ふ者かは知らず只今又藏の申する處を聞けば尤もにも心得る、許してやんなさい、併し此のことより眞劍勝負をいたすと云ふは誠に穏かでない、以來は必ずとも何事も愼むやう

甲『誠に恐れ入りました、貴所樣が之れへお出で下さらずば、どう云ふことになりましたかも知れません、私事は周防大内の浪人井上大九郎と申する者、叔父は井上五郎兵衛と云ひ、小早川の家に仕へ居りまして、某を度々彼の家に推擧いたさんと勸めまするとは云へど、私仕へることを好まず、叔父の言葉に應ぜず、斯くの如く浪々いたして居りまするが、實に御若年には似合はしからざる其御思召、如何でございませうか、今日より改めて私を士卒の内にお加へ下し置かれなば大九郎犬馬の勞を厭はず御奉公仕る……如何に木村氏とやら端なき事より斯かる爭ひをいたし、既に命のやり取りをいたさんといたせし處、之なる加藤殿のために我々共命を助けられた依つて御家來に加へ給はらんことをお願ひいたす、貴公も仕官の望みあらば我等と同意いたし加藤殿へ仕へられては如何だ』井上の言葉を聞いて又藏が

又『イヤ井上殿とやら、名鳥は樹を選んで棲み、名士は名將を選んで仕へるといふことがある、斯かるお方に御奉公をいたし犬馬の勞を厭はず仕へなば天下に名前を揚げらるべし、願ふらくば大九郎同樣お召抱の程を願ひたう存じます』

新柄ネクタイ新荷着
柄自慢
明治町通り　富屋

染物洗張師　清水堂
京城府漢江通三　電話七五四

X光線の治病効果

X光線は感覺も無く、眼にも見ないが、病竈へ適確に潛入せしむると忽ち其獨特の作用を起して色々の病菌や病的細胞等を破壞して治病上偉效を表して來ます。然し若し其線の波長が病巢の深さに相當せぬ場合にはX線は病巢以外に發散されて全く無效と成るものですから技術の熟練に依て始めて偉效が表はれるので有ます

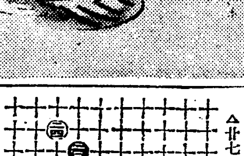
◇最も良い適應症は　るいれき。わきが。禿ね。肋膜炎。腹膜炎。にきび。水蟲。頭瘡な皮膚病。癌腫。肉腫。疣等ですから是等に困つて居る方は我社の物理療法へ來られん事をお勸め致し升

京城日報社代理部内
電話光化門四〇〇　六三

半島聯珠新譜（六）

先勝　初段　高岡可敬
初段　上原理作

△廿七珠



素玄評

△五定珠、六有力△九は十七に打つを定珠とす△十は十三の方強し△十六は『い』に直接叩き度し

▲正誤　△半島聯珠新局（一）局譜に於て右端一行と左端三行とは何れも全部一段下に來るものなり
△同（三）局譜の二十は十八と十二の間に入るべきものなり

九月二十九日

（舊暦八月十九日）
▲七赤▲暗劍西▲土曜
▲乙巳▲友引▲成▲柳宿

▼七赤▲油斷のならぬ日新事を見合せ自重して安全南と乾と艮が吉
▼八白▲何事もすら〳〵と片付く順調の日新計畫上首尾南と壬が吉
▼九紫▲何かと口説の多い日他人の世話事禁物北と坤と南と乾が吉
▼一白▲元氣發溂向上發展の日開店披露大口の商取引有利巽が吉
▼二黒▲諸事面白く渉る樣談求職金策其他何事にも大吉巽と乾が吉
▼三碧▲努して効なき日總て内輪に行うて安全盜難注意艮と坤が吉
▼四綠▲不利益な間違を持ち込まる日控目が有利北と壬と癸が吉
▼五黄▲順潮の叶ふ好運の日大いに進んで成功する乾と南と南が吉
▼六白▲穏かな日入學求職建築開業又は名弘に誂へ向き庚と艮が吉

關釜連絡船

釜山發	午前十時	午後九時三十分
廿八日	朝、昌慶丸	夜、景福丸
廿九日	朝、昌慶丸	夜、景福丸
三十日	朝、昌慶丸	夜、景福丸

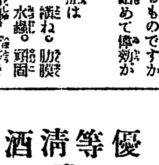
健胃　強肺
資誠堂製
ヤマダセイロガン
山田正露丸
發賣元　大連　東昌洋行
コレラ、セキリ チブス等ノ惡疫豫防藥
日露戰爭ニ征露丸ノ名ニ依リ知ラレタル胃腸病ノ特效藥ナリ消化力殺菌力偉大ナレバ無病ノ人モ常ニ之ヲ服セバ胃腸ヲ健全ニシ流行傳染病ヲ豫防ス
北鮮代理店、京城本町木村藥店　南鮮代理店　釜山辨天町　大黒南海堂　北鮮代理店　仁川　北島藥店
尚鮮内到ル所ノ著名藥店ニテ販賣致シマス

品質本位ノ
ホーコクセメント
京城南大門通五丁目
豊國セメント株式會社出張所
電話本局六四七番

西洋家具と室内裝飾
凡て豊富なる材料と熟練せる工人を以て
新味と低廉に努力奉仕す
商品目錄送呈

株式會社　熊平商店　京城本町

優等清酒



ワカマツ
一升瓶詰
朝鮮大邱府東門町
若松商會酒造場
電話長二一　振替京城一〇三七番

評判の醤油です
辻　謹之助

公認　生徒募集
京城自動車學校
姉妹校

……を議決することゝなり……止を議決した結果時節柄特に……日は從前通り十月十六日より十八日迄三日間である

……てゐるが……其内には熊本宮家へ……一枚一圓五十錢のものを二圓八十錢で

暴風雨オホツク海へ去る

……は銚子を距り……や、漁船にして航海中のものがあれば昨年八月二日の颱風の二の……

燒殘建物爆破

（東京電報）……の手に從つて……市内殘る所に其……中府内黄金町三の四〇番地の……（七五）の老人が子供を背負うて……

日銀手形再割限度

【東京電報】二十七日の樞密院本會議に附議の上緊急勅令として發布される筈の金融界救濟の日銀手形再割引は同勅令に依り日銀の蒙むる損害を一億圓限度として政府が保證する事になつて居る。

内地送金制限是非
某當局者の見解に就て
某有力實業家談

朝鮮銀行が送金制限を行つた際に種々物議を醸したのであつたが右に關し二十六日の貴紙上に總督府某當局談として「内地送金制限は當然」と題する記事が揭げてあつた夫に依ると内地送金の制限は資金の流出を防止する爲ではなかつたらしく或る一部の人士が然樣に解釋してゐるのは甚だしい誤解であると目做されてゐるやうだが然しながら送金制限といふ事實は其理由の如何に拘らず其結果から見て何よりも資金の流出を防止するに最も有効であつた而も其以外に如何なる效果があつたかは私達には解らない當局は又『之れは金融界の臨時に於ける處止むを得ざる處置である』と言はれるが民間には反對の意見を持する者もある之れは見解の相違で今更已むを得ざることである唯『爲替の方は全然自由で平日と異る所はない』といふ斷定には少々困る送金が制限されて大阪に於ける爲替尻の決濟が出來ない爲に否其決濟は何等かの方法を以て出來得るとしても、送金制限といふ非常手段に脅かされた爲めに大阪の方で荷爲替を組むで呉れないから閉口したのである要するに今次當局の臨時『金融の變調』に際して朝鮮に限り特殊の方策を講ずべき筋のものであるか何うかゞ問題として疑された點である

商工組合
取引上の申合

京城商業會議所では震災直接の影響ある各種商工業組合に對し夫々處置對策を採つてゐるが各組合の申合せ内容は次の通りである

材木商組合 木材商組合は當分震災前價格維持及決濟期は從來月一回なりしを二回とし該決濟に手形を以てせる場合は相當の日步を受くる事の申合せを發表した

食料品卸組合 現狀維持に極力し努力賣買は現金受授を主とし掛賣りの場合は荷渡後三十日以内に決濟すべきを申合せた

酒商組合 酒類は例年盛期に入り多少値上するを例とするも今回は當分現狀維持及び掛賣りに於ては代金支拂ひを荷渡日より三十日拂とし代金支拂に付いては約束又は爲替手形を受入る事を申合せた

以上諸組合の申合は何れも時節柄震災に對する其處置を採つて居らぬが商工組合等の諸組合では震災の申合せが價格の現狀維持を表明せる點に於て一致して居るのは時局に對する商人の誠意の發露と暴利取締令の脅威とに出るものであらう

生糸市場休會

【○○電報】十七日以來休業以來生絲……

殖銀貸出回收

最近朝鮮殖產銀行に於ける十二年一月より六月迄の貸付金回收高は農業資金を除き產業公共團體貸付丈けにて約一千萬圓あり之に對し上半期の貸券償還高は約四百三十一萬圓に達すると云ふ同年下半期の回收高は大體下半期は回收期にて良好なる見込にて又下半期の債券償還高は僅々二千萬圓內外見當にて積極的需要も增加せざる限り直に資金難に陷るが如き事はないと

京城勞銀昂騰

鮮銀調査八月中の京城勞銀は三十二種中昂騰十種保合二十二種低落皆無にて平均指數は明治四十三年七月を百とし二三四、五六に該當し前月に比し三分四六方昂騰した但し前年八月に比較すれば一割九毛五の下値である

商品市況

石炭（落勢）最近遞信局から大の浦塊炭を十五圓五十錢で購入したがそれが同局渡しであると云ふので同業者間に驚異されて居る貝島の該炭は稍々販路の關係上安賣りされると云ふのであるが官憲方面の購入した炭價に依つて觀察すると震災前と其の後とでは震災後の炭價は著しく低落して居ると云つてよい

火藥（軟弱）東京震災を材料として品不足の高唱へもあるかのようであるが供給は充分であると云はれ鑛用黑色火藥一貫匁七圓納來品一貫匁八圓と昨年より五十錢安である尤も一部にはこれより五十錢乃至一圓高唱へのものもあるようである、

バター（低落）内地關稅免除後は直輸は中止して神戸で輸入手續を濟して移入さるゝであらう關稅は產地證明のあるものは協定稅率により百斤二十七圓ないものは二十九圓六十錢であるからそれだけ値下りを見るであらう

綿糸布（保合）米棉一圓五十錢安銀塊不變なるも三品保合裡なり當地現物市場保合裡に弗々留行あり未だ金融關係にて投物的賣物一寸〳〵現る

粗布三ヱ二百六十六圓九龍二百五十八圓大エ二百五十六圓金鳳山二百三十圓金閣二百十九圓煙管二百十圓白頭山百七十五圓

細布飛犬（十三手）十三圓七十錢世樂島十二圓二十錢晒金巾進軍十三圓六十錢金鼎十二圓九十錢綿糸扇面（十六手）二百三十四圓双女二百十二圓晒木綿竹一圓十一錢棒一圓四十八錢

鮮魚（一張一弛）一張一弛はあれども大勢は軟調を脫せず商狀不振である

タイ四十圓小ダイ五十圓車エビ百圓モエビ七十圓小エビ三十圓シビ四十圓サバ十圓サワラ三十圓アナゴ十五圓ヒラメ十五圓タコ十八圓スズキ十三圓ハモ十五圓アワビ二十二圓ニベ十三圓マナカツヲ二十圓サヨリ四十圓イワシ十圓

雜記帳

▲京城に於ける食料品其他の商工業組合では震災影響に依る商品價格の暴騰を防止する爲め取引上の申合せを行つたが價格は飽まで現狀を維持するらしい▲仕入れ地の大阪市場が近來俄に活氣立ち一般商品がヂリ〳〵高步調を辿つてゐる併し薄利分が利いてゐるから目先需要激增で暴騰を來す虞れはあるまいが期節としては商品價格の前途を警戒する必要は確にある▲此際京城に於ける生活必需品の商工組合が『値上をせぬ』と云ふ意味の申合せをしたのは寔ぶべき事で眞に赤誠の發露と云つてよい▲震災以來京城も生活必需品の賣れ行きは相當增加するさうだが贅澤品と來てはからッきり賣れ無い、此種の商人は秋風の悲しみを滋々感じてゐるらしい

暫く保合の姿
見送り人氣濃厚

大勢の上から只漠いと云ふ事以外には何等是と指目すべき材料がなく從つて株式界には何等の反響をも與へないで一般は警戒見送りを續け僅かに一部仕手に依りて相場が動いて居る狀態である然るに是迄賣り込んだ一部軟派の主力が既に利喰を濟して買越しとなり値頃は二十五圓物みに慘落して來たので是れからの突込賣りは警戒を要する譯で軟派も聊か躊躇の振合がある　面買方も四圍の惡い所から此處暫く見送りの姿を呈し今前場の如き全くの不氣乘無氣力の狀態を呈して居る是れと云ふのも震災後に於ける財界の推移が全く無見當であるのと只大阪市場が生產の激減に依る需要增加に將來の繁榮が見越さるゝ丈で何等出動すべき手掛りがない一面金融界の逼迫が一向緩和されない爲めで自然人氣は沈衰するの外はない故に此際內地に於ける金融市場の善後策が確立し財界の推移に對する見當が付いた上で何れにも出動するとも決して遲しとせざるの人氣である要するに今後の市場は既に利喰を濟ました軟派が再び出動するか亦は相場が尙一步下に亡つて買の買氣を喚起する事にならない限り市況は此儘一張一弛保合の外ないだらうと觀察されて居る

株式（廿七日）

前場小高

今朝は大阪大新六十一圓五十錢の昂騰を入れて人氣は之れに伴はざりしも大新は六十一圓二十錢仁取は九十六圓トタと昂騰し京取は軟派の利喰一巡と共に見送り狀態となり目立つた手口はなく當先共二十五圓七十錢と小締りを告げ其他は不氣乘乍ら小締りを呈し閑散に大引した

長期 ▲京取當三十錢高、先三十錢高▲鮮銀新當十九圓ドタ▲東拓先四十六圓トタ▲朝紡先八圓六十錢

短期 ▲大新九十錢高▲仁取一圓十錢高▲仁新十錢高▲朝紡八圓六十錢▲安取二十錢高

後場大閑散

後場は大阪の同調を入れて氣乘薄く大新は六十一圓五十錢仁取は二十八圓八十錢と小締り仁新親は市川筋の買物に寄り付九十六圓五十錢と高寄りしたるも大引六圓ドタと押し結局保合を告げ朝紡は八圓二十錢と小安く京取は當物更に出來ず先物二十五圓八十錢と保合ひ滿取安取は出來ず仁取を除くの外は何れも寄引二本にて大閑散に大引した

長期 ▲京取當出來ず、先十錢高

短期 ▲大新三十錢高▲仁取保合▲仁新二十錢高▲朝紡四十錢高滿取、安取出來ず

大新依然囑望さる

五十九圓臺に亡つた大新株は忽ち六十圓臺に戾し今朝は六十一圓五十錢の昂騰を入れて頃來の安値は單に納會關係に依る押目に過ぎないで依然買氣の絕へない事を證して居るが併し一面から見ると極めて伸力遲々たる觀がある併し五十九圓臺に亡つて直ちに六十圓臺に戾す昨今の步調から推すと大新の前途に對し屬望さるゝ人氣が益々濃厚である事が判る譯である兎に角納會關係と人氣が鐘新に集中した爲めに斯くも保合狀態を呈するに至つたものであらうが鐘紡相場が一巡し納會を告げて人氣が大新に復歸するに至れば目先と雖も多少の活況は期待さるゝ譯で將來に於ける一と相場は必ず到來するであらうとの見越しは依然一部強氣筋の間に熱心に提唱されて居る

仁取小戾す

今前場仁取親は一部仁川筋の新規買が目立つて一圓十錢方引返しを告げた値嵩が高いので叩かれ易い關係から是迄賣られたのであるが値頃が茲まで來ては賣り餘地の尠いのと實株の出廻りも少い關係並に京取觀が今日の如く落付いて來ては無碍に賣進むものもあらざるべく先は此邊に保合下値は望めないと共に新株も之れに伴れて矢張保合ひを續けるらしい姿である

金融の前途觀

震災を動機とせる金融の前途觀は頗る不安の念に驅られ自然賣氣を助長せしめるの結果を招いたのであつたが昨今となり、此非常時に對する金融界は素より樂觀は爲し難き事情にあるのは勿論であるがさりとて極端に悲觀も爲し難かい日銀の態度と云ひ、更に市中銀行の態度も此鼻無暗に梗塞を爲すべき筈にも出でざるべく、尠くとも兌換券の增發を見るは明らかなる以上、金利の暴騰などを見越し難き實態にあればとの見地から大阪市場に於ては昨今弗々堅實物である而も値嵩の低位にある市中銀行株等に對し買氣を誘致せんかの景行きを呈するに至つた傾向であると

滿取の業態

滿洲取引所株は五十萬株四分一拂込で總株數四萬株中三分の二は八十圓強の最高值標準に擔保品として各銀行の保有する處となり其の他は二、三十圓に寄り浮動すべきものは三千株內外に過ぎず會社資產は三百二十萬圓の四分一拂込の八十萬圓に對し銀行預金積立金三十餘萬圓信託會社合併に據る債券四十萬圓其他にて百二十萬圓程度のものがあり來る十月より米の現物取引を開始し十一月一日より米の定期を來春早々より最近開始の面に乘出せらるゝ綿糸布の上場を爲す豫定なりと同社幹部は語つた

京滿交換問題

京取株と滿取株との交換問題に付市場から其持株の交換方を望まれた勸信會社に於てはまだ交換するともしないとも決定するまでには至らないが同社山本專務は今十七日手京滿取理事長を訪問して交換問題に對する下協議を爲すと共に同氏の私案を提示して滿取側の考慮を促した其私案に依ると財界不況金融逼迫の折柄兩社が入用不明の數量を交換して持つて居る事はお互に甚だ不利益であるから寧ろ兩社が需要の起つた場合其必要の數料丈お互に交附する事にすれば其間日步も取れるし兩社に均霑し共利益に均霑出來る譯であるのだと云ふ而して滿取側も之れに贊意を表したが尙考慮を要する點があり勸信側も近く武內社長來城することになつて居るので其節協議決定する筈であるが結局は山本案に決定するらしい

大新逆日步增

大新は今前場現在の取組にて株不足二千五百三十枚に增加し逆日步六十五錢に增額された其外仁取安取滿取は依然逆日步を續けて居る

諸株喰合尻

廿七日前場現在

▲大新取組高三、七〇〇不足二、五三〇賣方十四店買方六店

▲安取取組高三、一〇〇不足二九〇賣方九店買方九店

▲仁取取組高六二〇不足一五〇賣方十一店買方四店

▲仁新取組高一、七七〇代引三四〇賣方九店買方十店

▲滿取取組高六三〇不足六〇〇賣方三店買方三店

▲京取當取組高一、五〇〇提供四三〇賣方八店買方十店

同先取組高一、三五〇提供四〇賣方十店買方九店

出來高 ▲長期千三百十枚累計二十五萬四千二百四十一枚▲短期千五百五十枚累計十八萬一千二百八十枚

算定 仁取九十六圓（仁新二十九圓、朝紡九圓、滿取十七圓、安取十四圓、大新六十一圓

日步 仁取逆五十錢、仁新十錢、拓新十錢、滿取逆十錢、安取逆十錢、大新逆六十五錢

前場手振 ▲大新橘下、南、趙賣り、新田、市川買▲仁取田中、新田、洪柱賣り、市川買▲仁新、中村、田中賣り、市川橘下買▲安取吉見マバラバイカイ▲京取當關中、宏濟賣り、新田、市川買▲同先田橘下賣り、新田、洪柱、吉見買

後手振 ▲仁取新田、趙洪錫賣り市川、南買二百八十枚▲京取先定岡、吉見、閔賣り田中、市川買二百五十枚

現株中値出來値（二十七日）

銘柄		前場當限	前場先限	後場當限	後場先限
京取	寄	二五・七〇	二五・七〇	…	二五・八〇
	引	二五・七〇	二五・七〇	…	二五・八〇
仁取	寄	[illegible]	…	[illegible]	…
	引	…	…	…	…
同新	寄	[illegible]	…	[illegible]	…
	引	…	…	…	…
鮮銀	寄	…	…	…	…
	引	…	…	…	…
同新	寄	[illegible]	…	…	…
	引	…	…	…	…
殖銀	寄	[illegible]	…	[illegible]	…
	引	…	…	…	…
同新	寄	…	…	…	…
	引	…	…	…	…
實銀	寄	…	…	…	…
	引	…	…	…	…
商銀	寄	[illegible]	…	[illegible]	…
	引	…	…	…	…
同新	寄	[illegible]	…	[illegible]	…
	引	…	…	…	…
漢銀	寄	[illegible]	…	[illegible]	…
	引	…	…	…	…
同新	寄	[illegible]	…	[illegible]	…
	引	…	…	…	…
韓銀	寄	[illegible]	…	[illegible]	…
	引	…	…	…	…
東拓	寄	…	四六・〇〇	…	…
	引	…	…	…	…
同新	寄	[illegible]	…	[illegible]	…
鮮土	寄	[illegible]	…	[illegible]	…
朝紡	寄	…	八・六〇	…	[illegible]
滿毛	寄	…	…	…	…
京電	寄	[illegible]	…	[illegible]	…
同新	寄	[illegible]	…	[illegible]	…
電興	寄	[illegible]	…	[illegible]	…
釜產	寄	[illegible]	…	[illegible]	…
朝郵	寄	…	…	…	…
圖們	寄	…	…	…	…
東南	寄	[illegible]	…	…	…
金剛	寄	[illegible]	…	[illegible]	…
滿鐵	寄	[illegible]	…	[illegible]	…
同新	寄	…	…	…	…
東亞	寄	…	…	…	…
同新	寄	…	…	…	…
京信	寄	…	…	…	…
勸信	寄	[illegible]	…	[illegible]	…
朝信	寄	[illegible]	…	[illegible]	…
穀信	寄	[illegible]	…	[illegible]	…
奉信	寄	[illegible]	…	[illegible]	…
滿取	寄	[illegible]	…	[illegible]	…
安取	寄	…	…	…	…
大新	寄	…	…	…	…

短期取引

銘柄		寄付	大引	高値	安値
大新	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
仁取	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	後	[illegible]	[illegible]	…	…
朝紡	前	[illegible]	…	…	…
	後	[illegible]	…	…	…
拓新	前	…	…	…	…
	後	…	…	…	…
滿取	前	…	…	…	…
	後	…	…	…	…
安取	前	[illegible]	…	…	…
	後	…	…	…	…

大阪長期取引

銘柄	廿七日前場寄付	廿六日後場大引	廿七日前場大引	廿七日後場寄付
大株	八四・〇〇	…	八四・〇〇	八四・一〇
同新	六二・四〇	…	六二・二〇	六二・三〇
郵船	七七・七〇	…	七六・八〇	七五・九〇
同新	二八・九〇	…	…	二七・七〇
商船	四〇・二〇	…	…	四〇・二〇
同新	一〇・六〇	…	…	…
鐘紡	二六一・〇〇	…	二六一・九〇	二六〇・七〇
同新	三三三・七〇	…	三三三・五〇	三三三・一〇
東紡	一〇八・九〇	…	一〇九・二〇	一〇八・九〇
日糖	…	…	…	…

大阪短期取引

銘柄	○廿七日前場寄付	大引	○廿七日後場寄付	大引
大新	六一・五〇	六一・五〇	六一・五〇	六一・〇〇
鐘新	三三六・〇〇	三三一・六〇	三三一・〇〇	三三〇・八〇
天取	…	…	…	…

安東株式

	○廿六日後場寄付	大引	○廿七日前場寄付	大引
安取（當）	一四・二〇	一四・二〇	一四・四〇	一四・四〇
安取（先）	…	…	一四・六〇	一四・四〇

鎭平銀

	○廿六日後場寄付	大引	○廿七日前場寄付	大引
當限	…	…	一・二六五	一・二七四
先限	…	…	一・二七五	一・二七九

米況（廿七日）

仁川期米

前場上放れ

昨後場阪地の暴落に小口買方の嫌氣投げを呼びて廿二圓三十錢と不勢に打止めしが今朝は阪地寄附六圓九十錢と突如七十一丁の上放れを入れ當中出來ざりしも買方之れに乘じて先二十二圓七十錢と四十丁高に寄付

▲第二節 當中出來ず大阪跡八十九錢の移りに先五十九錢と始めしも押目狙いの買いに六十一錢と跳返し六十四五錢を採合い二錢と引

▲第三節 當中出來ず先六十錢五十九錢の持合いに引

▲第四節 當中出來ず大阪跡八十三錢の移りに先九十錢と始めし機先大阪跡九十一錢タの買進みに八十五錢と跳返し二錢と手堅く引

▲第五節 當中出來ず跡二十七圓……

後場更に引締

▲第一節 當中出來ず大阪後寄二十七圓十錢と三十四丁の高移りに先九十買ひに二十二圓十錢と手……

	○廿七日前場	廿七日後場
寄付	二二・七〇	二二・九〇
止値	二二・九〇	二三・一九
高値	二三・〇二	二三・二五
安値	二二・五七	二二・九〇
○前場公定値 / 後場公定値		
一節	二二・七〇	二二・九〇
二節	二二・六四	二三・〇二
三節	二二・六〇	二三・一〇
四節	二二・八〇	二三・一一
五節	二二・九九	二三・一五
六節	二二・九八	二三・一九
七節	二二・九〇	…
帳入値段 當限	…	
中限	…	
先限	二二・八五	
取組高 當限	…	
中限	…	
先限	四萬五千百石	
出來高	十二萬六千八百石	
累計	一七九八四六〇〇石	

來る一日休會

來る十月一日は朝鮮施政記念日に付き恒例に依り取引所は休會の旨發表した

賣買差引殘

賣方		買方	
㋑	一七〇〇	希	六〇〇
㋟	五〇〇	丸夕	二八〇〇
㋒	一六〇〇	豐	一〇〇〇
太	七〇〇	丸大四	二〇〇〇
尭	三四〇〇	㊂	一〇〇〇
⑭	一七〇〇	丸張	六〇〇
		金益	三〇〇

反動を恐る

正米の採算や仕手關係を度外して猫約的に賣落は乖然かも其の一進一退によつて人氣を支配され易い折柄で其の日〳〵の雲行きに隨ふ外ないが然し昨今の相場が既に採算とか理論の範圍を通り越して了い只管思惑作用氣構へと云ふ一本調子の人氣作用によつてのみ支配されて居る場合だから安値より安値へ進むに從つて一步宛危險の區域に踏み込むで行くのだといふ一部の見解も一面の眞理はあると同時に其の反動を懼れて居る向も尠なくない樣である

仁川米豆取引所仲買人 ㊂ 松田慶之助

此上は崩れぬ

今の向なら朝鮮は先づ豐作と云ふてよい效阪地の不勢にも其の氣構へかある樣で金融硬塞の折柄にもあり新米が出揃ふたなら農家も一巡は成行きで手放して來るであらうとの期待者が多いか鮮農とても生產費を度外視してまで投げ賣りするがどうか昨年も豐作と云つて好い方であつたか其の賣物が稀薄で平均賣りの態度に出た當時の事から推すと樂觀的に相場を見縊る事も出來ないし又た朝鮮が少し位い豐作であるとしても內地では白米が多くて鎌入れ不足を云々されて居る今日で東北減收といふ事にでもなれば結局之に打消されて了ふ譯で農村救濟問題の聲もあり此の上無雜〳〵崩れてなるものかと強氣は飽迄強い氣焰を吐いて居る

依然賣幕はる

秋日和の好轉で各地共非常に作柄が好くなつたとて豐作氣構へを現實に帶びて來たがかうなると正米の不捌が感じられて買方の附目がなくなるのみか產地正米は買人の手控へによつてヂリ〳〵安步調に傾いて定期も存外戾り足が鈍いし然かも賣方側には軟材料が今後に殘されてあるから效上人氣が賣氣はれるも無理はなく買方が主力の手揃で擔ぎ上げても其の押戻へが尠ないといふのも全く自然の力に支へられて居る其の爲めであらう

▲第二節 當中出來ず大阪跡二十丁度より更に十錢と締りしも戾りは軟派の賣直しに二圓九十七錢と押し八錢引

▲第三節 當中出來ず先三圓丁度より十五錢と締り四錢と手堅く引

▲第四節 當中出來ず先十五錢より六錢と締りたるもの跡買物潮と小口ヤに〇九錢と叩れて引

▲第五節 當中出來ず大阪跡二十一錢の移りに先〇八錢より五錢と下押したるも大阪四十錢の高睥を耳せる丸夕の買進みに二十五錢と跳ね十九錢引

▲第六節 當中出來ず先十九錢と同事に引

▲第六節 當中出來ず先三圓丁度より戾りは軟派の賣直しに二圓九十七錢と引

▲第七節 當中出來ずるも先二十錢より直しに二圓九十六錢の持合いに引

……

米界餘聞

▲賣方主力の結束と提灯筋が長い者には卷れよの調子でソラ買へヤレ買へと二十三圓二十錢まで擔ぎ上げた相場が下げる日になるとビールの泡と等しく音も立てずに元の安値へ沈んで了ふのだから全くは買方に不愛想は相場と云ふより仕方がなからう▲不愛想なと云へは利喰せ〳〵で買ふて行つた提灯筋も毎度の逆揺れにとう〳〵灯を揉り消されて足下ふら〳〵の向も尠なくないとか▲かうなると一時ショケ込んで居た賣方の鼻息は再び荒くなつて正米との採算もあつたものでない三十丁でも五十丁でも吹いた處は賣りだと云ふ人氣に益々凝り固つて了ふので買方も中々骨である▲さて此の納りがどうつくか提灯筋の灯は消へても買方主力の結束は中々固くどうで三萬石位いの實彈は受取る覺悟だとは弱氣も餘り調子に乘つて終いに買方からヒドい目に合されないやう御用心

京城穀物

正米現物（賣物潮を脅へらるゝ裡）

……にも買急ぎの手放し物相當出廻り來れる模樣にて今朝は更に軟調に傾き角チ三等今摺二十七圓八十錢迄出來したとかにて丸キ四等二十七圓五十錢丸チ四等七圓二三十錢見當を唱へられ角チ新米二十八圓五十錢處にて賣物を斎らせるも誰人なく小口當用以外更に取引行はれず眼先面白からざる形勢である

延 阪地期米高寄りを入れて綿尾の一振と見たる買物を喚び昨午後より四十八丁高に始めたるが跡阪地の氣配ホケを受けたると期米新甫丑十丁內外の下落勢もあり新規賣物を注がれ引際小鈍く氣迷ひ裡に散會した　十月末限二二五〇▲十一月中限二一五九　六五　六二　五九　五五　四〇　三八　出來高千七百石

大豆 買人殆んど皆無といふ姿にて龍山物三四等交り十四圓處の買聲なるが新物を控へ兎も角成行き見送りといふ風なれば市況は極度の沈靜狀態を示して居る

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 ㋑ 今村覺次郎 電話長三三七番 三六七番 三六八番

仁川正米

引續き賣物不潤澤ながら釜山群山方面の正米安に買氣を殺がれ丸キ四等二十六圓八十錢見當なるも餘り取引行はれず地場當用小口の買望みあるのみである

釜山正米

新米氣分日に加はり來れる上期米は一高一低を繰返して竝ち切らざる爲め鼓嫌氣崩しの賣物可なり多きに引替へ精米筋は依然見送り姿なれば市況更に振はず二三十錢安の穀良都二十七圓二十錢神力二十六圓八十錢處にて千四百個出來延十一月中二十一圓五十三錢より九十五錢出來高八千二百石大豆十四圓九十錢處にて千百個出來た

群山正米

十月末限二十一圓五十錢より三十八錢十一月中限二十圓四十五錢より二十八錢

大邱正米

現物二十六圓五十錢十一月中限二十一圓〇五錢より十錢出來高二萬三千石

仁川期米 福

大阪期米

	○廿七日前場	廿七日後場
當寄	三〇・〇〇	…
止め	三〇・五〇	…
中寄	二八・七八	二八・八六
止め	二八・七九	二九・二九
先寄	二六・九九	二七・一〇
二節	・八九	・二五
三節	・八九	・二六
四節	・八三	・二一
五節	・八〇	・二七
六節	・八〇	・四〇
七節	・九一	…
八節	七・〇八	…
九節	・〇六	…
十節	六・七六	…

兵庫期米

	○廿七日前場	廿七日後場
寄付	二六・六一	二六・一一
止め	二五・八九	二六・八九

仁川米豆取引所 ㋟ 仲買店 仲買人

下關期米

	○廿七日前場寄付	止め	廿七日後場寄付	止め
當限	…	…	…	…
中限	…	…	…	…
先限	[illegible]	[illegible]	…	…

桑名期米

	○廿七日前場	廿七日後場
寄付	二五・六九	二六・〇五
止め	二六・一七	二六・四七

各地期米

○二十六日後場止め

東京…… 大阪二六・二八
兵庫二六・六〇 下關……
桑名二六・五九 名古屋二六・七六
熊本二六・五四 金澤二四・四〇

大阪三品

倫敦銀 塊沼場 三十一片八分の一
米棉 九十錢高

	○廿七日前場寄付	後場大引
九月限	…	…
十月限	[illegible]	[illegible]
十一月限	[illegible]	[illegible]
十二月限	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]
三月限	[illegible]	[illegible]
○廿七日前場寄付		後場大引
九月限	…	…
十月限	[illegible]	[illegible]
十一月限	[illegible]	[illegible]
十二月限	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]
三月限	[illegible]	[illegible]

公設市場小賣値（廿七日）

品		價格
十能	三號	一三〇
同	四號	一五〇
洲戸杓子	極大	〇九〇
アルミ辨當箱	大	二九〇
同	中	二二〇
割烹食物鍋	一號	[illegible]
同	二號	[illegible]
同	三號	[illegible]
同	四號	[illegible]
同	五號	[illegible]

滿洲取引所一覽

一、設立 大正八年

一、資本金三百廿萬圓（拂込八十萬圓）

一、株數 六萬四千株（拾貳圓半拂込）

一、配當率及株式相場

	配當	最高	最低
十年下	四割	[illegible]	[illegible]
十一年上	一割六分	[illegible]	[illegible]
十一年下	一割二分	[illegible]	[illegible]
十二年上	一割	[illegible]	[illegible]

一、資產狀態 諸積立金三十萬圓

一、營業一般 外務省公認ノ許ニ定期取引（限月二ケ月）直取引、延取引（十日限）ニヨル三種ノ證券取引ヲ行ヒ近ク滿洲唯一ノ米穀市場トシテ定期米及現物ヲ上場スベク目下米穀仲買人詮衡中ニシテ綿糸布、麻袋、麥粉、毛皮ノ上場計劃ヲ有ス

以上は今回京取市場の新建株となれる滿洲取引所の內容の一般を御紹介候ものにて弊店も證券仲買人の末班に列し誠實懇切を旨として從來營業致居候間何卒此機會を以て御取引御開始下され多少に拘らず御用命の程願上候

御申込次第早速電信略號及營業案內御送付可致候

本日當地後場出來値及證據金は左の如くに御座候

定期先限（十月廿七日受渡）十七圓九十錢

直取引大引 十七圓七十錢

委託證據金四圓（定期、直）

爲替十七圓七十錢 日步八錢

大正十二年九月二十二日

奉天十間房
株式會社滿洲取引所仲買人
㋟ 大文字屋株式店 電話四一〇二四番 一四八五番

釀精 味淋 九重 愛知縣大濱町 石川八郎治製
代理店 山邑酒造株式會社京城支店

樂器運動具定價表進呈
少年樂隊 金六十圓以上
五人組樂隊 金二百二十圓以上
山葉オルガン 金四十五圓以上
鈴木バイオリン 金五圓五十錢以上
鈴木マンドリン 金十一圓以上

門化光 電話

於朝鮮樂器界の元祖
京城鍾路大通リ（鍾路警察署前）
セヤマ樂器店
振替京城一〇七五六 私書京城局四八

公示催告
一、官設保稅倉庫藏置貨物預證券記號Ⓐ番號二號品名色ジンスキ數量一箱預證券番號三號吹管一番號號ナシ入庫日大正十二年七月二十六日入場所群山稅關支所群山保稅倉庫證券發行者大正十二年群山府全州通宮野吉申立人 群山府全州通 梅吉
右證券ノ所持人ハ大正十三年五月十日迄ニ其權利ヲ屆出テ證券ヲ提出スヘシ若シ屆出ナキトキハ右證券ノ無效ヲ宣言スヘシ
大正十二年九月二十二日
全州地方法院群山支廳

長谷川內科醫院
內科一般 入院隨意
龍山 電話龍山五〇四番 元松村病院跡
院長醫學士 長谷川貞一

エルネマン會社製
ミニアチュア クラップ
ツロペン クラップ
ペ ロ クラップ
ヘッツ ポケット 米國クラップ 各種在庫
ゲルツ、イカ、コンテッサーネテル、カードベレチン、オリオン、カルツアイス其他有名なる寫眞機及材料製造會社の製品を最も豐富に取揃へてゐます
目下上記の各社製品の內優秀なる品を特價提供中のもの多數ありますから安價に御希望のカメラが御手に入るものと信じます。御希望のカメラ御望みの方は是非御照會の程御願ひ致します
（アグファ）
ロールフヰルム
フヰルムパック
普通、整色乾板
現像藥品
閃光粉
寫眞機械各材料
直輸出入商 奉天浪速通六 木村洋行
電話三三四番 振替大連 私書函
小賣部 岡田本店
支店 大連、哈爾賓

中島病院
京城府明治町二丁目（本町明治屋橫より入）
內科 小兒科
院主 中島貞信
入院隨意（傳染病 普通病室 隔離病室）
電話本局三一七八番

本店 平壤
株式會社 大同銀行
頭取 橫山 直祐
電話 三七四・七三一・一三三番 振替京城 七九七
鎭南浦支店 電話三八〇番 振替京城一六八番
鷄里出張所 電話八六二番
載寧支店 振替貯金京城七五五番

魚釣具 投網 カスミ網
京城永樂町二丁目
吉備商會
チエロ化粧料卸直門 卸商
電話本局 振替京城

內科 胃腸病
診察 夜九時迄
京城本町一丁目
石川醫院
電話【三五九〇】

資本金參千萬圓
株式會社 朝鮮殖產銀行
頭取 有賀光豐

支店及派出所
京城 仁川 全州 群山 大田 江景 ……
右の外內地、朝鮮、滿洲、支那各地に爲替取引先有之候
資金を送るには當行の『殖產貯金』に御加入なさい。そして毎月の御積立てなれば御便利な……

選擧人を侮辱する候補者と運動屋

有田音松

(大阪朝日新聞九月廿日掲載)

豚に眞珠か

西洋の諺に「豚に眞珠」と云ふことがある、又我國にも「猫に小判」といふ俚諺がある、凡そ、人が與へられたる、其物の價値を知らないならば、假令それが如何に高價なものであらうと、又貴きものであらうと、それを顧みないであらう、又無理に與へた所で、之を行使し、利用するの途を知らないのは當然の次第である。

丁度、今日の無自覺なる選擧人に與へられたる選擧權は、特に「猫に小判」の如きものではあるまいか、以下聊か其理由を說いて無自覺なる選擧人諸子の、反省を促したいのである。

予が屢々罵倒せる如く、選擧なるものは、決して依賴さるべき筋合のものでもなければ、又勸誘されて、始めて合點すると言ふが如き、筈のものでないのみならず、

自稱候補者

が、諸子に對して依賴し勸誘すると云ふが如きは、特に諸子を侮辱し、蔑視するものである。

諸子が、選擧の何たるかを知らないと云ふことを、露骨に表現するものである、試みに思へ、己が意中に嫁らんとする女若しあるに厚かましくも媒合より、私を嫁れと云ふ、お轉婆があつたとしたならば、諸子は果して如何なる顏色をするであらうか、己れの意思に立入つて、其選擇を迫るお轉婆のイケ圖々しきに呆れる以前に、先づ以て、己れを侮辱するものとして憤怒するであらう。

諸子よ、自稱候補者の如きは、正に

御轉婆の夜叉

の如きものである、夜叉なればこそ、誰も相手にしないから、自ら推薦し、自ら名乘つて出るより外に仕方がないのである、何と厚かましくも又淺間しい次第ではないか。

淑良貞淑なる美人は默して語らず、深窓紅閨の裡にあるも引く手數多である、敢て、自ら自己吹聽をと云ふが如き醜態は演じないのである、然るに、醜婦は氣の毒にも厚化粧を爲し、柄にも似合はぬ派手な風をして己れ自身を吹聽推選しなければならぬのである、思へば憐むべき徒輩には相違ないが、諸子は決して

其厭らしき

厚化粧や、馬鹿氣た服裝に迷はされてはならぬのである、斯樣な徒に限つて、巧言令色、甘いことの百萬陀羅を云ふものだ、顏貌は惡いが、心意氣が善いの、正直だのと嘘八百を並べる、そして諸子に媚び且哀願するのである。

されど諸子よ、自ら偉大なる抱負を誇り、政見を喋々する候補者に碌な者がある筈がない、自ら候補者と名乘る厚化粧に、美人のあつた例はない、一皮剝いだら見られた態でない、彼等は所謂內心如夜叉である、諸子が其美醜を鑑別するの眼識なきものとして、諸子を馬鹿にし、侮蔑するものである、諸子にして

若し一見識

ある人格者と見たら、彼等は決して、諸子に寄り附けないのである、然るに諸子は、彼等醜婦に言寄られると、馬鹿々々しき已惚心を起して、己れに心情を打ち任すものと思ひ込み、一も二もなく承諾して、大に色男を氣取るのであるが、何ぞ計らん、彼等自稱候補者共は、陰でペロリと舌を出して、己れの詭計に當れりと、諸子を嘲笑して居るのである、何と呆れた話ではないか。

彼等自稱候補者の叩頭百拜を以て、諸子を尊敬するものと誤解しては不可ない、彼等は唯、口先の

御辯茶羅て

ある、出鱈目である、何んでも好いから當選すれば好いと云ふのである、恰も厚化粧の化物が、兎も角も賣り附けて仕舞へば好いと云ふのと同じである。

諸子が斯の如き自稱候補者に、神聖なる一票を投ずると云ふことは、實に不見識極まる次第と云はねばならぬ、第三者の眼から見たならば、滑稽を通り過ぎて、寧ろ悲慘である。

抑も、諸子は此選擧權を何と心得て居らるゝか、之れ實に人民が政治に參與し得る、唯一の權能では御座らぬか、此一票の投票權を措いて、諸子は一切の政治的權能を持たないのである、之れあればこそ、國民は枕を高うして居られるのである。

眞に國民と

して將又市民として、己れの意思を政治上に發表し得るものは、唯一の選擧權のみである、さればこそ、

他の立憲國では、之を獲得せんが爲に、流血の慘事を幾度か演出したのである、彼等は、此貴き權能を得んが爲めに、血税をも辭せなかつたのである、各國の立憲史を播いて見るならば、蓋し思ひ半に過ぎるであらう。

然るに我國にては、所謂欽定憲法であつて、天惠の授け給ふたものである、外國の如く、流血の慘事を演じ、國王に迫つて獲取したものではないのである、此一事に鑑みても、我等日本人は、實に有難い次第と感謝しなければならないのである、實に平和の中に、

政治の參與

權が人民に賦與されたと云ふことは、誠に畏れ多い次第と云はねばならぬ、此貴く有難き、選擧權の行使を誤つたならば、之れ取りもなほさず、聖旨に反くものではないか、折角下し賜つた選擧權を弄ぶと云ふに至つては、其狂愚實に罰罪に値すると云ふても好い。

然るに、翻つて考ふるに、諸子が選擧權を左程、有り難きものと思はぬには一理ないとも云へぬ、それは、日本の憲法が、天皇の大御心に依つて易々と授けられたものであるから、丁度子供が親から無造作に、財寶を讓られた如く、當り前のことの樣に、無頓着でもして居るのではあるまいか、若しさうだとしたならば、それこそ實に

量簡違ひも

甚だしいと云はねばならぬ成程自分が自分で儲けた金は貴く、能く其價値が解つて居るが、親から貰ふたものは、或は有り難味が少いかも知れぬ、然し諸子よ、親から讓つて貰つたものだからと云ふて、之を濫費したならばどうか、それは誠に馬鹿息子と云はねばならぬ、それと、之れとを比較するは、誠に畏れ多い次第ではあるが、有り難くも下し賜はつた

大御心を奉戴

したならば、決して仇や疎かには出來ないではないか、一滴の血も流さず、何等の故障もなく、我等が政治に參與し得る權能を獲得したのは、一に全く陛下の御聖德の賜と思ふのである、是れ實に明治大帝の賜ではないか、之を粗末にして果して日本人と云へやうか、一般社會に依つて、諸子は將に感泣して能く其選擧の存する所を認識し以て、

謹て選擧を

行ふ可きではないか、斯くてこそ眞に日本人の本分を盡した者と云ふ可きである。

それに何ぞや、諸子は勿體なくも、下し賜ふたものであるからと云ふて、之を濫用するとは實に呆れた次第でないか、假令縣政にしても、府政にしても、又は國家にしても、悉く諸子が民意を代表した政治を爲し得る筈である、イヤ筈ではない、必ず出來る仕組になつて居るそれが即ち

立憲政治と

云ふものである、我日本は、立派な立憲國である、然るに現今の國會、府會、縣會のあのざまは何うか、何等かの問題を捉へては、直に、自己の懷を肥さんとし、國民市民の利害休戚はそつち除にして、有ゆる惡事を働く揚句の果は收賄の、買收の、拘禁だ、疑獄だと彼等多數議員の狂態醜態は何と代表者であるか、彼等は悉く諸子の代表者である、即ち諸子自身を明かに表現して居るものである。

あの態を見た外國人は何んと云つて居るか「日本の政治は歐米に比して百年遲れて居る」なぞとノースクリッフ卿は放言したではないか。

議員が侮辱

されると云ふことは、取りも直さず諸子自身が侮辱されてゐるのである、諸子は好んで斯樣な徒を選出したのである、いくら日本に人物が無いと云つても、あんな連中許りが決して眞の日本人ではないのである、彼等を以て直に日本人の標準と見做されることは、我等の忍ぶ能はざる所である、而も斯る徒輩を選出したのは、子である諸子は其全責任を負はねばならぬのである。

諸子よ、予が屢々繰返せしが如く、今次擧行せらるゝ

府縣會議員

選擧は、實に來るべき總選擧の先驅を爲すものであるから、愼重の上にも愼重の態度を以て臨まなければならぬ、今にして諸子が自覺反省しないならば我選擧界の醜態は、實に百年河淸を待つが如きものである。

諸子夫れ奮起せよ。

選擧人は宜しく古人を學べ

凡そ他を推擧するとか又は選擧するとか云ふ事に私情を挾んではならない、苟くも公事に對して公私を混淆すると云ふが如きは陋劣極まる事である、高虎は私怨を捨てゝ嘉明を推擧した、其の心事の高潔なる實に武士の模範とすべきである。

顧つて當今の多くの人を看るに、選擧する者も、される者も共に因襲情實纏綿し、搗て其手段方法の陰險卑劣なる實に嘔吐を催すのである、被選擧人のある者は自ら候補者で御座ると臆面もなく、自己推薦を爲し剩つさへ黃白を散じて愚衆を惑はし以て思想を惡化す、選擧人も亦公職公事と云ふ事を他にして、利のある所又は緣故の繋がる所に腐心して毫も公利公益と云ふことを念頭に置かない者がある、斯の如くにして我國の良風良俗は破壞されて行く、誠に歎かはしい事ではないか吾等の祖先は信義と云ふことを處世の標語とした、今人は利己主義一天張りで押し通さうとする、古今の世相と對比し來つて吾等は感歎に堪へない次第である。

國士を推擧した藤堂高虎

藤堂、加藤の兩家は朝鮮征伐の頃から不和になつて德川の世となつても絕交同樣の有樣であつた、所で寬永四年會津の大名が死んで城は空になつた、そこで家康は藤堂高虎を召して「會津は東北を抑へるべき要害である、凡庸の大將を置いては守り得ない、就には其方を會津に封じて東北守護の大任に當らせやうと思ふが何うである」と難有い言葉である、高虎はそれに答へて「自分は年已に老いて最早役には立たないから然るべき適任者を諸將の中から選拔せらるゝが御得策なりと思ふ」「さらば誰人が適任だらうか」とのご尋ねに高虎は躊躇なく「加藤嘉明こそは器量宏大でこの大任を全うすべき者であると存ずる、彼なれば四十萬石の知行も決して多いとは思はれない」と推擧した、驚いたのは家康である「其方永らく嘉明とは不和であるのに今日之を推擧するのは何故か」と不審がる「なるほど世間では不和なりと申さんが、自分に於ては意に留めて居ない、勿論朝鮮陣中で口論はしたが、それは殿へ盡す爲の心から出た爭ひ、而も一つの私事である、今日の場合は國家の大事である、私怨ありとて國家の大事には代へられない、自分は適任と見て今日嘉明を推擧するのである」と高虎は率直に答へたのである、かくて加藤嘉明は會津四十萬石を賜はり、これが高虎の推擧に因る旨を傳へ聞いて大に感激し、爾來こゝに水魚の交はりを訂したのである。

身は浮草の自稱候補

士は己を知る者の爲に死すと云ふ、人生知己に感ずと云ふのは此の事である、金錢財寶の如きは、人間の交はりに於ては寧ろ邪魔なるものと云はねばならぬ、唯金錢のみに依つて交誼を許すると云ふが如きは決して君子人の交際とは云へない、池田市郎兵衛は寺澤廣高に仕へて僅かに小祿を食むに過ぎなかつたが、金錢を以て他よりの誘惑に迷はされなかつた、高節自らを全うしたものである。

今日の政治家は何等の守操なく、節義なく、昨日は東、今日は西と、黃白に左右せられて、浮草の如くに浮動する、而も時人之を怪しまないと云ふまでに我風紀は墮落して居るのである、政治家に最も貴ぶべきは節義である、昔は節義なきものを犬武士と稱んで蔑んだ、今日の議員は何と云はれても平氣の平左で實に蛙の面に水である。

知遇を重んぜし池田市郎兵衛

池田市郎兵衛は關原役の士である所々の戰場にて勇名を轟かしたが後に討死した敵兵の爲に供養塔した程の淚ある士であつた併しこんな豪傑も一朝浪人の身となつて兩刀橫へし腰も淋しく裏長屋に佗住居してゐるのを寺澤廣高に拾はれ茶の代りにとて四百石を宛がはれた之を聞きたる黑田、細川の兩藩では「三千石で抱へん」とこの高潔なる勇士の心を迷はさうとした。

されど市郎兵衛は首を振つた「われ困窮の時寺澤侯の恩顧を受け幸ひに妻子を安樂に養ふことを得たるなり其恩の大なる何にか喩へん他藩の高祿に惑はされて禮儀を棄つる如きは禽獸の行ひなりわれ斷じて心を移す能はず」と跳つけた寺澤侯之を聞きあはれとや思ひけん「予も三千石を與へん」といひ出した市郎兵衛は恐れ入つた、そして恐懼の淚に咽び乍ら「臣が殿に仕ふるは決して祿の爲に非ず知遇の深きを感じてなり、然るに今寸功もなきに加增の御沙汰に接せんは臣の本意とする所に非ず、謹く辭し奉らん」といつた世にも頼もしき節義の士である。

在郷軍人青年團奮起せよ

新舊調和の選擧　理想の普通選擧

有田音松

予は今次の府縣會議員選擧に際し、三府在郷軍人並に青年團員諸子に向つて、予の所思を披瀝せんとするものである、予が幾度か繰返して諸子の奮起活動を望む所以のものは、予が如何に諸子に信賴し、其勢力の善用を翼望しつゝあるかと云ふことを證するものである、諸子よ、現代の世相は何うであるか、滔々として浮華輕佻の風を爲し、世を擧げて虛僞虛榮の陋なるの觀がある、擴て、一部青年男女の思想は驚くべき惡傾向を示し、我國古來の道德習慣を無視し、危險なる歐米の外來思想に共鳴し、信義地を拂ひ、孝悌の道は顧みられざる有樣である、諸子は斯る現代世相に當面して、而して此惡傾向を益々增長せしむるものは果して何に起因すると思はるゝか、諸子よ、靜かに胸に手を當て之を熟考したならば、實に我國の前途を思ふ者より危しと云ふべきものではあるまいか、斯の如くにして推移せば、將に羅馬の轍を履まんとするものではあるまいか。

所謂惡風潮、惡傾向を增長せしめたものは其原因多々あるも、就中政治の腐敗墮落は其最たるものである、諸子は此恐るべき原因を見て、袖手傍觀して居られやうか、國民として又未來の日本帝國を背負ふべき青年として、之をしも默過し得るや、

諸子は之れ現代社會の中堅を爲すものにして、諸子の言動は實に千鈞の重きを爲すものである、此燃ゆるが如き意氣と此大抱負とを把持して以て事に當らば天下何事か成らざらん、願くば、能く破邪顯正の刄となつて、總ゆる社會の病原禍根を剷除殲滅し得るのである、

予は斯く諸子の赤誠と信賴とに依賴するものである、現代に於て實に眞面目に相談し得るものは、諸子を措いて他に無いのである、茲に於てか、予は選擧の弊風打破に關し聊か抱懷せる一案を提出して、予が素志を敍述し、以て諸子の賛同を乞ふものである、其案と云ふのは他でもない、即ち

選擧運動の新案

一、在郷軍人並に青年團員が結束を固くし、一致團結して、先づ選擧の行はるゝ以前に當つて、被選擧人員(即ち候補者)の二倍(假へば五人の被選擧人に對し十人を推選する)に相當する人物を豫選し、以て之を一般選擧人に指示配布し其內より人選し、以て選擧せしむるのである。

一、諸子の豫選する人物は、私利私慾に恬淡にして、公利公益に熱心なる選擇すべき人格者にして、愛國家であらねばならぬ、

一、是が爲には、先づ其人物の家庭如何を觀察すべきである、苟くも一身修まらず家庭の齊のはざる程の人物であれば、一府縣、一國の政治を任す事は出來ないのである、

一、今日迄往々見受くる如き、職業的政治家を選擧してはならぬ、彼等は政治を稼業とし、何等の事を以て己れの職業とし、何かの餌にあり付いて、それで喰つて行かうと云ふ、即ち我利我慾の利己者とも云ふべき徒輩である、國利民福など〻云ふの觀念は、毛頭もないのである、之で喰つて行かうと云ふ丈けなら未だ好いが、彼等は取り込める丈けは取り込まうと云ふのである、之れ誠に恐るべき千萬な代物と云はねばならぬ、諸子は彼等を極力排斥せよ、

一、如何に學識、才能に長ずるも、苟くも眞面目ならざる人物は之を排除すべきである、議政壇上に立つの人は、宜しく眞摯ならざる可らず、何所までも眞面目でなければならぬ、何事にも眞劍であらねばならぬ、此意味に於て素朴剛健の士を選ばねばならぬ、

一、宗教心あるものを要す、即ち宗教心とは一の信念である、確固不動の守操あるものである、人間は如何なる場合に於ても、己れの節操は之を全うしなければならぬ、所謂富貴も淫する能はず、威武も屈する能はずと云ふ程の人物を得んには何うしても一個信念のある士でなければならぬ、

常に世の人、動もすれば、唯物論を唱へて、精神を無視せんとするが、斯の如きは、謬まれるの甚だしきもので、科學者が試驗管內に靈魂を發見し得ないからと云つて靈魂は無であると云ふが如きは其妄や實に言語に絕するのである、肉體より先づ精神である、精神なき人間は腑拔であつて人間ではないのである、況んや人民を代表する議員の如き人一倍精神の確固たる人物で無ければならぬ、故に不拔の精神は、之を宗教に求むるより他に途はないのである、是れ予が宗教心あるの士を選べと云ふ所以である、

由來選擧は其資格の關係上、常に中老又は古老の手に依りてのみ行はれたのである、然るに、時勢は滔々として進んで來たのである、最早國民は彼等老人輩に委せて安閑として居るのである、彼等の手に依つてのみ行はれたる、今回迄の選擧は、實に支離滅裂收拾す可からざるものであつた、證據は歷然、現代の議政壇を見れば判る、無學文盲とも、無智無能とも、何とも評しやうのないやうな議員共でさへ議政壇上に濶步して國民、市民を代表して居るのである、斯くの如き厄介極まる、醜惡なる現狀を呈せしめたものは、取りも直さず彼等中老、古老の手合である、彼等は成程、有資格にして、彼等に此の選擧權が賦與されて居るには相違ないが、最早斯る現狀を目睹しては默して忍ぶ可きでない、一刻も彼等老人輩にのみ任して放置すべきでない、彼等を擯斥排擊して、其醜惡なる選擧權を、善用せしむる者は、實に諸子を除いて他に適任者はないのである、是れ予が諸子に懇望する所以である、今日唱へらるゝ所謂普選の普通選擧なるものは原則として之に反對するのであるが、現在の如く老人輩のみの專橫を許すは最早や寬恕す可らざるものと思ふのである、

其處で諸子が、其結束を堅うし、團結一致して、本記の豫選に當つたならば、必ず彼等を反省せしむることは、容易であると信ずるのである、諸子が、公明正大なる見地に立つて豫選せる人物に對し、彼等が如何に老獪なりと雖も、比較にならぬ程の下劣なる人物を、選擧し得ないのである、諸子の手前として好い人物を選ばないとも言へず、又無暗に拒絕する事も出來ないのである、自稱候補者や、運動屋など〻云ふ連中は、諸子の勢力範圍には、潛入し得ないのである、如何に彼等が職業的なりと雖も、諸子を犯すと云ふが如き暴擧は爲し得ないにきまつて居る、若し萬一古老連が頑々しく、諸子の主張を無視して、飽くまでも我意を通して、今日迄の如き專斷に出でんとするが如き場合があつたならば、彼等有資格者は少數であり且つ古船であるから、何等の活動的運動は出來ないのであるから、諸子は、諸子一同の意のある所を、村民なり、町民なり、府縣民なりに向つて大に呼號し、以て其赤誠國に奉ずるの眞情を吐露するが好い、諸子が正義の叫聲に對して、反響がないと云ふ譯はない、斯く諸子が、眞に國家の爲に獻身盡力するなれば在郷軍人又は青年團なるものが今日以上に重要視される樣になつて、其地位も强固となる譯である、世は如何に濁世なりと雖も、天下必ず正義の士は立つて大に諸子に共鳴するであらう、昔孟子は千萬人と雖も吾往かんと言ふた。又向ふ所敵は無いのである、又陽氣の發する所金石又透ると云ふ古語もある、諸子が鋭意奮鬪したならば天下豈何事か成らざらんやである、生氣潑剌たる諸子は實に國家の寶である、敢て奮起を促す。

青年が先づ倍數の候補者を豫選し、古老が之を斟酌按配して選擧すると云ふ事は新舊思想の調和を爲すものであつて、之れ實に理想の選擧と云ふべきてある、相互の意思が疎通し以て採長補短の實を擧げる譯であるから、將に之れ一擧兩得の最良の選擧法てある

一般の輿論を希望す

議員選擧期日不延期

愛婦の慰問金